

# さいたま市の食育取組状況

令和4年度

(2022年4月～2023年3月)

さいたま市

## <はじめに>

さいたま市では、市民が食育を通して、心と身体の健康を培い、豊かな人間性、自然への感謝の気持ちを育むことを目指して、「第3次さいたま市食育推進計画」に基づき食育を推進しています。令和4年度は、“「食文化や地の物を伝え合い」食べる”を重点目標とし、市民・民間団体・事業者・関係機関・行政等が、連携の強化を図りながら、食育を推進しました。

本冊子は、さいたま市における食育の取組の進行状況の確認、評価を行い、効果的な食育の推進を検討するため、令和4年度の「さいたま市健康づくり・食育推進協議会」及び「さいたま市さいたま市健康づくり推進会議」において取りまとめた資料をもとに作成しました。市民一人ひとりが、生きていく上で欠かせない大切な“食”について、正しい知識をもち、考え、実践し、伝えていけるよう、さいたま市の食育を推進していくための資料として、ご活用ください。

## <冊子の見方>

食育の目標“さいたま市5つの「食べる」”(裏表紙うら参照)の各項目について、講話・実習・体験・啓発等を行った場合は ○

食育の目標“さいたま市5つの「食べる」”で ○をつけた項目について、市民がどう変化したか等、取り組んだ成果を記載

写真や資料を掲載

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など		
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績	○年度	成果	課題			
協働		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもつて	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容				
協働	(新規)	朝食	食生活 バランス	共食	食の安全・食中毒 行儀作法	食料表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境 農林漁業	行事食・郷土料理									

関係団体、地域・市民、行政等が、対等な立場で連携を図りながら協力して取り組んだ場合は ○

対象としたライフステージに ○

実施した内容を記載

改善すべき点、検討が必要な点等について記載  
(終了となる事業については、その理由を記載)

## <目次>

1 食育関係団体(さいたま市健康づくり・食育推進協議会委員)の食育取組状況	.....	1
2 さいたま市食育関係部局の食育取組状況	.....	6
公民館の食育取組状況	.....	21
3 市立小学校・中学校・特別支援学校の食育取組状況	.....	50

事業名	重点目標	分野別の目標	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進																			
生涯学習公開講座	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	三食しっかり	いっしょに楽しく	確かな目をもって	まごころに感謝	食文化や地の物	郷土料理	行事食	(重点)	行儀作法	食の安全	食品表示	食料備蓄	あいさつ	環境	資源	農林漁業	郷土料理	行事食	(重点)
事業の目標	身近な食育実践について興味を持ってもらう	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事業の対象者	単年度事業・継続事業																					
地域住民、食育に興味を持つ方	継続事業																					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	人間総合科学大学																					
取組の内容	生涯学習公開講座のひとつとして、身近な食育の実践について理解を促すためにテーマとして設定した。本講座は大学YouTubeにて期間限定公開にて実施した。																					
新型コロナウイルス感染症の影響	なし																					
取組の成果	地域で食育に興味を持つ方から問い合わせがあった。																					

事業名	重点目標	分野別の目標	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進																			
「離乳食について」「食物アレルギーについて」ハイブリット形式での講習会の開催	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	三食しっかり	いっしょに楽しく	確かな目をもって	まごころに感謝	食文化や地の物	郷土料理	行事食	(重点)	行儀作法	食の安全	食品表示	食料備蓄	あいさつ	環境	資源	農林漁業	郷土料理	行事食	(重点)
事業の目標	・保育所において正しい離乳食の進め方について学ぶ。 ・食具の正しい選び方や、一日3食しっかり食べること、朝食の重要性について学び、保護者支援へも繋げていく。 ・食物アレルギーについての正しい知識を習得し、個々に合わせて対応を行い、保護者支援へも繋げていく。	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事業の対象者	単年度事業・継続事業																					
さいたま市認可保育所 栄養士・調理師・保育士 等	継続事業																					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	さいたま市保育課																					
取組の内容	ハイブリット形式で開催。 (現地参加者は「子ども家庭総合センター」、オンラインでの参加者は施設においてZoomで参加する。) ※開催時間は各施設の職員が参加しやすい午後2時00分から午後4時30分までとした。																					
新型コロナウイルス感染症の影響	あり:新型コロナウイルスの感染拡大により調理講習会が開催できない状況が続いています。																					
取組の成果	・コロナ禍が3年目となり、ハイブリット形式での講習会を開催している。学びたいと思う職員が多く、いずれの講習会へも多くの方にご参加いただくことができた。さいたま市保育課との共同開催も非常に有難い。 ・幼少期における食事の在り方が後の食生活に大きな影響を与えるため、「食事は楽しく食べる」「一日3食しっかり食べる」「朝食の重要性」について、保護者への支援も欠かせない。様々なご家庭に合わせた支援方法で行うことができた。 ・新型コロナウイルスの感染拡大が収束した際は、地場産物を使い、伝統食や行事食の調理講習会を開催したい。																					

事業名	重点目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進											
みんなのスポーツ・健康フェア	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上											
		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進											
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	5 積極的な身体活動と運動習慣の形成											
		6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消											
健康づくりに自ら取り組む住民を増やして元気な地域にすることを旨													
		三食しっかり	いっしょに楽しく	確かな目をもって	まごころに感謝	食文化や地の物							
		(重朝食)	(重共食)	行儀作法	・食の安全	食品表示	食料備蓄	あいさつ	環境	資源	農林漁業	郷土料理	(重協働)
		○	○										○
事業の対象者	単年度事業・継続事業												
主に市内在住の子どもから高齢者まで	継続事業												
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
浦和駒場体育館、浦和区スポーツ振興会、浦和東部地区元気アップネットワーク、NPO親子体操連盟、駒場ソフトバレー、日本空手協会東浦和支部、さいたま市ディスコン協会ディスコンさいたま、NPO法人Remind、福岡整形外科、さいたま市トランポリン協会、よこかわ出張専門治療いきいきリハビリサロン旭ヶ丘、埼玉県年金委員会、埼玉T.Wings(ブラインドサッカークラブ)													
取組の内容													
日時：令和4年8月28日 10時～17時（令和5年1月15日にも今年度第2回目を開催） 場所：浦和駒場体育館 内容： 1)測定会 身長・体組成・握力・立ち座り・5m歩行・片足立ち・前屈(柔軟性) 2)相談会 健康(運動やライフスタイル)/健康運動指導士が対応 栄養・食事/管理栄養士が対応 お薬/薬局の薬剤師が対応 口腔ケア/保健士等が対応 怪我や体力低下、産後からのリハビリ/理学療法士等が対応 年金/年金相談員が対応 3)スポーツ体験 ブラインドサッカー、ウォーキングサッカー、親子大運動会、トランポリン、ソフトバレー スポンジテニス、スポーツ鬼ごっこ、ディスコン、ポッチャ、空手、けん玉 健康体操、マッサージ、ヨガ、ピラティス、新体操 など その他 ・スタンプラリー：地域の事業者などからいただいた景品を揃えてスタンプラリーを取り入れ複数体験を促進 ・広報：駒場体育館を中心に約2万世帯にチラシをポスティング													
新型コロナウイルス感染症の影響													
コロナ前に実施していた時に比べて高齢者の参加割合が減少(必ずしもコロナの影響かは不明)													
取組の成果													
2017年度に開始した事業であるが、毎年測定会に参加してくださる方もおり、運動能力測定や相談会は、健康づくりの啓発に役立っていると感じる。 8月28日には、午前中まで大雨であったが、約400名の参加があった。													

事業名	重点目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進											
月刊うらすぼの発行	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進											
		5 積極的な身体活動と運動習慣の形成											
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり												
スポーツ・運動などをおとした健康・交流を促進するため、関連する情報を地域の方々に伝える													
		三食しっかり	いっしょに楽しく	確かな目をもって	まごころに感謝	食文化や地の物							
		(重朝食)	(重共食)	行儀作法	・食の安全	食品表示	食料備蓄	あいさつ	環境	資源	農林漁業	郷土料理	(重協働)
		○	○										○
事業の対象者	単年度事業・継続事業												
地域住民	継続事業												
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
浦和東部地域元気アップネットワーク、スマイルハウス浦和、管理栄養士													
取組の内容													
発行頻度：毎月1回 月末 発行部数：1100部 仕様：A3両面カラー 内容： 浦和スポーツクラブが行っているスポーツや運動プログラムのお知らせ 運動と健康、健康寿命延伸などに関する情報 管理栄養士による健康ワンポイントアドバイス 元気アップサロンの予定と開催結果の様子 みんなの学校プロジェクトのお知らせ、開催状況 配布先 クラブ会員、周辺公共施設(公民館や体育館など)、協力事業所、元気アップサロン参加者													
新型コロナウイルス感染症の影響													
特になし													
取組の成果													
クラブ主催のイベントや、元気アップサロン、みんなの学校などの参加者が増えており、取組みの認知の向上につながっている													

事業名	重点目標	分野別の目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進			
市民健康栄養講座	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上			
			4 1日3食バランスのとれた食生活の推進			
			5 積極的な身体活動と運動習慣の形成			
事業の目標						
科学的な根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通じて、県民の公衆衛生の向上に寄与する						
	三食しっかり (重朝食)	いっしょに楽しく (重共食)	確かな目をもって ・食の安全 ・食料表示 ・食料備蓄 ・あいさつ	まごころに感謝 ・感謝 ・環境 ・資源	食文化や地の物 農林漁業 郷土料理	(協働) ○
事業の対象者	単年度事業・継続事業					
さいたま市民及び埼玉県民	継続事業					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	埼玉県栄養士会独自					
取組の内容	浦和区を中心に開催(栄養士の事務局を会場とするため)食事(栄養)の重要性を知ってもらいながら、身近なところで栄養相談などを気軽に聞ける場所を提供している。 ・栄養に関する講話30分程度 ・無料栄養相談 ・骨密度測定 など					
各回テーマ (予定含む)	4月【認知症を予防しよう(楽しく脳トレ)】 6月【食べて元気にフレイル予防】 7月【健康のため水を飲もう】 8月 栄養の日イベント(骨密度測定、講話 他) 9月【災害に備えて】 10月【血糖値が気になる方へ】 11月【むせや飲み込みが気になる方へ】 12月【おいしく減塩】 2月【運動と食事 筋力アップ!】 3月【骨粗しょう症を予防しよう!】					
新型コロナウイルス感染症の影響	着席位置や換気について配慮し、参加者名簿を作成し、参加者の検温と手指消毒の徹底を図る。					
取組の成果	参加人数は5~15名程度 毎月参加されている方もいらっしゃる。サロンの役割も果たしている。					



事業名	重点目標	分野別の目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進			
(1)生活習慣改善・定着プロジェクト (2)会員事業所向け健康診断等の実施 (3)メンタルヘルス・マネジメント検定試験の実施	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進			
			6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消			
事業の目標						
(1)①減塩・適塩の重要性を周知する、②医療現場のニーズを汲んだ製品開発～販売を行う (2)会員事業所従業員等の健康増進に寄与する (3)働く人たちの心の不調の未然防止と活力ある職場づくりへの貢献を目指す						
	三食しっかり (重朝食)	いっしょに楽しく (重共食)	確かな目をもって ・食の安全 ・食料表示 ・食料備蓄 ・あいさつ	まごころに感謝 ・感謝 ・環境 ・資源	食文化や地の物 農林漁業 郷土料理	(協働) ○
事業の対象者	単年度事業・継続事業					
市民、会員事業所および従業員	継続事業					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	(1)さいたま市保健福祉局、(一社)適塩・血圧対策推進協会、協定締結先の大学、会員事業所等 (2)浦和医師会、大宮シテイクリニック、レインボークリニック、川口総合病院 (3)大阪商工会議所					
取組の内容	(1)生活習慣改善・定着プロジェクト ①「ナト・カリ調味料」を使用した共同商品開発 ・会員事業所4店舗と人間総合科学大学の共同により適塩商品等を開発、期間限定で販売した。今夏から3店舗が同大学と共同商品開発を行っている。2月の販売を目指している ・適塩の普及啓発を目的に「筆記具の配布(写真上)」「webでの適塩取扱店の紹介(写真中・下)」をそれぞれ行った ②その他 ・市内ものづくり企業と大学の医療系学部との製品開発支援を行っている (2)会員事業所向け健康診断等の実施 ①指定機関で一般定期健康診断、生活習慣病健診、人間ドック、PET健診を受診できる ②労働安全衛生法に対応したストレスチェックサービスを提供している (3)メンタルヘルス・マネジメント検定試験の実施 毎年、3月と11月に試験を実施している。試験に向けた対策講座も開講している (4)健康経営に関する啓発活動 当会議所として健康経営優良法人の認定を受けた。また健康経営に関するセミナーの後援を行っている					
新型コロナウイルス感染症の影響	各種事業の打合せについて、引き続きオンラインでも対応している ・健診事業については受付時間の指定、厳守を受診者に依頼している					
取組の成果	(1)生活習慣改善・定着プロジェクト ①商品開発について、産経新聞、毎日新聞などのメディアで取り上げられた ②製品開発について、上市した案件が出ている。第2号案件に向けて動いている (2)会員向け健康診断等の実施 (①の数値は3年度事業のもの、カッコ内は2年度との比較) ①健康診断は285事業所(+18事業所)、1,555名(+27名)が受診した ②ストレスチェックサービスは6事業所294名に活用していただいた (3)メンタルヘルス・マネジメント検定試験の実施(カッコ内は前年度との比較) ①4年3月の申込者数は1,565名(+184名)、4年11月は2,084名(+487名)であった					



事業名	重点目標	分野別の目標											
(1)10区合同リーダー研修会、リーダー研修会、グループ伝達講習会 (2)委託事業(日本食生活協会、県、各区公民館) (3)食育推進事業	I 若い世代から、健康づくりを意欲した生活スタイルの獲得	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進											
		3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上											
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進											
健全な食生活や生活環境の定着を図るために、地域において、食育活動の輪を広げて行く。													
		三食しっかり	いっしょに楽しく	確かな目をもって	まごころに感謝	食文化や地の物						(重点)	
		(重朝) 食生活 バランス	(重共) 行儀作法	・食の安全 食品表示	食料備蓄	あいさつ 環境 資源	農林漁業	郷土料理	郷土料理	郷土料理	郷土料理	郷土料理	(重協)
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業の対象者	単年度事業・継続事業												
会員、市民(学童から高齢者)	継続事業												
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
さいたま市保健所地域保健支援課、さいたま市保健福祉局、各区保健センター、各区公民館													
取組の内容													
<p>(1)「歯と口の健康」健康寿命は日々のお口の健康からと、歯科医師 佐伯真弓先生の講義、健康寿命と8020運動は相関関係にあって、フレイル予防と同時にオーラルフレイル予防対策も大切と、多種多様な口腔ケアの方法を受講。また、新型コロナウイルス感染対応の一つとして、免疫機能を整えるには、栄養、食生活のポイントと身体活動(運動)が大切と伝えました。親子の食育、生活習慣病予防(高血圧予防、糖尿病予防、骨粗しょう症予防)、行事食、SDGsについてのレシビ説明と講義を会員に伝達できました。</p> <p>(2)米料理教室では米の消費拡大を推進、地産地消として、地元でとれた「彩のかがやき」を使い、地域市民と身近なお米で多様な米料理ができることを伝えました。夏休み子どもクッキングでは子どもでも手軽にできるメニューとおやつ作りなどと〇×式食育クイズなどで、作る楽しさ、知る喜びを伝えられました。高血圧予防教室では減塩料理を実施。わかば学級では地域の高齢者対象の会食会、低栄養予防に「三食しっかり食べましょう」「ロコトレで筋力をつけましょう」と伝え、南瓜スープとデザートを試食してもらいました。</p> <p>(3)生活習慣病予防教室(高血圧予防2件、骨粗しょう症予防2件、免疫カアップ1件) 骨粗しょう症予防では野菜たっぷり乳製品でカルシウムアップを身近な食材で、メニューが増え無駄なく使い切ることが勉強になったとの感想をいただきました。本日の簡単レシビの一人当たりのカルシウム摂取量は436mgと伝えました。</p>													
新型コロナウイルス感染症の影響													
人数、時間の厳格な制限に従って従来通り2部制の事業を実施 施設によっては使用可能になり、限定的ですが事業を再開しつつあります。													
取組の成果													
<p>コロナ対策、緩和策対応の公民館において「3蜜回避の厳守」出入口の窓を開放し、人数、時間制限、マスク着用、手指消毒、黙食と感染予防対策を厳守し一部事業を再開しました。 新型コロナウイルス感染予防、生活習慣病予防に対応し、バランスガイドに沿って主食、主菜、副菜を基本に多様な食品を組み合わせ、3食しっかり食べましょうと地域市民、会員に伝えることができ、食を通し健康づくりの大切さの理解を深めてもらいました。</p>													

事業名	重点目標	分野別の目標											
健口づくり交流会	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上											
		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進											
事業の目標	高齢者にお口の健康に興味を持ってもらうこと。												
		三食しっかり	いっしょに楽しく	確かな目をもって	まごころに感謝	食文化や地の物						(重点)	
		(重朝) 食生活 バランス	(重共) 行儀作法	・食の安全 食品表示	食料備蓄	あいさつ 環境 資源	農林漁業	郷土料理	郷土料理	郷土料理	郷土料理	郷土料理	(重協)
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業の対象者	単年度事業・継続事業												
健口教室の参加者	継続事業												
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
(公社)埼玉県歯科衛生士会、(公社)埼玉県栄養士会													
取組の内容													
<p>・お口の健康体操などを実際に行い、覚えて帰り自宅でも行うように指導。</p> <p>・お口の健康について歯科医師、歯科衛生士の講話、栄養について栄養士の講話。</p>													
新型コロナウイルス感染症の影響													
参加者と歯科医師等の交流は中止													
取組の成果													
お口の健康について興味を持っていただけた。													

事業名	重点目標	分野別の目標	3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上																	
公開市民講座	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進																	
事業の目標																				
さいたま市民が口腔の健康について学ぶことができる。																				
	三食しっかり	いっしょに楽しく	確かな目をもって	まごころに感謝	食文化や地の物															
	(重点) 朝食	食生活	バランス	(重点) 共食	行儀作法	・食の安全	食品表示	食料備蓄	あいさつ	感謝・環境	資源・	農林漁業	郷土料理	行事食	(重点) 協働					
事業の対象者	単年度事業・継続事業																			
さいたま市民	継続事業																			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体																				
大宮歯科医師会																				
取組の内容																				
令和3年度第1回公開市民講座「いつもでも美味しく食べるために ～身体の健康はお口から～」 令和4年2月24日(木) 実施																				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル予防の講話</li> <li>・マスクを装着したままでもできるお口の体操</li> </ul>																				
新型コロナウイルス感染症の影響																				
定員制で実施																				
取組の成果																				
毎年継続している事業であり、今後も市民に口腔の健康について啓発を行っていくことが重要だと考えております。																				



さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など				
		目標 5つの「食べる」										対象ライフステージ					対象、実施回数・参加者数等	実績 (令和4年度)		成果	課題		
		三食 しっかりと	いっしょ に楽しむ	食の安全・食中毒	食料表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	まごころ に感謝	食文化や 地の物	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳						壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上
健康増進課 協働○	さいたま市食育 なび (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民	実施日:通年 場所:ウェブサイト http://www.saitamacity-shokuiku.jp/ 内容:食育の基礎知識、学校や保育園の給食レシピ、食品ロス削減、地産地消、食中毒予防、食育取組事例などの情報を発信した。	アクセス数が増加した 令和2年度 189,552件 令和3年度 245,600件 令和4年度 258,778件	サイトのさらなる周知に努め、より多くの市民に食に関する情報を届ける。 また、繰り返しアクセスしていただくためには、掲載内容を充実させる必要がある。	さいたま市食育なび QRコード 
健康増進課 協働○	食育を実践しようプロジェクト (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市内に住所を有する、または市内大学に在学する大学生	実施日:通年 目的:第3次さいたま市食育推進計画に基づき、食育活動の企画・実践を行う人材を育成し、ライフステージの各段階に応じた食育の普及啓発を図る。 内容:(1)食育に関する講義やグループワーク。 (2)市が実施する食育関連事業への協力の調整。 (3)大学生による主体的な食育活動の企画・実践の支援。	人間総合科学大学の学生と共に「食品ロス削減」をテーマに取組んだ。10月30日に行われた「食品ロス削減全国大会(資源循環政策課主催)」にて作成物を掲示・配布し、市民に対し啓発を行った。また、市内公立保育園へ学生が作成したレシピ集を配布した。	今後も継続して学生と共に食育について検討し、事業を展開していく必要がある。	
健康増進課 協働○	5つの「食べる」の推進 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民	実施日:食育月間(6月)、食育の日(毎月19日)等 通年 場所:市内 内容:・年度重点目標「食文化や地の物を伝え合い」食べる」をテーマに小学生が描いた絵をデザインしたポスターを作成し、保育施設、教育機関、公共施設等に配布した。 ・食育なび、市ウェブサイト、市報、民間の会報誌等に食育に関する啓発記事を掲載した。	小・中学生が食育推進に関するポスターを描くことは、望ましい食生活について考える機会となっている。民間の会報誌等にも啓発記事を掲載し、食に関する課題の多い若い世代・働き盛り世代にアプローチできた。	啓発だけでなく、市民の行動変容につながるよう、外食・中食等の事業者と連携した取組を検討する必要がある。	
健康増進課 協働○	毎年10月は朝ごはんを食べよう強化月間(重点プロジェクト)の推進 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民	実施日:10月 場所:市内 内容:朝食摂取促進のためリーフレットを作成した。リーフレットは、公立保育園のすべての児童の保護者へ配布したほか、私立保育園、幼稚園、認定こども園、市立小・中・高・中等教育・特別支援学校、公共施設等に配布した。 ・食育なび、市ウェブサイト、市報、スマートウエルネスさいたまNEWS等に朝食摂取に関する啓発記事を掲載した。	リーフレットの配布を公立保育園等市内公共施設にご協力いただいたり、啓発記事をスマートウエルネスさいたまNEWSに掲載したりすることで、朝食欠食の多い若い世代・働き盛り世代にアプローチできた。	啓発だけでなく、市民の行動変容につながるよう、外食・中食等の事業者と連携した取組を検討する必要がある。	
健康増進課 協働○	各ライフステージにおける食育の推進 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民	実施日:通年 場所:市内 内容:・健康増進課の上記の各取組で、ライフステージに応じた食育の普及啓発に取り組んだ。 ・「さいたま市食育ガイド3～5歳児向け」リーフレットを増刷し、保育施設、幼稚園等に配布した。 ・認可保育所、幼稚園の食育の取組事例をまとめ、「さいたま市乳幼児期における食育取組事例集」を作成し、各施設へ配布した。また、「さいたま市食育なび」に掲載した。	認可保育所、幼稚園、認定こども園へ配布し、食育ガイドの活用を図った。	高齢者を対象とした食育について、関係課と連携した取組を検討する必要がある。	さいたま市食育なび QRコード(食育取組事例集) 
食品・医薬品安全課 協働—	食の安全・安心市民講習会の開催 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市内在住、在勤、在学中で18歳以上の方 受講者数:35人 回数:6回	実施日:①令和4年5月18日②令和4年7月12日③令和4年8月31日④令和4年10月27日⑤令和5年1月12日⑥令和5年3月15日 場所:①②③④大宮区役所⑤コープデリ商品検査センター⑥埼玉会館 内容:①食品の安全性の考え方、さいたま市の食の安全確保対策、食中毒予防と衛生管理②美習③食中毒予防と衛生管理④食品添加物の役割とその安全性、食品衛生課の業務(市の食品監視指導)⑤食中毒予防と衛生管理⑥農薬の安全確保のための正しい農薬の知識、さいたま市の食品等検査業務⑦食中毒予防と衛生管理⑧食品表示規制、健康食品の不当表示、食肉の安全確保対策⑨施設見学⑩食中毒予防と衛生管理⑪食の安全情報の付き合い方について	26人が受講修了した。	出席率向上及び受講者の幅を広げるためにハイブリッド形式での開催を検討する必要がある。	
食品・医薬品安全課 協働—	食の安全市民ネットワーク会議の開催 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:食の安全・安心市民講習会の修了者 委嘱者数:73人 回数:2回	実施日:①令和4年5月31日②令和4年10月18日 場所:①大宮区役所②食と農の科学館 内容:①情報提供、活動報告、意見交換②施設見学	①23人②8人が参加した。	ネットワーク推進員が活動を継続しやすくなるため、開催方法等を検討する必要がある。	



さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など					
		目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績(令和4年度)							
		三食 しっかりと	いっしょ に楽しく	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	まごころ に感謝	食文化や 地の物	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳		壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象、実施回数・参加者数等	実施日、場所、内容	成果
食品・医薬品安全課	食の安全フォーラムの開催	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:制限なし 定員:①50人②100人 回数:2回	実施日:①令和4年11月11日②令和5年3月8日 場所:①埼玉会館②浦和コミュニティセンター 内容:①パン産業における製パンと安全・安心への取り組み②食品中の放射性物質の考え方	①36人②61人が参加した。	身近な食品をテーマとして開催し、参加者から食の安全に対する理解が深まったとの感想が得られたが、60才以上の参加者が8割を占めており、幅広い年齢層の参加者を募る方法を検討する必要がある。	
食品・医薬品安全課	夏の食中毒予防対策強化期間の実施	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民	実施日:令和4年7月～8月 内容:電子媒体を用いた食中毒予防キャンペーン、市報を通じた注意喚起、市内公立小中学校への啓発、食肉等の処理・販売・提供等を行う施設や高齢者、若齢者等の抵抗力の弱い者を対象とした食事を提供する施設の監視指導	電子媒体による啓発を行ったことにより、情報発信の効率化、活用の自由度も上昇、紙の削減につながった。	情報を発信するだけではなく、発信した結果どのような効果が得られたかということも視野に入れて実施していく必要がある。	
食品・医薬品安全課	冬の食の安全注意報事業の実施	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民	実施日:令和4年11月～12月 内容:電子媒体を用いた食中毒予防キャンペーン、市報を通じた注意喚起、市内公立小中学校への啓発、社会福祉施設等を所管する庁内関係部署への周知	電子媒体による啓発を行ったことにより、情報発信の効率化、活用の自由度も上昇、紙の削減につながった。	情報を発信するだけではなく、発信した結果どのような効果が得られたかということも視野に入れて実施していく必要がある。	
食品・医薬品安全課	食の安全委員会、食の安全対策会議の開催	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	【食の安全委員会】 参加者:委員を委嘱された方 人数:13人 回数:4回 【食の安全対策会議】 参加者:庁内関係課所長 人数:10人 回数:3回	【食の安全委員会】 実施日:①令和4年5月16日②令和4年8月1日③令和4年11月7日④令和5年1月26日 場所:①大宮区役所②明彦なるほどファクトリー-荻戸③浦和コミュニティセンター 内容:食の安全確保対策事業について、食の安全基本方針アクションプランについて、食品衛生監視指導計画について 【食の安全対策会議】(書面開催) 実施日:①令和4年4月28日②令和4年10月13日③令和5年1月11日 内容:食の安全確保対策事業について、食の安全基本方針アクションプランについて、食品衛生監視指導計画について	市民の食の安全確保に向けて、食の安全に関する情報共有や意見交換を行い、食の安全基本方針アクションプランや食品衛生監視指導計画に反映した。	今後も国や他の自治体の動向を注視しながら、活発な意見交換を行い、施策に反映していく。	
食品・医薬品安全課	食の安全基本方針アクションプラン、食品衛生監視指導計画の策定	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民	【食の安全基本方針アクションプラン】 令和4年度アクションプランを6月に策定した。 令和5年度アクションプラン(案)の令和5年度目標の作成を行った。 【食品衛生監視指導計画】 令和5年度年度計画(案)について12月1日から12月28日まで意見募集を行った。 御意見を踏まえた上で、3月に計画を策定した。	食の安全委員会、食の安全対策会議及び意見募集で得られた意見を反映し、策定することができた。	今後も国や他の自治体の動向を注視しながら、策定を進めていく。	
食品・医薬品安全課	ホームページ、食育ナビ及びSNSを利用した市民への情報提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民	実施日:随時 内容:食の安全に関するお知らせや、食品衛生監視指導計画に基づく監視状況等を掲載した。	遅滞なく掲載できた。	今後も継続して情報を掲載していく。ホームページの整理を行う必要がある。	
いきいき長寿推進課	健口教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市内在住で、65歳以上の方 実施回数:区ごとに年2コース、1コース3日間開催 参加者:294人	実施日:区ごとに会場及び日時を設定 場所:公民館等 内容:高齢期の栄養や口腔機能、フレイル予防などを、全3回の教室で学びます。 講師:埼玉県栄養士会等から派遣	栄養士による高齢期の食生活やオーラルフレイルに関する講義に加え、食事バランスシートのチェックとフィードバックを行う個別支援も含めた教室を実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、各会場における定員を制限しているところではあるが、定員に満たない会場もあり、引き続き教室の周知を検討していく。	

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など					
		5つの「食べる」										対象ライフステージ					実績(令和4年度)							
		三食 しっかりと	いっしょ に楽しく	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳+		対象、実施回数・参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題	
地域保健支援課 協働○	健康づくり協力店舗普及促進事業 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳+	対象:健康づくり協力店舗指定店舗98店舗	実施日:通年 場所:さいたま市内 内容:新規指定、指定店舗巡回、状況確認アンケート、ポスター作成、市ウェブサイト・ポスターによる情報発信等	・指定店舗が3店舗増加(新規指定7店舗、辞退4店舗)、市民に健康情報を発信することが出来た。 ・健康づくり協力店を紹介するポスターを作成し、各区保健センターに掲示した。 ・市ウェブサイトとポスターを通して本事業を広く周知したことで、指定店舗のPRにつながった。	・指定店舗がバランスメニューの提供や健康情報の発信を適切に実施できるよう支援する必要がある。 ・健康づくり協力店を利用する市民を増やすため、健康づくり協力店のPRを引き続き行う必要がある。 ・市民の健康づくりのための食環境を整備するため、指定店舗数を増やす必要がある。	
子育て支援政策課 協働—	食育に関する情報の配布、掲示の協力 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳+	対象:のびのびルーム利用者	実施日:不定期 場所:各のびのびルーム 内容:食育に関する情報の配布、掲示	例年は離乳食や幼児向けの食育に関する冊子やチラシの配布、ポスター等の掲示の依頼があった際に、0~2歳児までの親子が利用する「単独型子育て支援センター」や「のびのびルーム」で配布・掲示協力していたが、令和4年度は依頼が無かったため、掲示等の協力は行わなかった。	放課後児童クラブの空き時間を開放するという事業の性質上、ポスター等の掲示については難しい場合がある。	
子育て支援政策課 協働—	単独型子育て支援センターでの食育に関する事業 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳+	単独型子育て支援センター利用者	実施日:不定期 場所:各子育て支援センター 内容:離乳食教室、ブルーベリー摘み、お芋掘り、里芋堀など各支援センターで内容を決定し実施	・単独型子育て支援センター10か所すべてで、育児相談(食事・栄養に関する相談を含む)を実施した。 ・食への関心を高める体験をする機会を設けることができた。	畑を持つなど、それぞれの支援センターの特徴を生かした講座やイベントを引き続き実施する。	
青少年育成課 協働○	三橋児童センター「離乳食講座」 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳+	対象:離乳食期の乳児とその保護者 実施回数:1回 参加者数:乳児7人、保護者7人	実施日:2022年10月17日(月) 場所:三橋児童センター 体育室 内容:離乳食期の食事の与え方、作り方についての講話	講座の時間の半分を講義、半分を質問にあてたことにより、保護者も個々に質問することができた。みなさん、熱心に参加され、うなづいたり、メモをとったりしていた。アンケートでも「参加してよかった」という意見が多かった。	子どもと一緒に参加する事業なので子どもが飽きないよう時間やおもちゃ、講義の途中で手遊びを入れるなどの工夫をしたい。	たより、チラシの設置、乳幼児事業(0歳)に合わせての実施、声掛けから申し込みをされる方が多かった。(昨年度3組)コロナ禍での実施ということで換気等注意しながらリラックスして参加していただけるように心掛けた。みなさん真剣に話を聞き、メモを取っている人もいた。一人ひとりに講師の方もアドバイスをしてくれ、みなさん安心・納得しているようだった。
青少年育成課 協働○	植竹児童センター「栄養士による離乳食講話」 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳+	対象:離乳食期の乳児とその保護者 実施回数:1回 参加者数:乳児2人、保護者2人	実施日:2022年10月27日(木) 場所:植竹児童センター 体育室 内容:北区役所保健センター栄養士による乳幼児の食育についての講話 講師:北区保健センター 栄養士	参加者の離乳食等に関する疑問や不安を解消することに繋がった。	コロナ禍での開催であるため、定員制などの感染防止対策が必要であった お子さんと同室のため、講話に集中できない保護者がいる。	
青少年育成課 協働○	天沼児童センター「管理栄養士講話」 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳+	対象:乳児とその保護者 実施回数:1回 参加人数:乳幼児6人 保護者6人	実施日:2022年6月16日(木) 場所:天沼児童センター 内容:大宮区役所保健センター栄養士による乳児の食育(離乳食)についての講話	離乳食の説明や調理のポイントなど、参加者は皆熱心に耳を傾けていた。講話後の質疑応答では、事前質問を含め、多くの質問があり、食育に関する情報提供、相談の機会となった。	親子での参加のため、乳児が途中退屈し動き始め、保護者が講話に集中できなくなりました。今回は玩具等を事前に準備しておきたい。	
青少年育成課 協働○	【本郷児童センター】じゃがいもほり (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0・5歳	学齢期 6・15歳	青年期 16・24歳	成人期 25・39歳	壮年期 40・64歳	高齢期 65歳+	対象:乳幼児親子、小学生親子、中高生親子、高齢者 実施回数:1回 参加人数:乳幼児33人、児童25人、保護者50人、高齢者2人	実施日:2022年6月25日(土) 場所:近隣畑	参加者同士や、畑を貸してくださった地域の方との交流などができた。コロナ禍で顔を合わせて様々な体験等ができない中たくさんの方に参加いただき、暑い日ではあったがみなさんのとてもよい表情を見ることが出来た。	実施の仕方。R4年度は3部制にて実施。	

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do										Check		取組の様子など
		5つの「食べる」										対象ライフステージ										実績(令和4年度)		
		三食 しっかりと	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児 0・1・5歳	学 齢期 6・15歳	青 年期 16・24歳	成 人期 25・39歳	壮 年期 40・64歳	高 齢期 65歳以上	対象、実施回数・参加 者数等	実施日、場所、内容		成果	課題							
青少年育成課 協働○	【本郷児童センター】乳幼児向け食育講座 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・1・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高年齢期65歳以上	対象:乳幼児とその保護者 実施回数:1回 参加人数: 乳幼児5 保護者4	実施日:2022年11月2日(水) 場所:本郷児童センター 内容:北区役所保健センター栄養士による離乳食講座	栄養士さんには、参加者からの個別の質問も対応していただいたため、参加された保護者は熱心に話を聞いていた。	コロナ禍の開催であったため、講師派遣依頼が難しかった。	
青少年育成課 協働○	【文蔵児童センター】食育講座 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・1・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高年齢期65歳以上	対象:乳幼児親子 参加人数: ①幼児12人、 保護者13人 ②幼児15人、 保護者14人	実施日: ①2022年6月9日(木) ②2023年2月28日(火) 場所:文蔵児童センター 遊戯室 内容:乳幼児期の食について理解を深める。南区保健センターの栄養士による食育講座を行う。また個別相談も行う。	栄養士による食育講座として講話を実施。質問が多く寄せられる内容を中心に行った。各回それぞれ対象年齢を変えて実施した。講話終了後も質問や個別相談が多く、子育て中の保護者の悩み軽減につながったと感じた。	保護者同士が自分の悩みや心配事を気軽に話せる場が必要。次年度も引き続き実施していく。	
青少年育成課 協働○	【浦和別所児童センター】食育講座 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・1・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高年齢期65歳以上	対象:乳幼児とその保護者 回数:1回 参加:乳幼児6名、保護者6名	実施日:2022年6月8日(水) 場所:浦和別所児童センター遊戯室 内容:南区保健センター栄養士による講話、質疑応答 個別相談(今回は緑区保健センターの栄養士も同席)	6組中5組が離乳後期のお子さんとの保護者だった。 残る1組も離乳中～後期の段階で対象となる内容は近いようだった。	応募されるお子さんの月齢が近く、ニーズが分かりやすかったので、次回は今回同様予め月齢もわかろうかがうが、広報で内容を詳しく載せ、参加の検討をしやすくしたい。	
青少年育成課 協働○	【向原児童センター】親子でそばう〇「食育講話」 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・1・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高年齢期65歳以上	対象:0歳児とその保護者 ①5月20日(金)乳幼児4、保護者3 ②1月20日(金)乳幼児3、保護者3	実施日: ①2022年5月20日(金) ②2023年1月20日(金) 場所:向原児童センター集会所 内容:中央区保健センター栄養士による食育(離乳食に関する)講話(②は栄養士ではなく保健師の講話となった)	参加者は少なかった。0歳の行事の中で開催したことで、子どもの月齢が近く他の保護者の質問内容にも共感している様子がうかがえた。	定員に達しなかったため、広報の方法を検討する。	
青少年育成課 協働○	【向原児童センター】おもしろいへ行こう! (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・1・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高年齢期65歳以上	対象:幼児と小学生と保護者 実施回数:1回 参加人数:乳幼児11名、小学生2名、保護者12名	日程:2022年10月22日(土) 場所:小川農園 内容:地域農家の芋畑を借り上げ親子1組あたりサツマイモ3株の収穫をする。	幼児親子や小学生親子の参加があり幅広い年齢の参加があった。また土曜日の開催だったため父親の参加も多かった。親子で収穫する楽しさや大変さを体験してもらえた。	自然のものなので、収穫量や本数に差が出てしまった。	
青少年育成課 協働	【大戸児童センター】ハイハイサロン「離乳食講話」 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・1・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高年齢期65歳以上	対象:乳幼児と保護者 参加人数:乳幼児6名、保護者6名	実施日:2022年6月23日(木) 場所:大戸児童センター 内容:中央区保健センター栄養士による離乳食などの講話	参加したお子さんが6か月以上と離乳食が進んでいたが、食べてきた朝食を聞くこと、全員がバランスよく提供できており、「多く食べるのにもっとほしいとせがまれる」歯が6本も生えてきた」など和やかな雰囲気です事業を進めることができた。	希望者の多い事業であるが、令和5年度は保健センターの職員都合がつかず、実施ができなくなりました。令和6年度に向け調整を図りたい。	
青少年育成課 協働—	【大久保東児童センター】栄養士による講話 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・1・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高年齢期65歳以上	対象:乳幼児とその保護者 ①乳幼児7名、保護者7名 ②乳幼児5名、保護者4名	実施日:①2022年5月26日(木)②2022年7月13日(水) 場所:大久保東児童センター 内容:保健センターの栄養士を講師とし、離乳食やバランスのいい食事についての講話、利用者からの質疑応答、悩み相談などが解決された。	離乳食やバランスのいい食事についての講話を開き、食育についての理解が深められた。また個別相談を行うなど、利用者が日ごろ悩んでいることが解決された。	乳幼児とその保護者が参加する事業内で行うので、乳幼児が講話中に飽きてしまふことへの対応	

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do										Check		取組の様子など													
		目標 5つの「食べる」										対象ライフステージ										対象、実施回数・参加者数等	実績（令和4年度） 実施日、場所、内容		成果	課題											
		三食 しっかりと	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0～5歳	学 齢期 6～15歳	青 年期 16～24歳	成 人期 25～39歳	壮 年期 40～64歳	高 齢期 65歳以上	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理																		
青少年育成課 協働—	【大久保東児童センター】中高生の卒業を祝う会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：中高生 参加人数：中高生17名	実施日：2023年3月24日（金）～3月31日（金） 場所：大久保東児童センター 内容：中高生の進級・卒業を祝う	コロナ禍で利用制限があるため以前のような菓子作りや飲食ができず、記念品を渡す週間となった。	コロナによる制限が緩和された後にどのようにクッキングを実施するか課題	
青少年育成課 協働—	【岩槻児童センター】ダイキョー (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：中高生 15人程度	実施日：2022年11月3日 場所：猿花キャンプ場 内容：カレー作り他	初めて、中高生が主軸の事業であったため、準備・調理・片付け・トイレ掃除など自発的に行っていた。	参加する中高生が献立や予算の計算といった計画立案などもできるとよいと感じた。	
青少年育成課 協働—	【岩槻児童センター】中高生クッキング (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：中高生 16人	実施日：12/17 1/21 2/25 3/18 場所：コミュニティセンターいわつき調理室 内容：育ち盛りの中高生が食事の大切さを学び、自分で作って食べられるようになるきっかけをつくる。低予算で簡単に作れるメニューを提供し、みんなで楽しく作って食べる。	料理をしたことのない中高生も興味を持つきっかけとなった。	参加者に偏りがあるため、来年度は新規参加者が増えるよう働きかけていきたい。	
青少年育成課 協働—	【仲本児童センター】仲本ファームプチトマト栽培 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：利用者全般	実施日：2022年5月～7月 場所：仲本児童センター・仲本荘玄関前 内容：プランターで栽培したプチトマトときゅうりの成長を見守り、収穫する。	・玄関前で栽培したため、多くの利用者が成長過程を見ることができた。また、成長過程を館内掲示したことにより、収穫後も利用者が成長過程を見ることができた。 ・毎年、乳幼児親子・児童が収穫しているが、昨年度同様、新型コロナウイルス感染防止のため職員が収穫、受付に展示した。	・今回、成長過程を記録し、館内掲示したが、赤い実になるところで記録を終えた。植物が枯れてしまうところまで記録し、植物の生きた過程も利用者に伝えたい。 ・天候により良く実をつけるものとそうでないものがあったため、植物自体の事前調査も重要である。	
青少年育成課 協働—	【仲本児童センター】食育あそび (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：利用者全般 ①幼児：7人 保護者：7人 ②乳幼児：12人 保護者：8人	実施日：①2022年11月3日 ②2022年11月20日 場所：遊戯室 内容：①収穫祭 ②お芋ほりごっこ	①季節の野菜や果物をバスケットに入れて持ち帰り、家でのおまご遊びに活かした。 ②イメージしながら楽しく行えた。採ったお芋は、袋に入れて大事に持ち帰った。	コロナのために参加する方が少なかった。	
青少年育成課 協働—	【尾間木児童センター】食育のおはなし (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：乳幼児とその保護者	日程：2022年6月～ 場所：尾間木児童センター図書室 内容：本の読み聞かせ等で、食育についての内容を交えて実施。また、食育に関する絵本コーナーを図書室に設置した。	食育月間に気軽に参加できるように実施。親子で食について興味や関心を持つて楽しめるような内容の本の読み聞かせ等を実施した。	興味関心を持ってもらえる内容について検討をしていく。	
保育課 協働—	保育園での食育 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：公立保育園に通う児童、その保護者 実施回数：76事例	場所：各公立保育園 内容： ・公立保育園が食育年間計画を作成し、保育士等が実施した食育が61事例。保育課栄養士が公立保育園に向いて実施した園児向けの食育が15事例。 ・給食で提供している献立のレシピを作成し、配布。（主菜のレシピ33種類）	各園で作成した食育年間計画を基に、子どもの月齢や発達に応じた食育を実施することができた。 また、保護者向けに作成した給食の人気レシピを配布を行い、家庭の食に対する興味関心を高めることができた。	園児向けの食育に比べて、保護者向けの食育の機会が少ないため、検討が必要。	

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		5つの「食べる」										実績 (令和4年度)				成果	課題							
		三食 しっかりと	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・参加 者数等	実施日、場所、内容		成果	課題												
保育課	食だよりの発行 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高齢期65歳以上	対象:公立保育園の保護者、食育なびの閲覧者 実施回数:年1回発行	場所:公立保育園へ通う児童の保護者へ配信、食育なび上へ掲載 内容:季節ごとの食に関する情報発信、栄養・食育・衛生・食物アレルギーについての情報発信等	保育課栄養士より、公立保育園の保護者へ食に関する様々な情報を発信することができた。 また、食育なびへ掲載することでより広く発信することが期待できる。	保育課栄養士が主導となり発信する内容を決めているが、保育園や保護者の知りたい内容を発信できるとよい。	令和4年度に発行した食だよりの内容・春号 公立保育園の給食、食育、旬の食材と行事食の紹介。 さいたま市食育推進計画の目標「5つの食べる」 旬の食材と行事食(予定)
保育課	公立保育園併設型子育て支援センター(4園)および子育て談話室での食育 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高齢期65歳以上	対象:公立保育園併設型支援センター、公立保育園子育て談話室の利用者 実施回数:2事例	場所:公立保育園併設型支援センター(大砂土保育園、西町保育園) 内容:乳幼児期の食生活についての講話、個別相談等	公立保育園の給食を媒体に、食に関する情報を発信することができた。1回あたりの参加数を少なくし、1人1人の栄養相談の時間をしっかり設けることができた。 また、参加できなかった方にも当日の資料を配布したり、参加者からの質問内容を共有することで情報を発信することができた。	1回に参加できる人数に限りがあり、もれなく参加してもらうために実施回数の検討が必要。	
保育課	食育なびにて保育施設における食育活動の発信 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高齢期65歳以上	対象:市内の保育施設、食育なびの閲覧者 実施回数:8事例	場所:食育なび上へ掲載 内容:市内の保育施設で行っている食育の取組、食物アレルギー研修の紹介	各園に直接出向いて食育を行うことが難しいことを受け、園での取り組みを食育なびで積極的に発信した。これにより、保護者を始めとして、園で行っている食育活動の発信ができた。	今後も継続して発信していく。	
保育課	食育なびにて保育施設における給食献立の発信 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高齢期65歳以上	対象:食育なびの閲覧者 実施回数:4事例	場所:食育なび上へ掲載 内容:市内の保育施設で提供する給食献立レシピの紹介	食育なびで発信することにより、保護者を始めとして、保育施設の人気メニューなどを発信することができた。	今後も継続して発信していく。	米粉の あさり入りチヂミ
保育課	食物アレルギー研修会及び講演会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高齢期65歳以上	○エビイベント研修会 実施回数:3回 対象:市内保育施設の職員 ○新任職員食物アレルギー研修会 実施日:①1月24日(火)②2月28日(火) 場所:①浦和コミュニティセンター②プラザノース 対象:市内保育施設の新任等聴講生の無い職員 参加者数:118名	○エビイベント研修会 場所:アナフィラキシー児やエビイベント預かり児が在園している保育施設 内容:アレルギー対応についての講話、エビイベント使用法のデモンストラেশョン ○新任職員食物アレルギー研修会 実施日:①1月24日(火)②2月28日(火) 場所:①浦和コミュニティセンター②プラザノース 内容:「食べて治す!子どもの食物アレルギー」研修 (講師:さいたま市民医療センター 小児科 診療部長 西本 創氏)	エビイベント研修会は、食物アレルギーについての講話とエビイベント使用時の流れを確認することで、基本的な知識の習得を図ることができた。 また、研修会は規模を縮小し、対象を新任等聴講生の無い職員とすることで、正しい知識を施設で共有することにつながった。	感染症拡大防止のため、実技講習を行うことが難しく、方法について検討が必要。 また、規模を縮小し、参加人数を制限したため開催の方法について検討が必要。	新任職員食物アレルギー研修会の様子 (座席の間隔をあけて実施)
環境創造政策課	さいたま市環境フォーラム (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高齢期65歳以上	展示参加団体:20団体 スタンプラリー参加者:191人	実施日:令和4年11月23日(祝) 場所:鐘塚公園・ソニックシティイベント広場 内容:市民、事業者、学校、行政などがそれぞれの立場で行っている環境保全活動についての発表を通じ、お互いの情報交換と交流の場、また、多くの方々に環境に関心を持っていただくための環境教育・学習の場を創出することを目的としたイベントである。環境への配慮と併せて、食品ロスの削減など食育についても啓発した。	来場者アンケートでは、食品ロスについての感想や意見などもあり、食育の推進について啓発することができた。	より多くの方々に、環境に関心をもっていただけるよう事業内容や広報方法を検討していく。	
環境創造政策課	エコライフDAY (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高齢期65歳以上	夏 9,337人 冬 集計中	夏と冬の年2回、ある1日を省エネ・省資源など環境に配慮して過ごし、その成果を二酸化炭素の排出削減量で把握する取組で、環境配慮のきっかけ作りを目的としている。取組項目には、「食べ残しをしない!」野菜は旬なものを選ぶ」といった、食育推進に関連する内容が含まれており、市立小中学校の児童・生徒・市職員やその家族などに取組んでもらった。 取組期間 夏6月～9月 冬12月～3月	環境に配慮していただく中で、食育の推進についても取り組んでもらうことができた。	参加者を増やすため、一人ひとりの行動が地球温暖化防止につながるという本取組の趣旨を周知し、参加を促していく。	



さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do										Check		取組の様子など
		目標 5つの「食べる」										対象ライフステージ										実績 (令和4年度)		
		三食 しつかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳以上	対象、実施回数・参加 者数等	実施日、場所、内容		成果	課題							
資源循環政策課 協働 ○	九都県市首脳 会議廃棄物問 題検討委員会 3R普及促進事 業 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳以上	対象：九都県市域内 住民	実施日：令和4年4月～ 場所：九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、川崎市、横浜市、千葉県市、さいたま市、相模原市)域内 内容：食品ロス削減を含む省資源化を行う企業を支援する、「チャレンジ省資源宣言」を実施。ホームページで企業の取組等を紹介している。また、令和4年10月から11月まで宣言企業の商品が当たるキャンペーンを実施。そのほか、令和4年10月の食品ロス削減月間に合わせて、車内広告でのポスター掲示やコンビニエンスストアで広告を放映。	例年普及啓発活動を行っていたイベントが中止となる中、ホームページや車内広告等を活用し、広く周知することができた。	対面でのイベントが再開しつつあるため、より現状に即して効果的なPRの方法をさらに工夫していく必要がある。	
資源循環政策課 協働 ○	Saitama Sunday Soup (あまった食 材、スープにしちや おう！日曜日は食 べつくスープ！) (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳以上		実施日：令和4年4月～ 内容：食品ロス削減を呼びかけるため、パンフレット・動画を通じ食品ロス削減につながる「買い方」と「冷蔵庫整理術」を紹介したほか、あまった食材は日曜日にスープにして食べつくそう、ということをし、レシピとともに提案している。インスタグラムなどにもレシピを掲載中。	パンフレットはイベント等で配布するほか各区の情報公開コーナーにも配置しており、おおむね好評を得ている。またインスタグラム等を活用することで双方向での啓発活動を行うことができた。	インスタグラムでは市民等から投稿のあったレシピも掲載している。さらなる投稿増加のためにも、いっそうのPRが必要である。	
資源循環政策課 協働 ○	チームEat All (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳以上		実施日：令和4年4月～ 内容：食ロス削減に取り組む企業と市が協働で食品ロス削減を推進するチームを結成。市では企業の取組の紹介等を実施。令和4年10月30日に開催された、食品ロス削減全国大会では、チームEat All参加事業者と連携した展示等を実施した。食品小売事業者との連携では、棚の手前から商品をとる「てまえどり」のポップを作成し、各店舗で掲示した。	令和5年2月末現在で38の事業者が参加。市ホームページを通じ、広く市民に周知している。	事業者の取組についてより多くの市民に周知できるよう、PRを強化していく必要がある。	
農業政策課 協働	エコ農業直接 支援事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳以上	—	実施日：— 場所：西区、見沼区 内容：生産者の減農薬・減肥料栽培、有機栽培を支援し、カバークロープを用いた栽培、農薬・化学肥料の使用の5割以下に減らした栽培、有機栽培など、環境保全型農業を中心とした米づくり野菜づくりを推進した。	減農薬・減肥料、また有機栽培で環境負荷の小さい米作りを推進できた。	レンゲなど種苗、資材が高騰し、実施者から事業継続を危ぶむ声がある。	
農業政策課 協働	地場産農産物 料理講習会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳以上	対象：市内在住者	実施日：令和5年12月9日(金)、令和5年2月9日(木) 場所：与野本町コミュニティセンター、コミュニティセンターいわつき 内容：第1回「市内産の米粉を使った料理」、第2回「冬野菜を使った料理」	市内産の農産物を参加者にPRすることができた。	テーマの見直しや参加者募集の周知等を検討し、より魅力的な講習会にしていける必要がある。	
農業政策課 協働	さいたま市農情 報ガイドブック・ マップ作成 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳以上	—	実施日：— 場所：— 内容：農業情報を掲載した冊子の作成(23,000部)、配布を行った。	市内農業の市民へのPRに努めるとともに、地産地消の推進を図った。	配布場所を工夫する等、冊子のより効果的な利用方法を検討する必要がある。	
農業政策課 協働	農産物ブランド 化事業 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳以上	—	実施日：— 場所：— 内容：さいたま市内には、くわい・紅赤・赤いも・小松菜・チロリー・木の芽など特色ある農産物が多く生産されており、花や種木の生産も盛んである。これらの農産物自身をPRするとともに、加工品の開発・商品化を行い、市内農産物の生産振興とその販路拡大を図った。	紅赤の商品化を行ってくれる店舗の新規開拓や農産物の行内外でのPR活動を行い、特産品の認知度向上に貢献できた。	加工品の原料の供給が不安定である。	



さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など					
		目標 5つの「食べる」										対象ライフステージ					実績（令和4年度）							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象、実施回数・参加者数等	実施日、場所、内容		成果	課題			
農業政策課 協働	ニーズ対応型 農業支援事業  (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	—	実施日：— 場所：— 内容：消費者ニーズに対応した「欲しいものをつくる」ニーズ対応型農業を支援するため、地元業者と連携をとり、ショウガの試験栽培を行った。	地元業者にさいたま市産ショウガを納入した。	ショウガに続く、新たな品目を探る必要がある。	
10区保健センター協力事業 協働—	親子食育講座 「ばくばくごはん 教室～幼児期の 食事～」  (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：1歳半～2歳児とその保護者 実施回数：2回 参加者数：保護者15人、児14人(2会場合計)	実施日：6月15日、12月23日 場所：市内2会場(見沼区、浦和区保健センター) 内容：講話、食育デモンストレーション、食育体験 ※中央区会場(9月22日)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	教室後アンケートで、食分量、食べる工夫について7割以上が「理解できた」「たいたい理解できた」と回答した。家庭でできる食育については9割以上が「実践したい」「どちらかといえば実践したい」と回答し、実践が期待された。	アンケートに「子が騒いできけなかった」との意見があり、講義中の児の対応等検討できるとよい。本事業は令和4年度で終了となる。次年度以降は、新たな食育推進事業を実施する。	
10区保健センター協力事業 協働○	食生活改善推進員養成講座  (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：食生活改善推進員となってボランティア活動に参加できる市民	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、全日程を中止とし、申込者に対し ①一部講座「栄養の基礎知識」「食事バランスガイドについて」のオンデマンド配信 ②食生活改善推進員協議会の活動見学の2点について、郵送にて案内した。	申込者49名のうち、視聴後アンケートの回答数は「栄養の基礎知識」が11件、「食事バランスガイドについて」が9件であった。回答者の大半が講義内容について「よくわかった」と回答していた。	3年連続中止となっているため、来年度以降は集合形式で開催ができるよう内容等を検討する。	
10区保健センター協力事業 協働—	若い世代を中心とした啓発  (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：○人	実施日： 場所： 内容：			
10区保健センター協力事業 協働○	ヘルスマイトを通じた情報発信  (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：○人	実施日： 場所： 内容：			
保健センター 共通事業 協働—	食生活改善推進員の育成  (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：食生活改善推進員 実施回数：集計中 参加者数：集計中	実施日：区によって異なる 場所：各区保健センター等 内容：各区の状況に応じた、食生活改善推進員の育成。	地区活動等が円滑に進むよう、各区の状況に合わせた支援(研修会の開催や活動へのアドバイス等)を行った。支援を通して、地域における食を通じた健康づくりを進めている。新型コロナウイルス感染予防のため講義を中心とし、調理実習は一部の区で実施した。	食事バランスガイドの理解を深め、実践できる会員を増やしていくことをテーマに、会員一人一人の質の向上と、会員数の増加を引き続き目指す。新しい生活様式を踏まえて、講義等実施する必要あり。	
保健センター 共通事業 協働—	特定保健指導  (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：積極的支援対象者 受講者数：130人 (10区合計・R3実績値)	実施日：区によって異なる 場所：各区保健センター 内容：生活習慣改善の自主的な取り組みのため、行動目標を立て、3か月以上の支援を行う。乱れた食生活を改善し、内臓脂肪の減少のために1日にどの位のエネルギーが必要なのかを知り、朝食の大切さ、3食バランスよく取ることを食事バランスガイドなどを活用して支援していく。	実績評価時の栄養・食生活の状況は、8割以上が改善していた。身体活動の改善の有無に関わらず、栄養・食生活の改善のあった者の方が、体重・腹囲の減少者の割合が高かったことから、栄養・食生活を中心とした支援は効果的であると考えられる。	今後計画が変更され、アウトカム評価が導入される。それに伴い、より効果的な保健指導が求められるため、ICTの活用など新たな支援媒体の導入や支援者のスキルアップが求められると考える。	

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など					
		5つの「食べる」										対象ライフステージ					実績（令和4年度）							
		三食 しっかりと	いっしょ に楽しく	目標 達成	食の安全・食中毒	食料表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	まごころ に感謝	食文化や 地産物	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象、実施回数・参加者数等		実施日、場所、内容	成果	課題		
保健センター 共通事業	地区依頼教育	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	区によって異なる。 実施回数: 24回 参加者数: 322人	区に合わせた実施した。 場所: 子育て支援センター、児童センター、公民館等	各区において実績評価、改善をしている。	第3次さいたま市食育推進計画の推進を図る。	
保健センター 共通事業	離乳食教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 4～5か月児の保護者 実施回数: 164回 参加者数: 2518人	実施: 区に合わせた実施 場所: 各区役所保健センター 内容: 離乳食の進め方の講義と形状見本の提示等	安心して離乳食をすすめられるよう、形状見本の提示等を交えて教室を実施。	各区の状況に合わせて内容・定員を変更。	
保健センター 共通事業	出産前教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 主に初妊婦とその夫やパートナー等 実施回数: 49回 参加者数: 794人	実施日: 区によって異なる 場所: 各区保健センター 内容: 妊娠中の食生活の留意点についての講義	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら、オンライン開催等各区の現状に応じて実施した。	区、月によって参加状況に差がある。引き続き新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、各区の現状にあった内容になるように、事業を実施していく。	
西区保健センター	幼児食教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 1歳6か月以上3歳未満の児の保護者 実施回数: 1回 参加者数: 8名	実施日: 1月26日(木) 場所: 西区役所保健センター 内容: 幼児期の食生活について子どもの食事の悩みを解決するヒントについて ※8月3日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	アンケート結果より、「離乳食以降の幼児の食事について学ぶ機会があったよかった」との意見があったことから、ニーズにあった教室が実施できたと考えられる。	近年、西区は子育て世代の人口が増加していることから、乳幼児とその保護者を対象とした食に関する教室を児童センター等の関係機関と協働で実施する方法について検討が必要である。	
西区保健センター	健康！ほっとステーション	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 区役所来庁者	実施日: 6月、9月、10月 場所: 西区役所保健センター 内容: 6月「食育月間」、9月「食生活改善普及運動」、10月「朝ごはんを食べよう」をテーマに掲示とリーフレットの配布	保健センター利用者の他、区役所来庁者も気軽に足を止めて掲示を見ている方が多数見受けられた。また、市民が持ち帰れるよう資料を設置しており、閲覧利用だけでなく、啓発資料が市民の手に渡り活用されていると考える。	時宜にかなったテーマや区民に関心を持っていただけるようなテーマを設定する必要がある。	
西区保健センター	ちょっとコレステロールが気になる方の運動整～ソフトエアロビ～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 18歳～64歳の市民 実施回数: 1回 参加者数: 8人	実施日: 10月27日(木) 場所: 西区役所保健センター 内容: 体脂肪・筋肉量測定、ベジチェック、健康ミニ講話、運動実技 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため日程を変更し実施した。	運動実技を行うため、感染拡大防止策を講じて実施。アンケート結果より、教室内容の満足度は100%であった。	令和5年度は糖尿病予防にテーマを絞って実施するため、本事業は令和4年度で終了。	
西区保健センター	ちょっと血糖値が気になる方の健康塾～かしく減らす3つのヒント～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 18歳～74歳の市民 実施回数: 1回 参加者数: 11人	実施日: 11月22日(火) 場所: 西区役所保健センター 内容: 体脂肪・筋肉量測定、ベジチェック 講義「糖尿病ってどんな病気?」、「糖尿病を予防する食事のポイント?」、「糖尿病とお口の健康の関係は?」	アンケート結果より、教室内容の満足度は100%であったことから次年度の企画の参考としたい。また、体脂肪・筋肉量測定とベジチェックを実施したことで自身の生活習慣を振り返るきっかけになったと考えられる。	参加者の教室参加後の行動変容状況について把握する必要がある。	

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do										Check		取組の様子など
		5つの「食べる」										対象ライフステージ										実績（令和4年度）		
		三食 しっかりと	いっしょ に楽しく	食の安全・ 食中毒	食料表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題				
北区役所保健センター	家族ニコリとりわけ離乳食(週病予防教室)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象：区内在住の乳児とその保護者 実施回数：1回 参加者数：17組35名	実施日：令和4年12月1日(木) 場所：北区役所保健センター(Zoomで実施) 内容：歯科医師による口腔ケアについての講義、とりわけ離乳食講義	リモート実施となったため、会場の定員を超えた人数で実施できた。アンケート結果では、内容について理解できたと回答した者が100%であった。(回収率92%)また、申込が多く、保護者世代にとって関心の高い内容であることがわかった。	今後、他事業でも子に関する情報を伝える際には、保護者世代に伝えたい情報を併せて伝える時間を作っていくとよい。	
北区役所保健センター	食育推進を目的とした普及啓発(掲示等)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象：北区役所来庁者	【階段クイズ】 実施日：①7月②9月③12月④3月 場所：北区役所東側階段 内容：①朝食②減塩③野菜摂取④バランスの良い食事の各テーマに関するクイズの問題・解答の掲示、関連するリーフレットの配置 【3階エレベーターホール掲示】 実施日：6月、10月 場所：北区役所3階東側エレベーターホール 内容：食育および朝食についての啓発掲示、リーフレットの配置	利用している市民に対し、食の情報発信することで健康に対する意識を高めるきっかけづくりを行うことが出来た。クイズの③、④については、管理栄養士の実習の学生が作成し、カラフルで目に留まるものとなった。	設置したリーフレットの減りから、ある程度関心をもって見ていることが伺えるが、どのように意識変化をもたらしているか等の効果測定が難しい点が課題として挙げられる。	
北区役所保健センター	けんこうギャラリー	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象：プラザノース来場者 実施回数：1回(3日間開催) 参加者数：1140人	実施日：令和4年9月1日(木)～9月5日(月) 場所：プラザノース1階 アトリウム(1階総合インフォメーション案内付近) 内容：健康に関する展示を通じて、生活習慣病予防の啓発をする(糖尿病予防の食事、朝ごはんの必要性等)	日頃通路として利用者が多く、通りすぎりに気軽に見てもらうことができた。また、感染症の状況も落ち着いてきていたことも来場者数の増加につながったのではないかと推察される。(前年度数437人)	引き続き幅広い世代の区民に対して食育推進を目的とした普及啓発を実施する必要がある。	
北区役所保健センター	糖尿病予防教室 食事のコツを知らう!	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象：区内在住の18～74歳までの方 実施回数：2回 参加者数：22人	実施日：令和4年5月17日(火)、10月7日(金) 場所：北区役所保健センター 内容：管理栄養士、保健師、歯科衛生士による講義、体脂肪・筋肉量測定	昨年度から実施回数増により、希望者に参加してもらうことができた。アンケートより①生活習慣病について②生活習慣改善の必要性について、「理解できた」「ほぼ理解できた」で100%の回答を得ており、病態や予防についての認識が深められたと思われる。	次年度は1回の定員を増やし、糖尿病とともに課題となっている高血圧予防について教育を行う。糖尿病予防については、食事だけでなく運動についても教育を実施していく。	
大宮区保健センター	食育推進を目的とした普及啓発(掲示等)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象：大宮区役所来庁者 3回開催	実施日：6月食育月間(令和4年6月1日～30日)、8月食品衛生月間(令和4年8月1日～31日)、10月朝ごはんを食べよう月間(令和4年10月1日～30日) 場所：保健センター掲示コーナー 内容：ポスターや掲示物での啓発、パンフレットの配布	ポップを作成して掲示したり、啓発品を置いたり等、視界に入りやすい掲示物を作成した。保健センター利用者の他、区役所来庁者も気軽に足を止めて掲示を見ている姿が多数見受けられた。	保健センターの入口外側に設置できるリーフレットや掲示物にも限りがあるため、より区民に関心を持ってもらえるようなテーマの掲示物や配布するリーフレットの選択が必要である。	
大宮区保健センター	ママの元氣アップ講座～ちょっと一息～ここからだのほぐしタイム～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象：区内在住の0歳から3歳未満児とその保護者 1回開催(年間4回開催のうちの1回) 9組18人	日程：令和4年7月15日(金) 場所：子育て支援センターおおみや 内容：保健師、管理栄養士の講義、体組成測定	9組の参加があり、「自分の健康も気を付けたいと思った。」「栄養(カルシウム・鉄)を意識して、食事を摂るようにしたいと思った。」など、育児中の女性が自分自身の健康を見直すきっかけとなったと考えられる。	今年度は、「女性の健康について」をテーマに事業を実施したが、父の参加希望もあったことから、対象に男性も加えて実施していけるとよい。次年度以降は教室名を『V・V・ママの元氣アップ講座』に変更して実施していく。	
大宮区保健センター	大宮区民ふれあいフェア 保健センターブース	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象：保健センターブース来場者 1回開催 定員：未定	日程：令和4年10月29日(土) 場所：鐘塚公園 内容：推定野菜摂取量を見える化できる機器「ベジチェック」の体験、野菜についてのリーフレットと啓発品配布。	保健センターブースの来場者は約300人で、推定野菜摂取量を可視化できる「ベジチェック」の機器は来場者からも非常に好評で、日頃の食習慣を見直すきっかけづくりになったと考えられる。	機器の性質上、特に幼児等で測定できなかったり、測定に時間がかかったりした。一台しか借用できなかったこともあり、待ち時間が伸びてしまった。今後はより幅広い世代にスムーズに啓発できるような実施内容を検討していきたい。	

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do										Check		取組の様子など
		5つの「食べる」										対象ライフステージ										実績（令和4年度）		
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもつて	まごころ に感謝	食文化や 地域の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象、実施回数・参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題				
大宮区 保健センター	オンライン食育講座 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：区内在住の1歳半から2歳児の保護者 2人	実施日：令和4年10月6日(木) 場所：WEB会議システム「Zoom」を使用したオンライン開催 内容：管理栄養士講話、家でできる食育のデモンストレーション	幼児食に悩みを抱えている保護者は多いが、幼児食の情報や幼児食に焦点を当てた教室は少ないため、対象とする層は合っていると感じる。感染状況によって事業の周知が難しくなったり、開催方法のニーズが変わってきたりすることへの対応が、今後は必要となってくると考える。	今後も大宮区として、幼児期の保護者向けの教室を継続していく。早い時期から他事業等に参加する対象者に周知を行っていく必要があると考える。社会情勢を考慮しながら、集会やイベント方式での開催方法の導入や、試食の実施を取り入れることも検討していきたい。	
見沼区 保健センター	きらきら★おやこKitchen (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：区内在住の小学校1年生から6年生の児童と保護者 参加者：6組13名	実施日：2022年10月22日(土) 場所：見沼区役所保健センター 内容：野菜摂取に関する講話、野菜クイズ、地元農家へのインタビュー、地元野菜を使ったレシピのデモンストレーション	参加者の満足度は「満足」が80%と概ね好評であった。農家さんから野菜づくりの大変さや保存方法、珍しい野菜の紹介等をしていただき、直接見たり聞いたりすることができたことから、野菜への興味関心、積極的な摂取への意欲が高まったと推察される。	感染症予防の観点から、試食や調理実習は実施しなかった。感想に「大人向けだった」とあり、感染症予防をしなげら子どもが楽しめる内容を検討していく必要がある。また、参加者が少なく、集客方法が課題である。	
見沼区 保健センター	食べたい人のヘルシーレッスン (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：区内在住の30～74歳以下の方・特定保健指導「積極的支援」の方（医師から運動制限指示がない方） 参加者数：各日11人	実施日：①2023年1月20日(金)・2月3日(金) 場所：見沼区役所保健センター・大会議室 内容：①体組成測定、保健師・管理栄養士・歯科衛生士の講話②運動講話・実技(ウォーキング)	アンケート結果より、「糖尿病予防の必要性が(どちらかと言えば)わかった」と回答した人の割合は100%であったことから、本教室は参加者の意識づけに繋がったと考える。	参加者の6割が65歳以上であり、リピーターとなっている方もいる。幅広い年代の方々に向けて、教室の案内・広報を実施することが課題である。	
見沼区 保健センター	食育推進を目的とした普及啓発(掲示等) (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：見沼区役所来所者	実施日：通年 場所：見沼区役所ロビー・保健センター前 内容：6月の食育月間、10月の朝ごはんを食べよう強化月間を始め、月ごとにテーマを決め、食に関する情報を掲示し、パンフレットを配布。	6月は「和食カレンダー」、10月は「朝ごはんを食べよう」「レシピ」「食育消しゴム」をひとつのパッケージにし配布した。パンフレットのみよりも多くの区民に行き渡らせることができ、広く市民に啓発することができた。	今後も対象者の反応をえらえながら、区民に広く啓発できるよう工夫をしていく。	
中央区 保健センター	健康長寿の心得 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：18～74歳 実施回数：1回 参加者：6人	日程：10月18日(火) 場所：中央区役所保健センター 内容：保健師講話「高血圧の実態、予防について」 管理栄養士講話「高血圧予防の食事」 体トレトレーナー運動実技「家でできる運動&ストレッチ」 体組成測定・血管年齢測定	参加者アンケートより満足度が「満足」「やや満足」合わせて80%を超えた。また、教室の理解度も「理解できた」「やや理解できた」合わせて100%となった。	申込者が定員に達していないため、①広報等の周知方法の検討、②引き続き体組成測定や血管年齢測定など可視化できるツールを用い、参加者が体の状態を把握でき、参加することでメリットを感じられる内容の工夫が必要と考える。	
桜区 保健センター	MIA♪ (みんなであそびながら) (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：さいたま市民(のびのびウォーキングエントリー者) 参加者：3名	日程：11月9日(水) 場所：桜区役所保健センター 内容：栄養(バランスの良い食事)に関するミニ講話とラジオ体操、ウォーキング、座談会を実施。	アンケート結果より、実施内容は好評であった。参加者全員が教室で得た内容を実践したいという回答があり、参加者の健康意識の変容に繋がったと言える。	教室参加者が少ないことが課題。参加者をウォーキング事業登録者に限定していたが、登録のない方も募集するかについて検討する。	
桜区 保健センター	さくらカレッジ～歯買異常症予防教室～ (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：区内在住の40～74歳の方 参加者：9人	2日間1コース 日程：①12月2日(金) ②12月8日(木) 場所：桜区役所保健センター 内容：①糖尿病の基礎知識、糖尿病と歯周病の関係、血糖値をあげない食事(講話) ②糖尿病予防のための食生活、糖尿病、腎臓病について(講話)、血管年齢測定	アンケート結果より、実施内容は好評であった。食事の選び方が勉強になった、という自由記載が多くあった。今後の生活に取り入れたいという回答が多かった。	1日目が座学の講話中心であるため、今後は測定等を盛り込み、参加者の意欲向上につなげる。教室のテーマを区の健康課題でもある糖尿病予防に変更する。	

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do										Check		取組の様子など	
		5つの「食べる」										対象ライフステージ										実績(令和4年度)	成果		課題
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもつて	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象、実施回数・参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題					
浦和区保健センター	浦和区健康まつり保健センターブース	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:健康まつり来場者	日程:令和4年11月6日(日) 場所:浦和コミュニティセンター 内容:各種測定、体験、講座、相談等	来場者アンケート結果より、9割の人から「(やや)満足した」との回答が得られた。 また、「楽しいイベントが沢山あった」「色々知れて良かった」などの声が聞かれた。	今年度で終了		
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
浦和区保健センター	親子食育教室～キラキラ☆野菜石けんを作ろう～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:区内在住の小中学生とその保護者1人 実施回数:1回 参加者数:8組17人	実施日:令和4年12月11日(日) 場所:浦和区役所保健センター 内容:野菜石けん作り、野菜のお話	アンケート結果より、全員から「野菜や食べることに興味を持つきっかけになったと(やや)思う」「バランスよく食べることについて(やや)理解できた」との回答が得られた。	今年度で終了 (令和5年度は、事業名称や内容を変更し、親子で参加できる教室を開催予定のため)		
協働 ○	(新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
浦和区保健センター	健康スポットでの普及啓発	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:浦和区役所及び保健センター来庁者	実施日:令和4年6月、10月 場所:浦和区役所健康スポット、保健センター健康スポット 内容:6月「食育月間」に関する掲示とリーフレットの配布 10月「朝ごはんを食べよう強化月間」に関する掲示とリーフレットの配布	毎月テーマに沿った啓発セットを作成し、ひと月あたり300～400セット程度を配布することができた。 区役所と保健センターの2か所へ健康スポットを設置していることで、より幅広い対象者への啓発を行うことができたと考えられる。	引き続き、来場者の目を引く展示内容や啓発セットを検討・作成していく。		
協働 ○	(新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
浦和区保健センター	生活習慣改善ポイントセミナー～糖尿病編～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:区内在住の18歳以上の方 実施回数:2日(①のみ2部制) 参加者数:①12人、②10人	実施日:①令和4年6月24日(金)②令和4年11月8日(火) 場所:浦和区役所保健センター 内容:体組成測定、体組成測定結果について保健師による簡易説明、糖尿病予防について管理栄養士によるミニ講義、歯周病予防について歯科衛生士によるミニ講義	アンケート結果より、全員から「生活改善の必要性を(やや)理解できた」との回答が得られた。	今年度で終了 (令和4年度以降は、事業名称や内容を変更し、新たな生活習慣病予防教室を開催予定のため)		
協働 ○	(新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
浦和区保健センター	生活習慣改善ポイントセミナー～高血圧編～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市内在住の18歳以上の方 実施回数:1回 参加者数:16人	実施日:令和5年2月22日(水) 場所:浦和区役所保健センター 内容:体組成測定、体組成測定結果について保健師による簡易説明、糖尿病予防について管理栄養士によるミニ講義	アンケート結果より、全員から「生活改善の必要性を(やや)理解できた」との回答が得られた。	今年度で終了 (令和4年度以降は、事業名称や内容を変更し、新たな生活習慣病予防教室を開催予定のため)		
協働 ○	(新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
緑区保健センター	シン・サバイバルクッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市内在住の18歳以上の方 実施回数:1回 参加者数:16人	実施日:令和5年2月22日(水) 場所:浦和区役所保健センター 内容:体組成測定、体組成測定結果について保健師による簡易説明、糖尿病予防について管理栄養士によるミニ講義	アンケート結果より、全員から「生活改善の必要性を(やや)理解できた」との回答が得られた。	今年度で終了 (令和4年度以降は、事業名称や内容を変更し、新たな生活習慣病予防教室を開催予定のため)		
協働 ○	(新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
緑区保健センター	ぶよっとお腹を引き締める！食事と運動教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:緑区在住の18～64歳 2回 ①5人②12人	実施日:①令和4年6月13日(月)対面、②18日(土)ZOOM 場所:緑区保健センター 内容:保健師講義「身を引き締める運動習慣」 運動講義・実技「お腹周りの筋肉を使うエクササイズ」 栄養士講義「バランスの良い食事」 体組成測定(対面のみ)	新型コロナウイルス感染防止対策を講じた対面教室のほか、ZOOMを使用した教室を行った。 アンケート結果より、教室の満足度・理解度が高く、ZOOM参加者は手軽に参加できるZOOM希望との意見が上がっていた。	・感染予防対策の為、ZOOMを使用した教室、アーカイブ使用を検討する。 ・新型コロナウイルス感染予防を行い教室を実施、名称を「はじめの一步！引き締めBODYプログラム」に変更していく。		
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など					
		5つの「食べる」										対象ライフステージ					対象、実施回数・参加者数等	実施日、場所、内容		成果	課題			
		三食 しっかりと	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あ いさつ	資源・環 境	農林漁業	行事食・郷 土料理	乳幼児期 0～5歳	学 齢期 6～15歳	青 年期 16～24歳	成 人期 25～39歳	壮 年期 40～64歳	高 齢期 65歳								
岩槻区保健センター	親子運動教室・親子栄養教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象：区内在住の小中学生とその保護者 ①7組18人 ②中止(申込2組)	日程：①6月26日(日) ②9月3日(土)中止 場所：①岩槻駅東口コミュニティセンター、②岩槻区役所保健センター 内容：①ダンス実技・健康についての講話(栄養・歯科・がん予防)、体組成測定 ②レンジで作るかんたん和食(中止のため申込者へ資料送付)	①参加者は30代～50代の女性であった。アンケートの自由記述では、保護者への健康の話について人が挙げており、運動だけでなく健康を見直す機会となった。	①日曜日開催であったが、参加者に父親はいなかった。次年度は実技をダンスからかけこに変更して実施する。 ②申込者が少なく、集客方法が課題である。	
岩槻区保健センター	やまぶきまつり	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象：保健センターブース来場者 228人	日程：10月16日(日) 場所：岩槻文化公園 多目的室 内容：区民まつり内での、ベジチェックによる野菜摂取量測定・啓発および食塩摂取量やレジビについてのパンフレット配布、子対象の健康まわしがいさしがし	ベジチェックによる野菜摂取量測定やパネル等の展示を通じて、多くの来場者にとって食生活を振り返る機会となったと考えられる。また、普段保健センターへの事業への参加の少ない層へも啓発することができた。	引き続き、来場者の興味を引く内容を検討し、啓発を行っていく。	
岩槻区保健センター	健康月間における普及啓発掲示	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象：岩槻区役所来庁者	実施日：①6月 ②9月 ③10月 場所：岩槻区役所3階保健センター掲示ブース 内容：①第3次食育推進計画について(食文化や地の物を伝え合いたべ) ②栄養/バランス、野菜摂取、減塩、牛乳・乳製品の摂取について ③朝食摂取について 各内容について、来庁者向けにポスターを掲示、リーフレットの配布を実施	利用する区民の多い3階に情報を掲示することで、保健センター来庁者以外へも食育や健康づくりへの知識の普及啓発ができた。	引き続きテーマや内容を変えながら、来場者の目を引く展示内容を検討し、啓発を行っていく。	
岩槻区保健センター	おなかスッキリ☆ひきしめエクササイズ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象：区内在住の20～64歳の方 7人	実施日：11月8日(火) 場所：岩槻区役所保健センター 内容：運動実技、体組成測定、健康についての講話(栄養・歯科・がん予防)	託児もあつたため、参加者の年代は20代～50代と若い世代であった。健康についての講話は5分間ずつ実施したが、アンケートの自由記述の中に「あきず」に全て集中して聞くことができた。」とあつた。	引き続き若い世代からの生活習慣病予防につながる事業、生活習慣改善のきっかけとなる事業を実施する。	
岩槻区保健センター	今日からできる！高血圧予防レッスン	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象：市内在住の20～74歳の方 15人	日程：2月3日(金) 場所：岩槻駅東口コミュニティセンター 内容：保健師・管理栄養士講話(高血圧と食事について)、運動実技、体組成測定、歯科衛生士・保健師ミニ講話(がん予防)	参加者のうち6人は高血圧治療中(運動問診票より)、9人は65歳以上であった。アンケート結果より理解度は高く、全参加者に生活習慣改善の意向があり、生活習慣を見直すきっかけとなった。	アンケート結果に「定期的に開催があれば知人に教えたい」、「また参加したい」という意見があり、継続に向けた支援(地域の運動、食改善等の取り組みの紹介)にも力を入れられるとよい。	
健康教育課	地元シェフによる学校給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	対象：児童生徒、教職員 30校	実施日：給食実施日 場所：市立小・中・特別支援学校 内容：地元のシェフと連携を図り、学校給食を実施	他の国の料理や地場産物の理解が深まり、児童生徒の食への関心が高まった。	実施校は希望によるものなので、より多くの児童生徒が触れる機会が設けられるように検討していく。	
健康教育課	地場産物の活用推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳	①影の国ふるさと学校給食月間の実施 実施日：11月 場所：市立小・中・中等・特別支援学校 内容：埼玉県産、さいたま市産の食材の使用 ②地元生産者との情報交換会 対象：大宮区・見沼区・中央区・南区の栄養教諭・学校栄養職員 実施日：7月～8月(各区ごとに実施) 場所：大宮区役所・さいたま市役所 内容：地元生産者と栄養教諭・学校栄養職員との情報交換	①令和4年度の地場産物活用率は、28.5%であった。 ②地元生産者との情報交換を行うことで、さらなる地場産物の活用に繋がった。	本取組が、地場産物活用につながっているが、さらなる活用拡大のためには、今後も取組を継続していく必要がある。		



さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など						
		5つの「食べる」										実績 (令和4年度)					成果	課題							
		三食 しつかり	いっしょ に楽しく	確かな 目をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象:実施回数・参加 者数等	実施日、場所、内容																
健康教育課	学校教育 ファーム	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高齢期65歳以上	対象:児童生徒、教職員 小104校 中58校 中等1校 特支2校	場所:市立小・中・中等教育・特別支援学校 内容:農業体験活動	農業体験活動を通して、食物や生産者の方への感謝の気持ちを育むことができた。	授業時間の確保、学校への周知方法が課題である。		
協働	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
健康教育課	さいたま市学校給食衛生管理講習会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高齢期65歳以上	対象:市立小・中・中等教育・特別支援学校 教職員、調理業務委託業者職員	実施日:令和4年8月22日から9月2日まで 内容:学校給食における衛生管理について、資料による研修を実施	学校給食の実態に合わせた内容なので、日々の調理業務における衛生管理について、それぞれ見直すことができた。	紙面では伝わりにくい内容もあるので、次年度は集合型研修を実施予定である。		
協働	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
健康教育課	さいたま市学校給食週間記念行事	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高齢期65歳以上	対象:市立小・中・中等教育・特別支援学校 教職員	実施日:令和5年1月17日(火) 場所:埼玉会館 内容:講演会	環境を配慮した取り組みや、学校における食育の大切さや学校給食の担う役割などについて理解を深められた。	対象者が、教職員、保護者、市民と幅広いため、感染症防止対策が課題であり、展示等が出ないことが課題である。		
協働	(継続)	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
健康教育課	研究委嘱事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高齢期65歳以上	対象:市立小・中・中等教育・特別支援学校 教職員	場所:南区 大谷場東小学校(R2,R3,R4年度) 内容:市立小・中学校の研究指定校が食育の推進に取り組み、研究発表会を実施	市立学校における食育について理解を深め、学校における食育の推進を図ることができた。	より多くの教職員が研究発表会に参加できるよう周知を図る。		
協働	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
健康教育課	生活習慣病予防学校検診	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高齢期65歳以上	【校内継続指導】 肥満度20%以上の小1～小4・中1 【基本検査対象者】肥満度35%以上の小4・中1 【個別指導対象者】腹囲身長比0.5以上かつ肥満度35%以上の小1～小3 【個別指導】 実施日:10～11月(各地区ごとに実施) 内容:医師、栄養士による個別指導、集団指導	【校内継続指導】 実施日:4月～3月 内容:健康サポートクラブの実施 【基本検査】 実施日:7～11月(指定医療機関で実施) 内容:血圧測定、腹囲測定、血液検査、その他、診療情報作成 【個別指導】 実施日:10～11月(各地区ごとに実施) 内容:医師、栄養士による個別指導、集団指導	さいたま市は全国や埼玉県の肥満傾向より低く、参加者からも生活習慣を見直す前向きな感想をいただいた。	受診率が年々減少傾向のため、参加希望者を増やす必要がある。		
協働	(継続)	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
健康教育課	さいたま市民の日給食 (学校給食統一献立)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高齢期65歳以上	対象:市立小・中・中等教育・特別支援学校 児童生徒、教職員	実施日:令和4年4月25日(月)～4月28日(木)の 統一期間 場所:市立各小・中・中等教育・特別支援学校 内容:全校統一で市内産農産物を活用した料理を給食の献立に取り入れる。 (令和4年度より「さいたま市民の日給食」として推進)	児童生徒に、郷土であるさいたま市の産物や食文化、食に関わる歴史等に関心を持たせるとともに、食を支える方々への感謝の気持ちをはぐむことができた。	実施時期に給食で取り入れることができる農産物に限りがある。		
協働	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
健康教育課	8020歯の健康教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0・5歳	学齢期6・15歳	青年期16・24歳	成人期25・39歳	壮年期40・64歳	高齢期65歳以上	対象:市立小学校(36校)の1年生～3年生と保護者	実施日:6月～12月 場所:各小学校 内容:歯科医師による講話、歯科衛生士による歯みがき指導(実習なし)	直接歯ブラシを口の中に入れる歯みがき実習は引き続き中止をしているが、それ以外は例年どおしの実施となった。給食後の歯みがきを中止している学校の中には、この事業を機に、再開したところもあった。	暑い時期に実施する学校の中には、熱中症の観点からオンラインでの実施を望む声があったことから、実施時期や形態を見直す必要があると考える。		
協働	(継続)	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do										Check		取組の様子など
		5つの「食べる」										対象ライフステージ										実績 (令和4年度)		
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0～5歳	学 年齢 6～15歳	青 年期 16～24歳	成 年期 25～39歳	壮 年期 40～64歳	高 年齢 65歳+	対象、実施回数・参加 者数等	実施日、場所、内容		成果	課題							
生涯学習振 興課	「すくすくのび のび 子どもの 生活習慣向上」 キャンペーン	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 年齢 6～15歳	青 年期 16～24歳	成 年期 25～39歳	壮 年期 40～64歳	高 年齢 65歳+	対象:市立小・中・中 等教育・特別支援学 校全児童生徒	・「すくすくのびのび 子どもの生活習慣向上」キャンペーンの実施 ・啓発ポスター、リーフレットを作成・配布 ・市報さいたま(8月号)で生活習慣向上の呼びかけ ・生活習慣向上に関連する講座等の講師リストの更新 ・優れた「早寝早起朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰 をさいたま市立新和小学校が受賞 ・子どもの生活習慣に係る出前講座を市内の学校で実施	様々な手段を用い、児童生徒の生 活習慣向上を保護者や学校、一般 市民に広く周知・啓発することが できた。	新型コロナウイルス感染症の影響 により、自粛生活を余儀なくされた 子どもたちの生活リズムの乱れな どが懸念されているため、引き続 きキャンペーンを実施し、学校・家 庭・地域へ啓発していく。		
生涯学習総 合センター	各公民館事業	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 年齢 6～15歳	青 年期 16～24歳	成 年期 25～39歳	壮 年期 40～64歳	高 年齢 65歳+	PO～O 「令和4年度 公民館事業報告書」とおり					
防災課	さいたま市防災 ガイドブックの 配布	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 年齢 6～15歳	青 年期 16～24歳	成 年期 25～39歳	壮 年期 40～64歳	高 年齢 65歳+	対象:市内転入者	実施日:2022年4月～2023年3月 場所:各市区民課、支所窓口 内容:市内転入者に対し、『さいたま市防災ガイドブック』のチラシを配 布。冊子を希望される方には、各区情報公開コーナーでの配布を実施。	家庭での食料や飲料水の備蓄につ いて、市民への周知を行うことが出 来た。	必要に応じ、防災ガイドブックの内 容の見直しを行う。		
高齢福祉課	在宅高齢者等 宅配食事サー ビス事業 集計中	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 年齢 6～15歳	青 年期 16～24歳	成 年期 25～39歳	壮 年期 40～64歳	高 年齢 65歳+	対象:食事の用意が困 難な単身高齢者及び 高齢者のみ世帯等 延べ71,576食 延べ4,962人	実施日:週5日(祝日及び12月29日～1月3日を除く) 場所:利用者の各家庭 内容:単身高齢者及び高齢者のみ世帯等を対象に、ボランティア等 地域資源を活用して、夕食を宅配する。	令和2年9月～11月に実施した利用者アン ケートでは、食事を届けるボランティアの 声掛けについて複数回答で尋ねたところ、回答 者の約55%が「安心感がある」、約48%が 「楽しみにしている」と回答しており、「もう少し 食話があるといい」は約10%にとどまっ ている。食事の配達をきっかけとして、日々の 生活の中での楽しみや、地域でのつながりを 感じていただいているものと考えている。	左記のアンケートでは、食事に「満足」 の方が約42%であり、「満足」の割合 が高いとは言えない。 民間事業者による配達サービスが充 実してきている中で、事業の位置づけ を検討する必要がある。 食事を届けるボランティアについて、 65歳以上の方が中心となっており、高 齢化が進んでいる。		
高齢福祉課	ふれあい会食 サービス 集計中	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 年齢 6～15歳	青 年期 16～24歳	成 年期 25～39歳	壮 年期 40～64歳	高 年齢 65歳+	対象:70歳以上のひと り暮らしの市民 実施回数:21回 参加者数等:延574人	実施日:実施団体により異なる。 場所:公民館等 内容:70歳以上のひとり暮らしの方との交流を深めるため、ボランティア の協力により公民館等で会食会を行う。	実施できた場合には、高齢者の孤 独感の解消と健康維持に資するこ とができた。	新型コロナウイルスの影響でほと んど実施できなかった。実施の場 合も、会食ではなく食事の持ち帰 り対応などとなった。	【補足】 市は、市社会福祉協議会に補助を行い、地区社会 福祉協議会が各地区の特色を活かして事業を実 施している。	

# 令和4年度公民館事業報告書

										食育の目標					食育の各年齢期									
										さ…「三食しっかり」 い…「いっしょに楽しく」 た…「確かな目をもって」 ま…「まごころに感謝して」 し…「食文化や地の物を伝え合い」 協働…地域で活動する人や団体と連携	「乳幼児期」… 0～5歳 「学齢期」… 6～15歳 「青年期」… 16～24歳 「成人期」… 25～39歳 「壮年期」… 40～64歳 「高齢期」… 65歳～													
件数total						総回数		参加延人数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)												
167						313		6081		180		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続		
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期	
-	生涯学習総合センター	5001	さいたま市民大学さいたまの食コース	ヨーロッパ野菜をはじめとした、さいたま市で生産される代表的な野菜について学びました。	さいたまヨーロッパ野菜研究会	5月～1月	5	どなたでも	147	5					○						○	○	○	○
西	指扇	2500	親子でクッキング	未就学児を対象に親子で調理を学び、食の大切さ楽しさを改めて考える事業	さいたま市食生活改善推進員指扇支部	12月	1	幼児～低学年とその保護者	22	1		○		○		○	○				○			○
西	指扇	1300	楽しい味噌づくり	年に1度我が家の味の味噌作りに挑戦する。	管理栄養士	2月	1	どなたでも	17	1				○	○	○							○	○
西	指扇	2500	デコ巻きに挑戦!	春に向けてお祝いなどの祭り寿司に挑戦する。	管理栄養士	2月	1	親子	13	1		○		○			○	○			○	○		
西	指扇	2500	簡単行事食(ひな祭り)	行事食(ひな祭り)を身近なものを使って簡単に作り、祝い食とします。	料理研究家	2月	1	親子	8	1					○		○						○	
西	馬宮	1000	親子で和ケーキ講座	食の楽しさを学び、親子のコミュニケーションを深めました。	お菓子作り指導者	2月	1	小学生とその保護者	20	1		○									○			
西	馬宮	1300	日本文化体験4 /若者向け事業 春の和菓子作り	和菓子作りを通して食の大切さや、伝統技術を学びました。	和菓子製作講師	2月	1	中学生か～39歳まで	8	1		○		○							○	○	○	
西	馬宮	1300	日本文化体験5 味噌作り講座	日本伝統食品である味噌作りを通して発酵食品の大切さや食の重要性を学びました。	(株)伊勢惣	2月	1	どなたでも	10	1				○	○								○	○
西	植水	1900	おうちで楽しむクリスマス	フランスのクリスマス料理とフラワーアレンジメントを学びました。	フランス料理ディプロメフラワーデザイナー	12月	2	成人	15	1		○		○								○	○	○
西	植水	1100	味噌づくり講座	日本伝統食品味噌について学び、味噌作りを体験しました。	味噌製造会社	1月	1	成人	16	1		○		○								○	○	○
西	内野	2520	夏休み子ども公民館「お菓子づくり教室」	アイシングクッキー作りを親子で楽しみました。	製菓講師	8月	1	小学生とその保護者	16	1		○	○	○	○						○			
西	内野	2520	夏休み子ども公民館「パンづくり教室」	フライパンを使って家庭で手軽にできるパン作りを親子で実習しました。	療育療法指導者	8月	1	小学生とその保護者	16	1	○	○	○	○	○							○		

# 令和4年度公民館事業報告書

		件数total				総回数		参加延人数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)					食育の各年齢期							
		167				313		6081		180		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続		
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期	
西	内野	2520	夏休み子ども公民館「地元農園のブルーベリー摘みとパティシエ体験」	地元農園の協力により、親子で摘み取りとタルト作りを体験しました。	農園オーナー・パティシエ	8月	1	小学生とその保護者	12	1		○	○	○	○			○						○
西	内野	1100	野菜ソムリエに学ぶ夏野菜の魅力(学びのネットワーク事業)	夏野菜のおいしい食べ方をSDGsへの取り組みを通して学びました。(学びのネットワーク事業)	野菜ソムリエ・料理研究家	8月	1	成人	18	1	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
西	内野	1210	親子でDOKI DOKIバレンタインクッキング	バレンタイン向けにアレンジしたアイシングクッキーづくりを親子で楽しみました。	製菓講師	2月	1	小・中学生とその保護者	12	1		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
西	内野	1100	野菜ソムリエに学ぶ春野菜の魅力	春野菜のおいしい食べ方をSDGsへの取り組みを通して学びました。	野菜ソムリエ・料理研究家	2月	1	成人	19	1	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
西	内野	1210	春の和菓子づくり教室	練り切り作りの体験を通して、日本の食文化である和菓子の魅力を堪能しました。	製菓講師	3月	1	成人	7	1		○	○	○	○				○	○	○	○	○	
北	大砂土	1100	食育講座(冬の薬膳)	冬の薬膳の基本を学びました。	国際中医薬剤師 野口 佳織	12月	1	成人	20	1	○		○		○							○	○	○
北	日進	1100	Zoom講座 野菜ソムリエの「彩りたっぷり簡単ホームパーティー料理」	旬野菜を用いたお手軽料理と見栄え抜群の盛り付けを学びました。	野菜ソムリエ	4月	1	どなたでも	9	1		○	○	○	○					○	○	○	○	
北	日進	2520	子ども公民館「クイズで野菜博士に」～夏野菜とSDGs～	クイズ形式で、夏野菜とSDGsについて学びました。	野菜ソムリエ	8月	1	小学生	14	1			○		○			○						
北	宮原	1010	いきいき楽習2(生きがい健康づくり教室) 夏野菜(トマト)	介護予防普及啓発事業で、トマトの産地や特徴、調理の仕方について学びました。	野菜ソムリエ	6月	1	65歳以上	21	1				○		○								○
北	宮原	1100	野菜ソムリエから学ぶ「秋野菜」	野菜ソムリエから、秋野菜の栄養価や調理の仕方などを学びました。	野菜ソムリエ	9月	1	どなたでも	22	1				○		○							○	○
北	植竹	1010	介護予防普及啓発事業健康教室	介護予防普及啓発事業で、食育(食事改善)やお風呂の入り方等から、健康な毎日を送る秘訣について学びました。	日本成人病予防協会 健康管理士 上級指導員	6月	2	65歳以上	37	1	○		○											○

# 令和4年度公民館事業報告書

		件数total				総回数		参加延人数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)					食育の各年齢期						
		167				313		6081		180		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→						
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	継続
大宮	桜木	2520	親の学習事業／夏休み子ども公民館／わくわくお弁当作りとおしゃべりタイム	親同士の学び合いと、心豊かな青少年育成を目的とし、小学生とその保護者を対象とした料理を実施しました。	料理研究家 親の学習ファシリテーター	8月	1	小学生とその保護者	15	1		○		○				○	○	○	○	○	
大宮	桜木	1100	冬の薬膳料理講座	市民の健康増進と食への意識を高めることを目的とし、冬の食材の効能を学びました。	国際中医薬膳師	11月	1	成人	12	1		○	○		○					○	○	○	○
大宮	桜木	1100	春の薬膳料理講座	市民の健康増進と食への意識を高めることを目的とし、春の食材の効能を学びました。	国際中医薬膳師	2月	1	成人	12	1		○	○		○					○	○	○	○
大宮	大宮南	1000	親の学習事業／家族DEクリスマススイーツ	親同士の交流・学び合いを目的にクリスマス料理教室と親の学習プログラムを行いました。	料理講師、助手 親の学習ファシリテーター	12月	1	小学生とその保護者	20	1		○			○	○		○	○	○	○	○	○
大宮	大宮南	1100	味噌作り体験教室(午前の部)	手話通訳者の配置可能な聴覚障害者に配慮した味噌作りの体験教室を開催しました。	料理教室講師 助手	2月	1	成人	10	1		○			○	○				○	○	○	○
大宮	大宮南	1100	味噌作り体験教室(午後の部)	手話通訳者の配置可能な聴覚障害者に配慮した味噌作りの体験教室を開催しました。	料理教室講師 助手	2月	1	成人	10	1		○			○	○				○	○	○	○
大宮	大宮中部	1100	季節の料理教室	食品や調理方法についての知識向上を目的とした、季節の料理を作る講座	料理研究家 助手	7月	1	18歳以上	8	1		○			○					○	○	○	○
大宮	大宮北	1000	親の学習事業/子育てハッピータイム「親子パンづくり教室」	親子でパンをつくります。	料理研究家、助手 親の学習ファシリテーター	10月	1	小学生とその保護者	8	1		○							○	○	○	○	
大宮	大宮北	2520	夏休み子ども公民館／パンづくり教室①	小学生を対象に、体を作る食材を意識した料理を学びます。	料理研究家 助手	7月	1	小学生	15	1		○								○			○
大宮	大宮北	2520	夏休み子ども公民館／パンづくり教室②	小学生を対象に、体を作る食材を意識した料理を学びます。	料理研究家 助手	8月	1	小学生	15	1		○								○			○
大宮	大宮北	2000	料理教室 SDGs関連事業	肉を使わないハンバーグ料理をつくります。	料理研究家 ボランティア	8月	1	20歳以上	9	1	○				○					○	○	○	○

# 令和4年度公民館事業報告書

		件数total				総回数		参加延人数		食育総回数		食育の目標		食育の各年齢期									
		167				313		6081		180		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)											
												←1つ以上に「○」→		←1つ以上に「○」→									
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	継続
大宮	三橋	2510	若者向け事業／クッキーチョコパン作り教室	若者を対象にケーキづくりを学ぶ教室。(中学校にチラシ配布)	ケーキづくり指導者、助手	8月	1	中学生以上39歳未満	8	1			○	○	○			○	○				
大宮	三橋	2500	親子公民館「親子茶道教室」	小学生を対象に茶道について学ぶ教室。【連携】三橋小、上小小	茶道指導者、助手	4月	1	小学生とその保護者	8	1			○		○			○		○			○
大宮	三橋	2520	夏休み子ども公民館「親学&親子料理」	親の学習プログラムと親子料理。	管理栄養士、親の学習ファシリテーター	7月	1	小学生とその保護者	17	1			○	○	○			○		○			
大宮	三橋	1300	こだわりの材料でつくるおいしい味噌づくり教室	国産大豆から作る昔ながらの味噌づくりを体験する教室	味噌づくり指導者	2月	1	成人	8	1			○	○	○					○	○	○	○
大宮	三橋	1300	親子そば打ち教室	伝統的なそばづくりを親子で体験する教室。	蕎麦打ち指導者	12月	1	小学生とその保護者	16	1			○	○	○					○	○	○	○
大宮	三橋	1300	バックトゥ昭和「ぬか床づくりに挑戦！」	ぬか漬けづくりを学ぶ教室。	ぬか漬け指導者	6月	1	成人	8	1			○	○	○					○	○	○	
大宮	大成	2520	SDGs／夏休み子ども公民館／子ども食堂	子ども食堂の活動の理解を深めると共に、実際に子ども食堂のメニューを親子で作った講座	管理栄養士・料理助手	8月	1	小学生とその保護者	20	1			○					○		○			
大宮	大成	1100	野菜ソムリエから学ぶ「冬野菜」の魅力	旬の野菜について栄養や料理方法など、その魅力について多面的に学んだ講座	野菜ソムリエ	1月	1	成人	14	1	○	○	○		○				○	○	○	○	
大宮	大宮東	1000	親の学習事業／親子お菓子づくり教室	子育て支援を目的とした、親子と一緒にお菓子づくりを学び、親の学習プログラムを実施します。	講師 親の学習ファシリテーター	11月	1	小学生とその保護者	8	1			○					○					
大宮	大宮東	1100	男の料理教室	【共催】大宮東地区社会福祉協議会 料理の楽しさや食育を学ぶ教室です。	講師 助手ボランティア(社教)	12月	1	大宮東地区 在住の成人 男性	9	1			○			○				○	○	○	○
大宮	大宮東	1100	そば打ち教室	そば打ちを通じて、料理の楽しさや食育を学びます。	さいたま蕎麦打ち倶楽部	1月	1	成人	11	1					○					○	○	○	○
大宮	大宮東	2521	親子和ケーキづくり教室	みんなで協力して料理を作ります。	料理研究家 助手	5月	1	小学生	25	1			○					○					



# 令和4年度公民館事業報告書

		件数total				総回数		参加延人数		食育総回数		食育の目標		食育の各年齢期									
		167				313		6081		180		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)											
												←1つ以上に「○」→		←1つ以上に「○」→									
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	継続
見沼	大砂土東	2520	夏休み子ども公民館「キッズクッキング」	粉からこねてパンを作りました。	料理研究家	7月	1	小学生	12	1		○						○					○
見沼	大砂土東	2520	夏休み子ども公民館「親子で和菓子作り～親の学習事業～」	親子で和菓子を作り、参加者同士で交流しました。	料理研究家	7月	1	小学生とその保護者	17	1		○						○		○			
見沼	大砂土東	4000	お花見弁当作り	会食サービスボランティアと一緒に会食と同じように料理を作りました。	会食サービスボランティア	3月	1	市内在住・在勤の方	12	1		○			○				○	○	○	○	
見沼	大砂土東	1100	みそづくり教室	日本の伝統発酵食品「味噌」について学び、豆から味噌を作りました。	株式会社 伊勢惣	2月	1	市内在住・在勤の方	23	1		○			○				○	○	○	○	○
見沼	片柳	1000	片柳子ども公民館「パパとクッキング&おしゃべり教室～親の学習事業～」	パパと子で料理を学びながら家族同士でおしゃべりし交流を図りました。	料理研究家・管理栄養士 親の学習ファシリテーター	7月	1	小学生とその保護者	13	1		○			○	○		○	○	○	○	○	○
見沼	片柳	2520	片柳子ども公民館「パンづくり教室」	オリジナルのパンづくりを体験しました。	パン作り講師	8月	1	小学生	11	1		○				○		○					○
見沼	片柳	1100	太巻き祭り寿司づくり教室	季節にちなんだ祭り等を太巻きの芯に見立て、本格的な太巻きを作りました。	料理研究家・管理栄養士	12月	1	どなたでも	10	1		○			○	○			○	○	○	○	○
見沼	七里	1100	和菓子教室	和菓子の作り方の基本を学びました。	料理研究家	6月	1	成人	12	1					○				○	○	○	○	○
見沼	七里	2520	夏休み子ども公民館「環境教室～木について学び、マイ箸を作ってみよう～」	木について学び、マイ箸づくりに挑戦しました。	ポラス株式会社	8月	1	小学生	18	1					○				○				○
見沼	七里	2520	夏休み子ども公民館「環境教室～牛乳パックでリサイクルはがき作り～」	リサイクルはがき作りを通じて、牛乳パックのリサイクルについて学びました。	生活協同組合コープみらい活動サポーター	8月	1	小学生	19	1					○				○				○
見沼	春岡	1100	まめ物語	おいしい味噌を手作りを行いました。	料理研究家	2月	1	成人	8	1					○			○	○	○	○	○	
見沼	春岡	1210	手打ち蕎麦教室	蕎麦打ちを学びました。	そば倶楽部	12月	1	成人	10	1	○	○	○	○				○	○	○	○	○	

# 令和4年度公民館事業報告書

		件数total				総回数		参加延人数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)											
		167				313		6081		180		←1つ以上に「○」→											
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	継続
見沼	春岡	1300	郷土料理 太巻き祭りすし「ひな人形」	郷土に伝わる太巻き祭り寿司の作り方を学びました。	料理研究家管理栄養士	10月	1	成人	9	1			○				○	○	○	○	○		
見沼	春岡	2520	夏休み子ども公民館 「料理教室」	子どもにもできる料理を学びました。	料理研究家	8月	1	小学生	8	1			○			○		○					
中央	鈴谷	2520	夏休み子ども公民館 「そば打ちにチャレンジ! ①」9時開催	そばの打ち方の体験を通して、手作りのよさを実感し、食の大切さを学びました。	そば打ち指導者	8月	1	小学生	5	1		○			○			○					○
中央	鈴谷	2520	夏休み子ども公民館 「そば打ちにチャレンジ! ②」11時開催	そばの打ち方の体験を通して、手作りのよさを実感し、食の大切さを学びました。	そば打ち指導者	8月	1	小学生	5	1		○			○			○					○
中央	鈴谷	1100	育少年・若者事業 ～持って帰っておうちde楽しもう～ 「植きたて手作りパン教室」	簡単に作れてお家で楽しめるパンの作り方を学びました。	(株)ニッポン クッキングパートナー 助手(1名)	9月	1	中学生～39歳まで	8	1		○	○					○	○	○			
中央	鈴谷	1100	～持って帰っておうちde楽しもう～ 「クリスマスフルーツケーキ作り」	簡単に作れてお家で楽しめる持ち帰り用のクリスマスケーキを作りました。	(株)ニッポン クッキングパートナー 助手(1名)	12月	1	18歳以上	8	1		○	○							○	○	○	
中央	鈴谷	1800	障害者のための社会参加支援講座「料理教室」	障害者が料理を楽しみ交流を深めました。【共催】障害者総合支援センター	料理教室講師	10月	1	障害のある方 18歳以上	3	1		○							○	○	○	○	○
中央	与野本町	2000	免疫は発酵食品でぐんぐんあがる	発酵食品の基本を学び、塩麴作り体験等を行いました。	発酵プロフェッショナル 発酵マイスター上級認定講師(助手2名)	5月～6月	2	どなたでも	52	2					○	○		○	○	○	○	○	
中央	与野本町	2520	夏休み子どもレッズ② 出張工場見学～冷凍食品のできるまで～	ビデオ鑑賞とクイズを通して冷凍食品がどのようにできるか学びました。	ニチレイフーズ	7月	1	小学生	24	1			○					○					
中央	与野本町	1000	親の学習事業② 「親子でデコるハロウィンケーキ」	親子でお菓子作りを楽しみながらコミュニケーションを深めました。	和菓子づくり指導者 助手(2名)、ファシリテーター	10月	1	小学生とその保護者	28	1		○						○	○	○	○		
中央	与野本町	1000	スマイルママPart2	離乳食の基礎と作り方を学びました。【共催】ひなどり保育園	ひなどり保育園栄養士	11月	1	首かすわつた～11ヶ月の乳児とその保護者	8	1			○				○						
中央	上落合	1010	介護予防事業 コーヒー教室～美味しいコーヒーの淹れ方～	コーヒー豆から学び、プロから美味しい淹れ方について教わることで、日常生活を豊かで健康的に過ごすきっかけとなった。	焙煎珈琲店店長	12月	1	65歳以上	8	1		○	○										○

# 令和4年度公民館事業報告書

		件数total				総回数		参加延人数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)											
		167				313		6081		180		←1つ以上に「○」→											
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	食育	←1つ以上に「○」→						継続						
											さい	いた	たま	し	協働	乳幼児期		学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	
中央	上落合	1000	親の学習事業／親子でパレンタインスイーツ作り&おしゃべりタイム	親子でパレンタインケーキ作りを楽しみながら、保護者同士の交流を図った。	和菓子づくり指導者	1月	1	小学生とその保護者	25	1		○						○	○	○	○	○	
中央	上落合	1300	与野の食文化「朝まんじゅう屋うどん」	与野の食文化である朝まんじゅう屋うどん作りを体験した。	ふるさと与野の生活文化を楽しむ会	2月	1	18歳以上	8	1		○							○	○	○	○	○
中央	下落合	1100	蕎麦打ちデビュー講座	蕎麦の栄養について学んだり、蕎麦作りをしたりしながら、食事作りを楽しみました。	さいたま蕎麦打ち倶楽部	10月	1	20歳以上	10	1		○		○	○					○	○	○	○
中央	下落合	2000	味噌づくり講座	栄養豊富な大豆発酵食品「味噌」の基本配合を学び、作りやすい分量で仕込みました。	管理栄養士	12月	1	20歳以上	24	1					○	○	○				○	○	○
中央	下落合	2000	和食でおもてなし「恵方巻とイワシのつみれ汁」	節分に向けて恵方巻と、鰯の手開きからつみれ汁を作りました。	デコ巻き寿司マイスター	1月	1	中学生～39歳以下	8	1											○	○	○
桜	田島	1100	男の料理教室「そば打ちにチャレンジ」Aコース	蕎麦打ち体験とともに、蕎麦の栄養成分などを学びました。	蕎麦打ち指導者	2月	1	成人男性	5	1		○									○	○	○
桜	田島	1100	男の料理教室「そば打ちにチャレンジ」Bコース	蕎麦打ち体験とともに、蕎麦の栄養成分などを学びました。	さいたま蕎麦打ち倶楽部	2月	1	成人男性	2	1		○										○	○
桜	田島	1100	春の薬膳教室	薬膳についての基礎知識を学びました。	料理研究家	2月	1	成人	20	1					○	○						○	○
桜	土合	2520	⑫夏休み子ども公民館『お菓子作り教室』	焼き菓子の実習を行いました。	民間企業	8月	1	小学生	15	1		○											
桜	土合	2500	子育て応援講座「クリスマス・クッキー作り」	クッキー作りの実習と仲間づくりを行いました。	菓子講師	12月	1	小学生とその保護者	18	1												○	
桜	土合	1900	国際理解講座/韓国の食と文化を学ぼう	韓国料理の実習を行いました。	外国人講師	3月	1	成人	9	1					○	○						○	○
桜	大久保	2000	蕎麦打ち体験教室(Aコース)	蕎麦の栄養や、蕎麦打ちの歴史などを学ぶとともに、蕎麦打ちを体験しました。	蕎麦打ち指導者、助手	9月	1	成人	5	1					○	○						○	○

# 令和4年度公民館事業報告書

		件数total				総回数		参加延人数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)												
		167				313		6081		180		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続		
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期	
桜	大久保	2000	みそ作り教室	麹などの食材に関する学習のほか、味噌作りを体験しました。	味噌作り指導者、助手	2月	1	成人	10	1					○	○					○	○	○	○
桜	大久保	2000	蕎麦打ち体験教室(Bコース)	蕎麦の栄養や、蕎麦打ちの歴史などを学ぶとともに、蕎麦打ちを体験しました。	蕎麦打ち指導者、助手	9月	1	成人	5	1					○	○					○	○	○	○
桜	栄和	2520	サマースクールさかわ2022パン作り教室①	公民館利用団体の方による地元小学生を対象としたパン作り体験をしました	栄和公民館サークル	7月	1	公民館地域在住の小学生	16	1			○					○						○
桜	栄和	2520	サマースクールさかわ2022パン作り教室②	公民館利用団体の方による地元小学生を対象としたパン作り体験をしました	栄和公民館サークル	7月	1	公民館地域在住の小学生	15	1			○					○						○
桜	栄和	1010	介護予防事業 やわらぎ学級	生活全般にわたる知識、レクレーションを学びました	病院職員、野菜ソムリエ、消費生活センター他	7月～11月	8	65歳以上	256	2				○									○	○
桜	栄和	1100	食育講座「クリスマスにむけてシュトーレンを作ろう」	クリスマスシーズンに合わせ、季節のお菓子作りを行いました	栄和公民館サークル	12月	1	39歳まで	11	1			○		○	○				○	○			○
桜	栄和	1000	親の学習／親子でクッキング	親子で料理を作り、参加者同士で子育てについて話し、交流しました	栄和公民館サークル親の学習事業ファシリテーター	2月	1	さいたま市在住の小学生とその保護者	26	1			○					○			○	○		
桜	大久保東	1000	親の学習事業 親と子のクッキング教室とおしゃべりプログラム	親子で米粉のピザパンを作り、他の家族との交流と育児の情報交換をしました。	栄養士・登録団体講師	7月	1	小学生とその保護者	17	1				○	○			○						
桜	大久保東	1010	高齢介護学級(生きがい健康づくり教室)「けやき倶楽部」後半	心身の健康をテーマとし、地域の高齢者が学習と交流を目的に集いました。	行政書士・音楽家・文明堂	11月～2月	8	65歳以上	326	1			○	○	○	○							○	
桜	大久保東	2500	R4冬休み子ども公民館「クリスマスのお菓子を作ろう！」	クリスマスにシュトーレンを作りました。	パン教室指導者、料理研究家	12月	1	小学1～6年生	16	1				○	○			○						

# 令和4年度公民館事業報告書

		件数total				総回数		参加延人数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)					食育の各年齢期							
		167				313		6081		180		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続		
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期	
浦和	領家	2520	夏休みこども公民館料理教室	SDGsの視点で食品ロスを減らす調理法を学び、食に対する満足感や楽しさを感じました。	料理研究家 料理教室助手	8月	1	小学3～6年生	6	1		○	○		○	○		○						○
浦和	領家	1100	大人の薬膳料理①	健康維持や病気予防に役立つ薬膳料理を学びました。	料理研究家 料理教室助手	9月	1	どなたでも	5	1		○	○		○	○			○	○	○	○		
浦和	領家	1100	大人の薬膳料理②	健康維持や病気予防に役立つ薬膳料理を学びました。	料理研究家 料理教室助手	9月	1	どなたでも	5	1		○	○		○	○			○	○	○	○		
浦和	浦和南	1100	手作りキムチで免疫力UP!	家庭でできるキムチの作り方を学びました。	みのり会代表	2月	1	18歳以上	8	1					○							○	○	
浦和	上木崎	1000	親の学習事業／親子でソーセージづくりに挑戦!	お子さんと保護者(男性)で、ソーセージ作り挑戦しました。	料理研究家	7月	1	5歳以上のお子さんと保護者(男性)	16	1		○	○					○			○	○		
浦和	上木崎	1100	野菜ソムリエから学ぶ夏野菜	夏野菜の魅力について、栄養や料理方法など、多面的に学びました。	野菜ソムリエ	6月	1	どなたでも	11	1		○	○		○			○	○	○	○	○		
浦和	上木崎	1100	親子でハロウィンのタルトづくり	ねりきりでハロウィン向けのタルトを親子で楽しみながら作りました。	お菓子作り指導者・助手(1名)	9月	1	小学生とその保護者	14	1		○	○		○			○			○	○		
浦和	上木崎	1100	アイシングクッキーでクリスマスのヘクセンハウスをつくろう!	若者を対象に、クリスマス向けのアイシングクッキーを作りました。	管理栄養士	12月	1	中学生～概ね39歳	7	1		○	○					○	○	○				
浦和	大東	1100	コーヒー教室	家庭での時間を豊かに過ごすことを目的に、プロから、コーヒー豆の特徴やおいしい淹れ方を学びました。	自家焙煎珈琲店店主	11月	1	どなたでも	8	1			○						○	○	○	○		
浦和	大東	1100	食育講座「はじめての薬膳～冬の薬膳」	身近な食材を使って、季節の薬膳を学びました。	料理研究家	11月	1	どなたでも	7	1		○	○	○					○	○	○	○		
浦和	仲本	2110	さいたま市民の日(第1回・第2回)親子の居場所 仲本サロン(明治安田生命との連携事業)	(子育てサロン)親子のふれあいの場を提供し、参加者同士の交流を深めた。	ボランティア、栄養士、保健師、薬剤師 他	4月～2月※ 8月無	10	3歳までの乳幼児と保護者	119	1		○					○							○
浦和	仲本	2500	親子料理講座	家庭で手軽にできる缶詰アレンジ料理を学んだ。	栄養士、助手(1名)	2月	1	小学生とその保護者	10	1	○	○	○					○			○	○		

# 令和4年度公民館事業報告書

		件数total				総回数		参加延人数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)					食育の各年齢期						
		167				313		6081		180		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→						
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	継続
浦和	針ヶ谷	2520	針ヶ谷サマースクール(パン教室 1年～3年生)	食事についての興味・関心を促しました。	料理研究家	7月	1	小学1～3年生	8	1	○	○			○	○	○						○
浦和	針ヶ谷	2520	針ヶ谷サマースクール(パン教室 4年～6年生)	食事についての興味・関心を促しました。	料理研究家	7月	1	小学4～6年生	8	1	○	○			○	○	○						○
浦和	本太	1010	公民館介護予防事業／コスモス学院・本太(前期)	高齢者の交流、生きがい、学び合いの講座を実施しました。	ジャズピアニスト・数学研究者・歴史紀行作家等	5月～9月	9	65歳以上	403	1			○										○
浦和	本太	2500	親子公民館	学校が休みの土曜日に親子で工作やスポーツなどの体験をしました。	ぶんぶん文庫リズム縄跳び研究会推進員	5月～3月	6	浦和区在住の小学生と保護者	88	1		○			○		○		○				
浦和	本太	1100	暮らしに役立つハーブの使い方	お料理から薬用まで生活に役立つハーブの基礎知識を学び、便利なクッキングハーブソルトを作りました。	ハーブインストラクター	6月	1	18歳以上	14	1			○							○	○	○	
浦和	本太	1100	青少年若向け講座／クリスマス彩るヘクセンハウスを作ろう	「ヘクセンハウス」の作り方を専門家から学び、参加者同士楽しく交流を図りました。	管理栄養士	12月	1	16歳から39歳まで	12	1		○						○	○	○			
浦和	本太	1100	味噌づくり	初心者の方でも作れる、味噌作りを講座を実施しました。	(株)伊勢惣	2月	1	18歳以上	12	1			○		○				○	○	○	○	
浦和	仲町	1010	公民館介護予防事業／ひまわり学級(3学期)	高齢者の交流等を目的に人権落語や食品メーカー社員の講演(食育)などを実施しました。	落語家、(株)明治関東支社社員、明治安田生命等	1月～3月	10	65歳以上	398	1			○										○
浦和	常盤	1010	公民館介護予防事業／高齢者学級「ときわ塾」	古典文学講座、時事講座、講談等を通して高齢者の生きがい創出を図りました。	大学教授、講談師、健康管理士上級指導員等	6月～11月	10	65歳以上	306	1			○										○
浦和	常盤	1100	若者向け講座「コーヒーの淹れ方をプロから学ぼう」	若者向けに、自宅でおいしいコーヒーの淹れ方等について学びました。	インストラクター(コーヒー店店主)	11月	1	概ね16歳～39歳	10	1					○	○	○						
浦和	北浦和	2520	夏休み子ども公民館(料理教室)	エコ・クッキングで環境のことを学びながら、料理を楽しみました。	公民館職員	7月	1	小学生	11	1	○	○	○	○	○		○						
浦和	北浦和	2500	君も減災マスターになろう	防災・減災のスキルを学ぶ。また、実際に非常食を作って食べ、食について考えました。	ボーイスカウトさいたま第202団	10月	1	小学生とその保護者	20	1	○	○			○		○		○	○			○



# 令和4年度公民館事業報告書

		件数total				総回数		参加延人数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)					食育の各年齢期							
		167				313		6081		180		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続		
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期	
浦和	南筈	2000	味噌づくり講習会	栄養豊富な大豆発酵食品「味噌」の基本の配合を学び手作りしました。	味噌製造会社	12月	1	20歳以上	10	1		○	○	○	○					○	○	○	○	
浦和	南筈	2000	手打ち蕎麦づくり教室	蕎麦粉から蕎麦に仕上げるまでを学びました。	地域蕎麦打ち愛好会	12月	1	20歳以上	8	1		○	○	○	○	○				○	○	○	○	○
浦和	南筈	2000	珈琲講座	珈琲の淹れ方を基礎から学びました。	珈琲店店主	2月	1	20歳以上	8	1		○	○	○	○	○				○	○	○	○	
南	文蔵	1100	大人の食育講座『具だくさんおにぎらずを作ろう』	健康で長生きするために栄養バランスの取れた食事を作って学ぶ講座。地域団体に協力いただく。	地元活動団体	2月	1	どなたでも	8	1		○						○	○	○	○			
南	南浦和	1100	元気な家族の食育講座①	生活習慣病予防の食事を調理しました。	食生活改善推進員	6月	1	成人	5	1			○			○			○	○	○		○	
南	南浦和	1100	元気な家族の食育講座②	免疫機能を整える食事を調理しました。	食生活改善推進員	2月	1	成人	6	1			○			○			○	○	○		○	
南	南浦和	1100	男性料理教室	男性向けの料理教室を行いました。	料理指導者	2月	1	18歳以上の男性	10	1	○										○	○		○
南	南浦和	1020	ふれあい会食	70歳以上でひとり住まいの方を対象にふれあい会食を行いました。	食生活改善推進員	5月～3月	8	70歳以上	97	8		○		○									○	○
南	谷田	1010	生きがい健康づくり教室 さくら塾(前期)	高齢者の生きがいづくり・仲間づくり・健康づくり、食育の知識の獲得などの機会を提供しました。	レクリエーション指導者、歴史研究者、映像研究者、他	5月～9月	10	65歳以上	284	1		○	○										○	
南	谷田	1010	生きがい健康づくり教室 さくら塾(後期)	高齢者の生きがいづくり・仲間づくり・健康づくり、食育の知識の獲得などの機会を提供しました。	レクリエーション指導者、歴史研究者、映像研究者、他	9月～12月	10	65歳以上	277	1		○	○										○	
南	六辻	1010	生きがい健康づくり教室 六辻学級・前期	介護予防普及啓発事業で地域の歴史、高齢者の栄養、健康等について学びました。	医師、元学校教諭、歴史研究者等	5月～7月	8	65歳以上	129	1	○	○	○	○									○	

# 令和4年度公民館事業報告書

		件数total				総回数		参加延人数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)					食育の各年齢期							
		167				313		6081		180		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続		
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期	
南	六辻	1010	生きがい健康づくり教室 六辻学級・後期	介護予防普及啓発事業で、相続対策、古典文学、高齢者の健康等について学びました。	文学研究者、税理士、病院職員等	9月～12月	6	65歳以上	107	1	○	○	○	○									○	
南	西浦和	1010	わかば学級(前期)	シニア世代が、健康で楽しく生活するために役立つことを学び、地域の仲間作りをする。食生活に関することを学びました。	趣味・実技指導者 体操指導者、講談師等	6月～9月	8	65歳以上	184	2		○	○	○		○							○	
南	別所	1010	生きがい健康づくり教室 「一本杉学級」	介護予防の学習の場、地域住民の交流の場、仲間づくりの場の提供しました。	趣味・実技指導者	5月～1月	9	65歳以上	149	1		○											○	
南	別所	2520	夏休み子ども公民館「障害者スポーツの歴史&親子ポッチャ体験」	障害者スポーツの歴史について学び、ポッチャに挑戦する親子講座。(白幡中連携事業)	大学准教授	8月	1	小学生とその保護者	16	0														
南	別所	2520	夏休み子ども公民館「おなか元気教室」	正しい食習慣・生活習慣について学びました。	民間企業	8月	1	小学生	12	1	○					○								
南	東浦和	1010	【介護予防事業】 さわやか学級(前期)	介護予防普及啓発事業で、生活教養・健康ふれあいづくり、食育などを学びました。	教養健康指導者、生活講座講師、音楽家、落語家 等	5月～7月	6	65歳以上	186	1	○	○	○	○	○								○	
南	東浦和	1010	【介護予防事業】 さわやか学級(中期)	介護予防普及啓発事業で、生活教養・健康ふれあいづくり、食育、人権問題などを学びました。	教養健康指導者、生活講座講師、講談師 等	10月～12月	6	65歳以上	167	1	○	○	○	○	○								○	
南	東浦和	1010	【介護予防事業】 さわやか学級(後期)	介護予防普及啓発事業で、生活教養・健康ふれあいづくり、食育、障害者スポーツなどを学びました。	教養健康指導者、生活講座講師、音楽家 等	1月～3月	6	65歳以上	170	1	○	○	○	○	○								○	○
南	善前	1010	介護予防事業／「本格キムチをつくろう」	介護予防普及啓発事業で、旬の野菜で本格キムチの作り方を学びました。	趣味・実技指導者	12月	1	65歳以上	8	1		○				○							○	○
南	善前	2520	夏休み子ども公民館① 茶道をたしなもう！	当館で活動している茶道サークルの方から茶道の所作を教えてください、日本の伝統文化について学びました。	茶道サークル	8月	1	公民館地域在住の小学生	15	1		○				○								
南	善前	1100	そば打ち教室	講師指導のもとそば打ち体験を通じて日本の伝統的な食について学びました。	市民団体	12月	2	さいたま市に在住・在勤・在学の20歳以上	10	1					○	○			○	○	○	○	○	
緑	大古里	2520	夏休みわくわくスクール「クッキーをつくろう！」	様々な形を楽しみながらクッキーを作りました。	美術指導者	7月	1	公民館地域在住の小学生	16	1		○					○							

# 令和4年度公民館事業報告書

		食育の目標		食育の各年齢期																			
		さ…「三食しっかり」 い…「いっしょに楽しく」 た…「確かな目をもって」 ま…「まごころに感謝して」 し…「食文化や地の物を伝え合い」 協働…地域で活動する人や団体と連携		「乳幼児期」… 0～5歳 「学齢期」… 6～15歳 「青年期」… 16～24歳 「成人期」… 25～39歳 「壮年期」… 40～64歳 「高齢期」… 65歳～																			
件数total		総回数		参加延人数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)															
167		313		6081		180		←1つ以上に「○」→						←1つ以上に「○」→						継続			
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期		成人期	壮年期	高齢期
緑	大古里	2520	夏休みわくわくスクール「シェフと一緒に親子でイタリアン！」	プロのシェフに簡単でおいしいイタリア料理を学びました。	イタリア料理店シェフ	8月	1	公民館地域在住の小学生と保護者	13	1		○				○							
緑	大古里	1100	本格イタリアンに挑戦	プロのシェフに簡単でおいしいイタリア料理を学びました。	イタリア料理店シェフ	2月	1	成人	15	1		○				○					○	○	○
緑	三室	2520	夏休み子ども公民館手作りパン教室	夏休みを利用した小学生が対象の体験活動として、イースト菌などを使って、パン作りを体験しました。	三室公民館パン教室講師	7月	1	三室地区在住の小学生	11	1		○				○							○
緑	三室	2520	夏休み子ども公民館料理教室	夏休みを利用した小学生が対象の体験活動として、料理作り(主食、主菜など)を体験しました。	三室ヘルスマイト	8月	1	三室地区在住の小学生	12	1	○	○				○							○
緑	尾間木	1010	介護予防事業生きがい健康づくり教室/減塩料理教室	塩分計で汁物の濃度を測定したり、減塩の工夫について学んだりしながら、料理作りを楽しみました。	尾間木ヘルスマイト	10月	1	65歳以上	12	1	○			○	○	○							○
緑	尾間木	1100	男性料理教室「おうちで作れるお手軽中華」	成人男性を対象として、バランスの良い食事について学びながら、身近な材料を使った料理を作りました。	栄養士	5月	1	成人男性	12	1	○	○			○						○	○	○
緑	尾間木	1100	珈琲の淹れ方講座	豆の種類やローストによる味の違いや、様々な珈琲の淹れ方を知り、美味しい珈琲の淹れ方のコツを学びました。	珈琲豆店店主	1月	1	成人	12	1		○	○			○						○	○
緑	尾間木	2520	夏休みわくわく子どもクッキング	異学年で協力しながら、おやつ作りを楽しみました。	尾間木ヘルスマイト	8月	2	小学生	24	1		○	○	○									○
緑	原山	1100	珈琲講座「珈琲を知る～豆から淹れ方まで～」	コーヒーの上手な淹れ方とコーヒーポリフェノールの効能を学びました。	コーヒー専門家	12月	1	成人	7	1					○							○	○
緑	美園	1000	親学①親子deおうちパン	親子でできるパン作りで食育と交流を図りました。	おうちパンマスター	5月	2	乳幼児と保護者	24	1		○	○				○						

# 令和4年度公民館事業報告書

		件数total				総回数		参加延人数		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)					食育の各年齢期							
		167				313		6081		180		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続		
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期	
緑	美園	2500	畑であそぼ！①春のたけのこ編	地元農家と連携し、親子で農作業を体験し、季節の収穫物を味わうことで、農と食への関心を促しました。	農家	4月	1	幼児・小学生と保護者	31	1		○			○		○	○		○			○	
緑	美園	2500	畑であそぼ！②夏のじゃがいも編	地元農家と連携し、親子で農作業を体験し、季節の収穫物を味わうことで、農と食への関心を促しました。	農家	6月	1	幼児・小学生と保護者	47	1		○			○		○	○		○			○	
緑	美園	2500	畑であそぼ！③秋の里いも編	地元農家と連携し、親子で農作業を体験し、季節の収穫物を味わうことで、農と食への関心を促しました。	農家	11月	1	幼児・小学生と保護者	33	1		○			○		○	○		○			○	
緑	美園	2500	畑であそぼ！④冬のもちつき	地元農家と連携し、親子で農作業を体験し、季節の収穫物を味わうことで、農と食への関心を促しました。	農家	12月	1	幼児・小学生と保護者	41	1		○			○		○	○		○			○	
岩槻	岩槻本丸	1010	公民館介護予防事業「やまぶき学級」【明治安田生命との連携事業】	歴史や法律、健康体操など、さまざまな分野について学び、仲間づくりを進めました。	歴史研究家、ファイナンスプランナー、気功指導者他	5月～7月	9	65歳以上	148	1	○												○	○
岩槻	岩槻本丸	1300	太巻き祭り寿司	千葉県産の郷土料理である太巻き祭り寿司を学びました。	料理研究家	3月	1	市内在住・在勤の成人	8	1		○			○					○	○	○	○	
岩槻	岩槻本町	1100	季節の料理教室	食育のため旬の食材を使った料理を学びました。	料理研究家	6月	1	成人	15	1	○	○	○	○	○						○	○	○	○
岩槻	岩槻本町	1100	季節の料理教室「おせち料理」	食育のため旬の食材を使った料理を学びました。	料理研究家	12月	1	成人	16	1	○	○	○	○	○						○	○	○	○
岩槻	岩槻本町	1300	初心者向け「手打ちそば教室」	伝統的に伝わる手打ちそばの作り方を学びました。	手打ちそば講師	12月	1	成人	4	1		○	○		○						○	○	○	○
岩槻	岩槻南部	1000	親の学習事業②「かんたん肉まん作り～美味しい、楽しい親子クッキング」	親子で料理を楽しみ、親の学習では子育てについての意見交換を行いました。	管理栄養士	12月	1	2歳～未就園児とその保護者	12	1	○	○	○	○	○									○
岩槻	岩槻南部	1300	手打ちそば教室	手打ちそばの作り方を基礎から学びました。	元公民館長	11月	1	市内在住・在勤	8	1			○		○	○						○	○	○

# 令和4年度公民館事業報告書

		件数total				総回数		参加延人数		食育総回数		食育の目標		食育の各年齢期									
		167				313		6081		180		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)		←1つ以上に「○」→									
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	参加延人数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	継続
岩槻	岩槻北部	1100	そば打ち教室	そば打ちの基礎を学びました。	そば打ち講師、助手	2月	1	成人	6	1		○						○	○	○			
岩槻	岩槻北部	1300	郷土料理教室	太巻き祭り寿司を学びました。	料理研究家、助手	1月	1	成人	8	1		○						○	○	○			
岩槻	岩槻北部	1100	薬膳料理教室	薬膳の知識と薬膳料理を学びました。	料理研究家、助手	11月	1	成人	8	1			○					○	○	○			
岩槻	岩槻北部	1100	味噌作り教室	手作りのおいしい味噌の作り方を学びました。	料理研究家、助手	2月	1	成人	7	1	○	○						○	○	○			
岩槻	岩槻北部	2520	サマースクールほくぶ「子ども料理教室」	料理を学びました。	料理研究家	8月	1	小学生	8	1						○	○						
岩槻	岩槻城址	1010	生きがい健康づくり教室「白鶴学級Ⅰ」	介護予防普及啓発事業で、健康体操、悪質商法予防、絵手紙等を学びました。	ピラティス指導者 絵手紙指導者 等	6月～7月	8	65歳以上	178	1			○									○	○
岩槻	岩槻城址	1010	介護予防事業 和菓子教室	高齢者の健康増進を目的として、日本の食文化である和菓子(ねりきり)づくり体験教室を実施しました。	地域和菓子店	12月	1	65歳以上	10	1					○	○						○	

令和5年度 公民館事業計画書

件数total		総回数		総見込延数		食育総回数		食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)																
190		402		9710		198		←1つ以上に「○」→							←1つ以上に「○」→							継続		
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	見込延数	食育	さい	いた	たま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期			
西	指扇	1000	キラキラ子育てクラブⅢ中学生ふれあい体験事業	①日本茶を楽しむ②親子でフラダンス③親子でHip・Hop	①日本茶インストラクター②フラダンス講師③Hip・Hop講師	10月	3	未就学児とその保護者	120	1					○	○						○		
西	指扇	2500	食育・親子クッキング	一緒に楽しく食事を作り食す。	さいたま市ヘルスメイト	12月	1	未就学児とその保護者	24	1		○				○	○	○						
西	指扇	1100	手作り味噌づくり	寒仕込みの味噌をつくる。	管理栄養士	2月	1	中学生以上どなたでも	16	1									○	○	○	○		
西	馬宮	2510	青少年・若者向け講座スイーツ作り教室	普段公民館に足を運ばない年齢層を対象にスイーツ作り教室を開催する。	地域洋菓子店	2月	1	15歳～39歳までの方	15	1		○	○						○					
西	植水	1100	味噌づくり講座	味噌づくりの体験を行い、食文化の理解を深める事業。	味噌製造会社	1月	1	成人	12	1			○								○	○	○	○
西	内野	2520	夏休み子ども公民館「スイーツ教室」A	お菓子づくりを親子で楽しみます。	製菓講師、助手	8月	1	市内在住・在学の小学生とその保護者	16	1		○	○	○	○				○					○
西	内野	2520	夏休み子ども公民館「スイーツ教室」B	お菓子づくりを親子で楽しみます。	製菓講師、助手	8月	1	市内在住・在学の小学生とその保護者	16	1		○	○	○	○				○					○
西	内野	2520	夏休み子ども公民館「クッキング教室」	大宮西中学校生徒が考案した食育メニューを親子で調理実習します。【連携】大宮西中学校	親子サークル指導者、助手	8月	1	市内在住・在学の小学生とその保護者	16	1	○	○	○	○	○	○				○				
西	内野	2520	夏休み子ども公民館「ブルーベリー摘みとパティシエ体験」	地元農園の協力により、摘み取りとタルトづくりの体験を行います。【連携】ファーマー&パティスリーカフェミルティエ	農園オーナー・パティシエ	8月	1	市内在住・在学の小学生とその保護者	10	1		○	○	○	○	○				○				○
西	内野	1210	ハロウィンクッキープレゼント大作戦	プレゼント交換にぴったりなかわいいクッキーを作ります。	製菓講師、助手	10月	1	市内在住・在学の小・中学生とその保護者	16	1		○	○	○	○				○					
西	内野	1100	学びのネットワーク事業 野菜ソムリエに学ぶ冬野菜の魅力	冬野菜のおいしい食べ方を学び、SDGsへの取り組みを学びます。	野菜ソムリエ・料理研究家	11月	1	市内在住・在勤の方	20	1	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○
西	内野	1100	野菜ソムリエに学ぶ春野菜の魅力	春野菜のおいしい食べ方を学び、SDGsへの取り組みを学びます。	野菜ソムリエ・料理研究家	2月	1	市内在住・在勤の方	20	1	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○



令和5年度 公民館事業計画書

件数total		総回数		総見込延数		食育総回数		食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)																
190		402		9710		198		←1つ以上に「○」→							←1つ以上に「○」→							継続		
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	見込延数	食育	さい	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期	
西	内野	1210	春の和菓子づくり教室	季節の和菓子をつくります。	パン・製菓講師、助手	3月	1	市内在住・在勤の方	8	1		○	○	○	○						○	○	○	○
北	大砂土	1100	食育講座/薬膳「冬の寒さ対策」	家庭でも気軽に取り入れられる薬膳の知識と冬を健やかに迎えるための薬膳料理のレシピを学びます。	国際中医薬剤師	2月	1	どなたでも	18	1	○	○	○		○			○	○	○	○	○	○	○
北	日進	1010	介護予防事業「生きがい健康づくり教室」日進菜の花学級(前期)	介護予防普及啓発事業で、音楽、脳トレ、論語、歴史、食生活に関する講座など健やかに生きるための学習と地域の仲間づくりを行います。	歌謡漫談家・数学教育家・放送大学非常勤講師・他	5月～9月	9	65歳以上の方	360	1			○		○								○	
北	日進	2510	青少年講座「クリスマスを彩るヘクセンハウスをつくらう」	お菓子里で作ったミニチュアの家(ヘクセンハウス)作りを通して参加者同士の交流を図ります。	アイシングクッキー認定講師・管理栄養士	12月	1	16歳～39歳以下	12	1		○			○				○					
北	宮原	1100	野菜ソムリエから学ぶ夏野菜	野菜ソムリエから夏野菜について学びます。	野菜ソムリエ	5月	1	どなたでも	20	1			○									○	○	○
北	宮原	2520	夏休み子どもわくわく教室 野菜クイズ&実験(仮)	子どもたちが、野菜について学びます。	野菜ソムリエ	8月	1	小学生	15	1		○						○						
北	宮原	1100	野菜ソムリエから学ぶ 冬野菜	野菜ソムリエから冬野菜について学びます。	野菜ソムリエ	11月	1	どなたでも	20	1			○									○	○	○
北	植竹	1010	介護予防普及啓発事業 BONSAI学園	介護予防普及啓発事業で、健康・音楽・落語など様々な分野を学習します。	企業講師、音楽家、落語家 他	5月～11月	7	65歳以上の方	280	1			○		○								○	
大宮	桜木	1100	沖縄料理講座	身近な材料で手軽に作れる沖縄料理を学ぶ。	沖縄料理店店主	7月	1	成人	12	1		○			○	○				○	○	○	○	
大宮	桜木	2520	夏休み子ども公民館/料理教室	心豊かな青少年育成を目的とした、小学生を対象とする料理の知識を学ぶ教室。	料理研究家	8月	1	小学生	12	1		○		○					○					
大宮	桜木	2520	冬休み子ども公民館/料理教室	心豊かな青少年育成を目的とした、小学生を対象とする料理の知識を学ぶ教室。	料理研究家	12月	1	小学生	12	1		○		○					○					
大宮	桜木	1100	アンチエイジング薬膳	市民の健康増進と食への意識を高めることを目的とした、薬膳の効能を学ぶ講座。	国際中医薬膳師	10月	1	成人	12	1		○	○		○					○	○	○	○	
大宮	大宮南	1100	味噌作り講座(午前の部)	手話通訳者の配置可能な聴覚障害者に配慮した味噌作りの体験教室です。	料理講師 助手	1月	1	成人	10	1					○	○				○	○	○	○	○

令和5年度 公民館事業計画書

件数total		総回数		総見込延数		食育総回数		食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)																
190		402		9710		198		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続						
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	見込延数	食育	さい	い	た	ま	し	協働	乳幼児期		学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	
大宮	大宮南	1100	味噌作り講座(午後の部)	手話通訳者の配置可能な聴覚障害者に配慮した味噌作りの体験教室です。	料理講師 助手	1月	1	成人	10	1					○	○				○	○	○	○	○
大宮	大宮中部	1100	季節の料理教室	食品や調理方法についての知識向上を目的に、季節が旬な食材で料理を作る講座	料理研究家 助手	9月	1	成人以上	10	1		○			○					○	○	○	○	○
大宮	大宮北	1000	親の学習事業「親子スイーツ教室(クッキー)」	親子でスイーツをつくります。	料理研究家、助手 親の学習ファシリテーター	9月	1	小学生 全学年とその保護者	10	1		○							○		○	○	○	○
大宮	大宮北	1000	親の学習事業「親子ピザづくり教室」	親子でピザをつくります。	料理研究家、助手 親の学習ファシリテーター	12月	1	小学生 全学年とその保護者	10	1		○							○		○	○	○	○
大宮	大宮北	2000	学びのネットワーク/SDGs事業「ヨーロッパ野菜教室」	市内で生産された野菜を使った料理をつくります。	料理研究家 助手	10月	1	成人	10	1		○			○					○	○	○	○	○
大宮	大宮北	2520	夏休み子ども公民館「パンづくり教室①」	小学生を対象に、体を作る食材を意識した料理を学びます。	料理研究家 助手	7月	1	小学生(全学年)	15	1		○							○					○
大宮	大宮北	2520	夏休み子ども公民館「パンづくり教室②」	小学生を対象に、体を作る食材を意識した料理を学びます。	料理研究家 助手	8月	1	小学生(全学年)	15	1		○							○					○
大宮	三橋	2500	さいたま市民の日/親子公民館「親子茶道教室」	さいたま市民の日に小学生とその保護者を対象に茶道について学ぶ教室。【連携】三橋小、上小	茶道指導者、助手	4月	1	小学生と保護者	16	1					○	○	○		○					○
大宮	三橋	2520	夏休み子ども公民館「親学&親子料理」	親の学習プログラムと親子料理。	管理栄養士、親の学習 ファシリテーター	8月	1	小学生と保護者	16	1		○	○	○		○			○					○
大宮	三橋	2521	冬休み子ども公民館「親子味噌づくり教室」	小学生と保護者を対象に国産大豆から作る昔ながらの味噌づくりを体験する教室。【連携】三橋小、上小	味噌づくり指導者、助手	1月	1	小学生と保護者	16	1		○	○	○	○	○			○					
大宮	三橋	2521	冬休み子ども公民館「親子そば打ち教室」	伝統的なそばづくりを親子で体験する教室。	蕎麦打ち指導者	12月	1	小学生と保護者	16	1		○	○	○	○				○					○
大宮	三橋	1300	和菓子の魅力を知る講座	地元和菓子屋の歴史を学び、体験をする教室	地域和菓子店店主、助手	7月	1	成人	8	1					○	○	○	○			○	○	○	
大宮	三橋	1300	バックトゥ昭和「ぬか床づくりに挑戦！」	ぬか漬けの床づくりを学ぶ教室。	市内農業者	6月	1	成人	16	1					○	○	○	○			○	○	○	○
大宮	三橋	1300	味噌づくり教室	国産大豆から作る昔ながらの味噌づくりを体験する教室。	味噌づくり指導者、助手	2月	1	成人	15	1					○	○	○				○	○	○	○

令和5年度 公民館事業計画書

件数total		総回数		見込延数		食育総回数		食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)															
190		402		9710		198		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続					
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	見込延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期		学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期
大宮	大成	1100	すしケーキ作り(市民の日事業)	さいたま市民の口を記念して、市の花桜を野菜などで作り、大宮公園の桜をイメージしたすしケーキを作る事業	管理栄養士 料理助手	4月	1	どなたでも	16	1		○						○	○	○	○	○	
大宮	大成	2520	SDGs/夏休み子ども公民館/子ども食堂	子ども食堂の活動について理解を深め、SDGs(持続可能な開発目標)を考える機会とする事業	管理栄養士 料理助手	8月	1	小学生と保護者	24	1		○		○				○		○			
大宮	大成	1100	料理講座(ガトーショコラ)	市民の知識向上を目的とし、ガトーショコラの作り方を学ぶ事業	お菓子作り講師	2月	1	成人	10	1		○							○	○	○	○	
大宮	大成	1000	親の学習事業/料理教室	親同士の学び合いを目的に学習するプログラムと、親子でひなまつりケーキ作りを体験する事業	お菓子作り講師	3月	1	小学生とその保護者	12	1		○					○	○					
大宮	大宮東	1000	親の学習事業&夏休み子ども公民館/(仮)親子で本格水餃子	子育て支援を目的とした、親子で一緒に水餃子づくりを学び、親の学習プログラムを実施します。	講師 助手 親の学習ファシリテーター	7月	1	小学生とその保護者	16	1		○	○	○	○	○			○				
大宮	大宮東	1100	男の料理教室	料理の楽しさや食育を学ぶ教室です。 【共催】大宮東地区社会福祉協議会	講師 助手ボランティア(社協)	12月	1	大宮東地区在住の成人男性	8	1		○	○	○	○	○				○	○	○	○
見沼	大砂土東	2520	夏休み子ども公民館「キッズクッキング~パン作り~」	粉からこねてパンを作ります。	料理研究家	7月	1	小学生	12	1		○						○				○	
見沼	大砂土東	1210	和菓子でケーキ作り	和菓子でケーキを作ります。	料理研究家	10月	1	どなたでも	15	1		○			○				○	○	○	○	
見沼	大砂土東	1100	クリスマスケーキづくり	クグロフを作ります。	ニッポン登録講師	12月	1	どなたでも	9	1		○			○				○	○	○	○	
見沼	大砂土東	1100	味噌づくり教室	日本の伝統発酵食品「味噌」について学び、豆から味噌を作ります。	株式会社 伊勢惣	2月	1	どなたでも	12	1		○			○				○	○	○	○	
見沼	片柳	2520	片柳子ども公民館「親子でクッキング&おしゃべり教室~親の学習事業~」	親子でピザを作り、家族同士で交流を図ります。	パン作り講師	8月	1	小学生	12	1		○			○	○			○	○	○	○	○
見沼	片柳	2520	片柳子ども公民館「パンづくり教室」	オリジナルのパンづくりを体験します。	パン作り講師	8月	1	小学生	12	1		○				○		○				○	
見沼	片柳	1100	太巻き祭り寿司づくり教室	ひな祭りの太巻きを作ります。	料理研究家・管理栄養士	2月	1	どなたでも	10	1		○			○	○			○	○	○	○	
見沼	七里	1100	和菓子教室	和菓子の作り方の基本を学びます。	料理研究家	6月	1	成人	10	1		○			○				○	○	○	○	

令和5年度 公民館事業計画書

件数total		総回数		総見込延数		食育総回数		食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)																	
190		402		9710		198		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続							
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	見込延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期		学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		
見沼	春岡	1100	まめ物語	おいしい味噌を手作り。	料理研究家	2月	1	成人	8	1					○						○	○	○	○	
見沼	春岡	1210	そば打ち体験	蕎麦打ちを学ぶ。	そば倶楽部	12月	1	成人	10	1			○	○	○	○					○	○	○	○	
見沼	春岡	1300	郷土料理 太巻き祭り寿司に挑戦	郷土に伝わる太巻き祭り寿司の作り方を学ぶ。	料理研究家管理栄養士	2月	1	成人	9	1					○						○	○	○	○	
見沼	春岡	2520	夏休み子ども公民館「パンづくり教室」	子どもにもできるパンづくりを学ぶ。	料理研究家	8月	1	小学生	10	1					○										
見沼	春岡	2521	夏休み子ども公民館「お菓子づくり教室」	子どもにもできるお菓子づくりを学ぶ。	児童センター職員	8月	1	小学生	10	1		○			○	○									
中央	鈴谷	2520	夏休み子ども公民館「そば打ちにチャレンジ!①」9時開催	そばの打ち方の体験を通して、手作りのよさを実感し、食の大切さを学びます。	そば打ち指導者	8月	1	小学生	5	1		○			○	○								○	
中央	鈴谷	2520	夏休み子ども公民館「そば打ちにチャレンジ!②」11時開催	そばの打ち方の体験を通して、手作りのよさを実感し、食の大切さを学びます。	そば打ち指導者	8月	1	小学生	5	1		○			○	○									○
中央	鈴谷	1100	～持って帰っておうちde楽しもう～「クリスマスフルーツケーキ作り」	簡単に作れてお家で楽しめる持ち帰り用のクリスマスケーキを作ります。	(株)ニッポンクッキングパートナー講師(2名)	12月	1	成人の方	8	1		○	○									○	○	○	○
中央	鈴谷	1100	～持って帰っておうちde楽しもう～「バレンタインにピッタリ♪手作りパン教室」	簡単に作れてお家で楽しめるパンの作り方を学びます。	(株)ニッポンクッキングパートナー講師(2名)	2月	1	成人の方	8	1		○		○									○	○	○
中央	鈴谷	1010	介護予防事業 ねんりん大学 (前期)	多様な内容でシニア世代の健康づくりと仲間づくりを促します。	花王、ニチレイフーズ、数学教育家、野菜ソムリエ他	5月～6月	6	65歳以上の方	132	1					○										○
中央	鈴谷	1800	障害者のための社会参加支援講座「料理教室」	障害者が料理を楽しみ交流を深めます。【共催】障害者総合支援センター	料理教室講師	10月	1	障害のある方 18歳以上	8	1		○													○
中央	大戸	1100	食育講座 「おいしいコーヒーの淹れ方」	おいしいコーヒーの淹れ方を学びます。	自家焙煎珈琲リフォルメ店長	10月	1	どなたでも	8	1		○													
中央	与野本町	2000	時短!便利!美味しい!味噌玉作り	味噌玉の作り方を学びます	発酵プロフェッショナル 発酵マイスター上級認定講師(助手2名)	6月	1	どなたでも	30	1	○				○										
中央	与野本町	1000	親の学習事業② 「親子でデコのハロウィンケーキ」	親子でお菓子作りを楽しみながらコミュニケーションを深めます	和菓子づくり指導者 助手(2名)、ファンリテーター	10月	1	小学生と保護者	24	1		○													

令和5年度 公民館事業計画書

		件数total				総回数		総見込延数		食育総回数		食育の目標					食育の各年齢期									
		190				402		9710		198		食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)														
												←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続				
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	見込延数	食育	さい	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期			
中央	上落合	1300	さいたま市民の日記念親子でまんじゅう作り	さいたま市民の日のイベントとして親子で饅頭作りを体験し与野の食文化に触れる。	ふるさと与野の生活文化を楽しむ会	5月	1	小学3年生～中学生とその保護者	16	1		○			○			○	○	○	○					
中央	上落合	2520	サマーキッズ:親子料理教室	親子で料理し、食事を体験し、食生活を楽しむ。	さいたま市食生活改善推進員協議会	7月	1	小学生とその保護者	16	1		○				○		○	○	○	○					
中央	上落合	1100	そば打ち体験①	そば打ちを体験するとともに、食品としての蕎麦を通してバランスの良い食生活についても学ぶ。	蕎麦打ち倶楽部	11月	1	成人	5	1						○			○	○	○	○				
中央	上落合	1100	そば打ち体験②	そば打ちを体験するとともに、食品としての蕎麦を通してバランスの良い食生活についても学ぶ。	蕎麦打ち倶楽部	11月	1	成人	5	1						○			○	○	○	○				
中央	上落合	1010	介護予防事業 美味しいコーヒーの淹れ方	美味しい淹れ方について教わることで、日常生活を豊かで健康的に過ごすことができる。	珈琲店店長	12月	1	65歳以上の方	8	1				○									○	○		
中央	下落合	2000	蕎麦打ちデビュー講座	蕎麦の栄養について学んだり、そば作りをしたりしながら食事作りを楽しむ。	さいたま蕎麦打ち倶楽部	10月	1	成人	12	1		○		○						○	○	○	○	○		
中央	下落合	2000	味噌づくり講座	栄養豊富な大豆発酵食品「味噌」の基本配合を学び、作りやすい分量で仕込む。	管理栄養士	12月	1	成人	16	1		○	○	○	○					○	○	○	○	○		
中央	下落合	1100	和食でおもてなし「バラの巻き寿司と春の和菓子」	家でおもてなしに地元のバラをモチーフにした巻き寿司が自分で出来るようにする。	実技指導者	1月	1	成人	16	1		○		○						○	○	○	○	○		
中央	下落合	2000	パン講座(仮)	家でおもてなしに地元のバラをモチーフにしたパンが自分で焼けるようにする。	実技指導者	3月	1	成人	8	1		○		○							○	○	○	○		
桜	田島	1000	親の学習事業 焼きいも体験(仮)	親子で焼きいもづくりに挑戦し、地域の方との交流を図るとともに、親同士の情報交換を行う	地域協力者、親の学習ファシリテーター、公民館職員	6月～11月	3	小学生とその保護者	36	1						○	○		○		○	○				
桜	田島	1100	たじま薬膳教室(仮)	薬膳についての基礎知識を学ぶ	料理研究家	11月	2	どなたでも	40	1				○								○	○	○	○	
桜	田島	1300	鏡餅作り講座	伝統的な正月行事を、鏡餅作りを体験しながら学ぶ	地域協力者、公民館職員	12月	1	どなたでも	15	1						○	○					○	○	○	○	
桜	田島	1100	そば打ち講座A	そばの栄養成分などを学びながら、そば打ちを体験する	さいたま蕎麦打ち倶楽部スタッフ	1月	1	どなたでも	5	1		○			○							○	○	○	○	
桜	田島	1100	そば打ち講座B	そばの栄養成分などを学びながら、そば打ちを体験する	さいたま蕎麦打ち倶楽部スタッフ	1月	1	どなたでも	5	1		○			○								○	○	○	○

令和5年度 公民館事業計画書

							件数total		総回数		総見込延数		食育総回数		食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)										
							190		402		9710		198		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	見込延数	食育	さい	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期			
桜	土合	1000	親の学習事業 親子でシュートレンづくり	親子で楽しくお喋りしながら、シュートレン作りを楽しむ。	菓子講師、親の学習ファシリテーター	12月	1	小学生とその保護者	20	1		○	○					○	○	○	○	○	○		
桜	土合	2520	夏休み子ども公民館⑨「お菓子作り教室」	焼き菓子の実習を行い、家に持ち帰り試食する。	民間企業講師	8月	1	小学生	10	1		○						○					○		
桜	土合	1100	土合そば打ち道場A	そば打ちの基礎を学び、受講者同志の交流を図る。	調理講師	12月	1	男性	5	1		○	○		○	○						○	○	○	
桜	土合	1100	土合そば打ち道場B	そば打ちの基礎を学び、受講者同志の交流を図る。	調理講師	12月	1	男性	5	1		○	○		○	○						○	○	○	
桜	大久保	1000	親の学習事業「芋掘り体験」	地域の畑で芋掘りを親子で体験した後、親同士で子育てについて意見交換をします。	公民館運営協議委員会委員、親学ファシリテーター	6月	1	小学生とその保護者	10	1		○			○	○		○			○	○			
桜	大久保	1100	蕎麦打ち体験教室(Aコース)	蕎麦打ちを体験し、作る楽しさと食文化を学びます。	蕎麦打ちサークル	9月	1	成人	5	1			○		○						○	○	○	○	
桜	大久保	1100	蕎麦打ち体験教室(Bコース)	蕎麦打ちを体験し、作る楽しさと食文化を学びます。	蕎麦打ちサークル	9月	1	成人	5	1			○		○						○	○	○	○	
桜	大久保	1100	初めての薬膳教室	薬膳の効能などについて学びます。	薬膳師	12月	1	成人	20	1			○								○	○	○		
桜	大久保	2000	みそ作り講習会	麹などの食材に関する知識を学び、味噌作りを体験します。	味噌作り指導者、助手	2月	1	成人	8	1			○		○	○					○	○	○	○	
桜	栄和	1010	介護予防事業 やわらぎ学級	生活全般にわたる知識、レクレーション	野菜ソムリエ、気象庁、県消費生活センター、建築家	7月	6	65歳以上の方	96	1			○										○	○	
桜	栄和	2520	夏休み子ども公民館 パンづくり教室①	公民館利用団体の方による地元小学生を対象としたパンづくり体験教室	栄和公民館サークル	7月	1	公民館地域在住の小学生	20	1		○		○				○						○	
桜	栄和	2520	夏休み子ども公民館 パンづくり教室②	公民館利用団体の方による地元小学生を対象としたパンづくり体験教室	栄和公民館サークル	7月	1	公民館地域在住の小学生	20	1		○		○				○						○	
桜	栄和	1100	【食育講座】 シュートレンを作ろう(仮)	クリスマスシーズンに合わせて季節のお菓子作りを行う	栄和公民館サークル	12月	1	どなたでも	16	1		○		○	○				○	○	○	○	○	○	
桜	大久保東	1010	高齢介護学級(生きがい健康づくり教室)「けやき倶楽部」前編	地域の高齢者が学習と交流を目的に集います。【連携:桜区保健センター 地域包括支援センター彩寿苑】	吹上町元家「健康いきがいがいづくりアドバイザー・歯科衛生士・フットボール指導者」	6月～9月	8	65歳以上の方	400	1			○	○									○		



令和5年度 公民館事業計画書

件数total		総回数		総見込延数		食育総回数		食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)																
190		402		9710		198		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続						
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	見込延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期		学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	
桜	大久保東	1010	高齢介護学級(生きがい健康づくり教室)「けやき倶楽部」後半	地域の高齢者が学習と交流を目的に集う。	野菜ソムリエ 地球市民学習代表・落語家・演奏家	11月～2月	8	65歳以上の方	400	1			○	○									○	
桜	大久保東	1000	親の学習事業② 親子で楽しくクッキング	親子で料理を楽しむ。他家族との交流と育児の情報交換をする。	栄養士、親の学習ファシリテーター	7月	1	小学生とその保護者	8	1		○	○	○				○			○	○	○	○
桜	大久保東	2520	夏休み子ども公民館 おいしいうどんを作ろう!	大久保地区の郷土料理の「うどん」作りを楽しむ。小麦文化から地域の暮らしを知り郷土への愛着を育てる	大久保東公民館運営協議委員会	8月	1	公民館地域在住の小学生	12	1		○	○	○	○			○						
浦和	岸町	1010	公民館介護予防事業/ きしちょう学園(前期)	高齢者の交流、生きがい、学びあいの講座。	数学教育家、野菜ソムリエ 他	5月～9月	7	65歳以上の方	240	1	○		○										○	
浦和	岸町	1000	親の学習事業/ 親子料理教室	親子を対象に料理教室を実施し、参加者同士の交流を図る。ファミリ6,000円 講師10,000円 助手5,000円×2人	料理研究家、助手(2名)	10月	1	年長～小学3年生と保護者	12	1		○					○	○		○				
浦和	岸町	1100	春の彩り弁当	春らしい彩り豊かなお弁当を作る。	おべんとう愛好家 助手(1名)	3月	1	18歳以上の方	12	1		○	○	○					○	○	○	○	○	○
浦和	領家	1100	暮らしに役立つハーブの使い方講座	お料理から薬用まで生活に役立つハーブの基礎知識を学び、便利なクッキングハーブソルトを作る。	ハーブインストラクター	7月	1	概ね16歳～39歳の方	6	1		○	○						○	○				
浦和	領家	1100	今年は手作り! クリスマスフルーツケーキ作り	簡単に美味しいクリスマスケーキを作る。	ニッポンクッキングパートナー	12月	1	どなたでも	10	1		○	○		○	○			○	○	○	○		
浦和	浦和南	1010	公民館介護予防事業/ 浦和南はつらつ塾(前期)	高齢者の交流・生きがい・学びあいの講座。音楽・体操・健康について学ぶ。(人権予算10,000円)	歴史研究家、音楽家等	5月～7月	7	65歳以上の方	90	1					○								○	
浦和	浦和南	1010	公民館介護予防事業/ 浦和南はつらつ塾(後期)	高齢者の交流・生きがい・学びあいの講座。音楽・体操・健康について学ぶ。	レクリエーションインストラクター、野菜ソムリエ 等	9月～12月	8	65歳以上の方	100	1			○										○	
浦和	浦和南	1100	和菓子作り教室	家庭でできる簡単な和菓子を作る。	料理研究家 助手	9月	1	18歳以上の方	10	1					○					○	○	○	○	
浦和	浦和南	1100	みそ作り教室	基本の味噌の作り方を学ぶ。	株式会社伊勢惣	2月	1	18歳以上の方	10	1					○				○	○	○	○		
浦和	上木崎	1000	親の学習事業/ パパとキッズでソーセージ作りに挑戦	お子さんと保護者(男性)で、ソーセージ作りに挑戦します。※ファミリ6,000円、講師謝金10,000円	料理研究家	7月	1	5歳以上のお子さんと保護者(男性)	16	1		○						○	○		○	○		○
浦和	上木崎	1100	野菜ソムリエから学ぶ夏野菜	夏野菜の魅力について、栄養や料理方法など、多面的に学びます。	野菜ソムリエ	12月	1	どなたでも	15	1		○	○		○			○	○	○	○	○		

令和5年度 公民館事業計画書

件数total		総回数		見込延数		食育総回数		食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)															
190		402		9710		198		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続					
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	見込延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期		学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期
浦和	上木崎	1100	コーヒー講座	講師の説明とデモンストレーションを聞き、実際にコーヒーを入れて交流を図ります。	マルワコーヒー店主・助手(1名)	1月	1	どなたでも	16	1		○	○	○				○	○	○	○	○	
浦和	上木崎	1100	春の和菓子づくり	春の和菓子を手作ります。	お菓子作り指導者・助手(1名)	2月	1	どなたでも	16	1		○	○	○	○			○	○	○	○	○	
浦和	大東	1100	コーヒー教室	プロから、コーヒー豆の特徴やおいしい淹れ方を学び、家庭での時間を豊かに過ごすことを目的とする。	自家焙煎珈琲店店主	1月	1	どなたでも	8	1			○						○	○	○	○	
浦和	大東	2500	親子で作る和ケーキ講座	和菓子の練り切りを使い、親子で和ケーキ作りをし、食の楽しさを学びながらコミュニケーションを深める	お菓子作り指導者	2月	1	小学生と親	10	1			○	○	○			○			○		
浦和	仲本	1000	親の学習事業／親子料理～おうちピザを作ってみよう～	親子で料理を楽しむとともに食育への関心を深めるとともに参加者同士の交流を図る。	栄養士3名、ファシリ2名、	11月	1	小学生と保護者	10	1		○		○	○			○	○	○	○		
浦和	仲本	2110	親と子の居場所 仲本サロン	(子育てサロン)親子及び参加者同士の交流。読み聞かせ、工作(学びのネットワークSDGs)、離乳食教室など	よい本を読む会、官足法指導者、保健センター、栄養士	通年	10	3歳までの乳幼児と保護者	160	1		○					○						○
浦和	仲本	1100	ハーブ講座～クッキングハーブソルト作り～	暮らしに役立つハーブについて学び、お料理に便利なクッキングハーブソルトを作る。	ハーブインストラクター	6月	1	どなたでも	16	1			○		○						○	○	○
浦和	仲本	2521	夏の親子料理～親子で惣菜パン作りに挑戦～	親子で料理づくりを通して食育への関心を高め、生活リズムについて考える機会とする。	栄養士、助手(1名)	7月	1	小学生とその保護者	10	1	○	○		○				○	○	○	○		
浦和	針ヶ谷	2520	針ヶ谷サマースクール 針ヶ谷パティスリー(1年～3年生)	料理体験をしながら食に対する興味・関心を促す。	料理講師	7月	1	小学1～3年生	8	1	○	○		○				○					
浦和	針ヶ谷	2520	針ヶ谷サマースクール 針ヶ谷パティスリー(4年～6年生)	料理体験をしながら食に対する興味・関心を促す。	料理講師	8月	1	小学4～6年生	8	1	○	○		○				○					
浦和	針ヶ谷	2520	針ヶ谷サマースクール 針ヶ谷ベーカリー(1年～3年生)	食事についての興味・関心を促す。	料理研究家	8月	1	小学1～3年生	8	1	○	○		○				○					○
浦和	針ヶ谷	2520	針ヶ谷サマースクール 針ヶ谷ベーカリー(4年～6年生)	食事についての興味・関心を促す。	料理研究家	8月	1	小学4～6年生	8	1	○	○		○				○					○
浦和	本太	1010	公民館介護予防事業／コスモス学院・本太(前期)(明治安田生命との連携事業)	高齢者の交流、生きがい、学び合いの講座。	国立科学博物館名誉研究員・歴史紀行作家・音楽療法士等	5月～9月	8	65歳以上の方	400	1			○										○
浦和	本太	1010	公民館介護予防事業／コスモス学院・本太(後期)	高齢者の交流、生きがい、学び合いの講座。	落語家・放送大学非常勤講師・文学講師等	11月～3月	8	65歳以上の方	400	1			○										○

令和5年度 公民館事業計画書

件数total		総回数		総見込延数		食育総回数		食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)																
190		402		9710		198		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続						
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	見込延数	食育	さい	い	た	ま	し	協働	乳幼児期		学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	
浦和	本太	1600	園芸講座／オクラを育てよう！	オクラの育て方を学び、プランターにオクラを植えて育てる。	見沼グリーンセンター 農業技師	5月	1	18歳以上の方	14	1			○								○	○	○	○
浦和	本太	1100	春のハーブの使い方(仮)	お料理から薬用まで生活に役立つハーブの基礎知識を学び、ハーブ工作を行う。	ハーブインストラクター	6月	1	18歳以上の方	14	1			○								○	○	○	
浦和	本太	2500	親子公民館	学校が休みの土曜日に親子で工作・華道・料理などの体験を通し、楽しい時間を過ごす。	ぶんぶん文庫 実技指導者	7月～3月	5	浦和区在住の小学生と保護者	90	1		○			○			○		○				
浦和	仲町	1010	公民館介護予防事業／ひまわり学級1学期	高齢者の交流、生きがい、学びあいの講座	学芸員、健康運動指導士、音楽家 等	5月～7月	10	65歳以上の方	400	1			○											○
浦和	仲町	1010	公民館介護予防事業／ひまわり学級2学期	高齢者の交流、生きがい、学びあいの講座	国立天文台名誉教授、音楽家 等	9月～12月	10	65歳以上の方	400	1			○											○
浦和	仲町	1010	公民館介護予防事業／ひまわり学級3学期	高齢者の交流、生きがい、学びあいの講座	文書館職員、大正琴奏者、アコーディオン奏者 等	1月～3月	9	65歳以上の方	360	1			○											○
浦和	仲町	1100	そば打ち講座	そば打ちを通して、地域住民の交流を図る	そば打ち指導者	12月	1	どなたでも	15	1					○					○	○	○	○	
浦和	常盤	1010	公民館介護予防事業／高齢者学級「ときわ塾」	古典文学講座、時事講座、講談等を通して高齢者の生きがい創出を図る。※入権予算10,000円	文学講師、講談師等	6月～11月	10	65歳以上の方	400	1			○											○
浦和	常盤	2520	サマースクール「アイシングクッキー」	アイシングクッキーづくり	アイシングクッキー認定講師	7月	1	小学生	12	1		○						○						
浦和	常盤	1100	「コーヒーの淹れ方をプロから学ぼう」	おいしいコーヒーの淹れ方を学ぶ。	インストラクター(コーヒー店長)	12月	1	どなたでも	15	1		○												○
浦和	北浦和	1010	公民館介護予防事業／友遊塾(前期)	健やかに生きるための生きがいと健康づくり、仲間づくりのための学習。	歴史紀行作家、秘境添乗員 他	6月～7月	6	65歳以上の方	100	1			○	○	○									○
浦和	南筈	1100	味噌づくり講習会	栄養豊富な大豆発酵食品「味噌」を基本の配合を学び手作りする	味噌製造会社	12月	1	どなたでも	10	1		○	○	○	○									○
浦和	南筈	1100	スローライフ講座／手打ち蕎麦づくり教室	蕎麦粉から蕎麦に仕上げるまでを学ぶ	地域蕎麦打ち愛好会	12月	1	どなたでも	10	1		○	○	○	○	○								○
浦和	南筈	1100	珈琲講座	珈琲の淹れ方を基礎から学ぶ	珈琲店店主	2月	1	どなたでも	10	1		○	○	○	○	○								○

令和5年度 公民館事業計画書

件数total		総回数		見込延数		食育総回数		食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)																	
190		402		9710		198		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続							
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	見込延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期		学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		
南	文蔵	1100	大人の食育講座	健康で長生きするために栄養バランスの取れた食事を作って学ぶ講座。地元飲食店に協力いた	地元飲食店	2月	1	どなたでも	12	1					○	○					○	○	○	○	
南	南浦和	1020	ふれあい会食	70歳以上でひとり住まいの方を対象に会食を実施する。	食生活改善推進員	5月～3月	8	70歳以上	160	8	○		○		○									○	○
南	南浦和	1100	元気な家族の食育講座①	あらゆる年代のテーマに沿った調理実習を行う。	食生活改善推進員	6月	1	18歳以上	16	1	○			○								○	○	○	○
南	南浦和	1100	元気な家族の食育講座②	あらゆる年代のテーマに沿った調理実習を行う。	食生活改善推進員	2月	1	18歳以上	16	1	○			○								○	○	○	○
南	南浦和	1100	男性料理教室	男性向けの料理教室を実施する。	料理指導者	2月	1	18歳以上の男性	12	1	○	○										○	○	○	○
南	谷田	1010	生きがい健康づくり教室 介護予防事業 さくら塾(前期)	高齢者の生きがいづくり・仲間づくり・健康づくりの機会を提供する。	レクリエーション指導者、歴史研究家、映像研究家、他	5月～9月	10	65歳以上	360	2				○	○									○	
南	谷田	1010	生きがい健康づくり教室 介護予防事業 さくら塾(後期)	高齢者の生きがいづくり・仲間づくり・健康づくりの機会を提供する。	レクリエーション指導者、歴史研究家、映像研究家、他	9月～12月	10	65歳以上	360	1				○	○									○	
南	六辻	1010	介護予防事業 生きがい健康づくり教室 六辻学級・前期	介護予防普及啓発事業で地域の歴史、高齢者の栄養、健康等について学ぶ	栄養師、元学校長、歴史研究家等	5月～7月	6	65歳以上の方	120	1	○	○	○	○										○	
南	西浦和	1010	介護予防事業 わかば学級(後期)	シニア世代が、健康で楽しく生活するために役立つことを学び、地域の仲間作りをする。	趣味・食育等の指導者、歴史研究者家、演奏家 等	6月	4	65歳以上	120	1	○	○	○	○	○	○								○	
南	別所	1010	介護予防事業 生きがい健康づくり教室 「一本杉学級」	介護予防の学習の場、地域住民の交流の場、仲間づくりの場の提供を行う。」	趣味・実技指導者	5月～1月	9	65歳以上	216	1				○										○	
南	別所	2520	夏休み子ども公民館 「おなか元気教室」	正しい食習慣・生活習慣について学ぶ講座。(食育関連事業)	民間企業	8月	1	小学生(全学年)	16	1	○	○	○					○							
南	東浦和	1010	【介護予防事業】 さわやか学級(前期)	介護予防普及啓発事業で、生活教養・健康ふれあいつくり、食育、障害者スポーツなどを学ぶ。	教養健康指導者、生活講座講師、音楽家 等	5月～6月	6	65歳以上の方	210	1	○	○	○	○	○									○	
南	東浦和	1010	【介護予防事業】 さわやか学級(後期)	介護予防普及啓発事業で、生活教養・健康ふれあいつくり、食育、などを学ぶ。	教養健康指導者、生活講座講師、講師 等	1月～3月	6	65歳以上の方	210	1	○	○	○	○	○									○	○
南	善前	1010	介護予防事業／オーブ学園【第2期】	歴史や数字や漢字講座など、新分野新知識を学ぶことをテーマにした教室	数学教育家 他	9月～12月	8	65歳以上	200	1				○										○	○

令和5年度 公民館事業計画書

件数total		総回数		総見込延数		食育総回数		食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)																
190		402		9710		198		←1つ以上に「○」→							←1つ以上に「○」→							継続		
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	見込延数	食育	さい	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期	
南	善前	1010	介護予防事業／夏野菜でキムチをつくらう	シニア世代を対象とした、夏野菜でキムチを作る講座。	趣味・実技指導者	2月	1	65歳以上	12	1		○			○								○	○
南	善前	1010	介護予防事業／味噌づくり(仮)	シニア世代を対象に、味噌づくりを体験する講座。	趣味・実技指導者	1月～2月	2	65歳以上	24	1		○			○								○	
南	善前	2520	夏休み子ども公民館⑩／茶道をたしなもう！	茶道を通して日本の伝統文化わび、さびについて学ぶ講座。	茶道サークル	8月	1	公民館地域在住の小学生	15	1		○		○		○								○
南	善前	1100	そば打ち教室	そば打ちを通して日本の伝統的な食について学ぶ講座。	市民団体	12月	2	さいたま市に在住・在勤・在学の20歳以上	10	1		○				○			○	○	○	○	○	○
緑	大古里	2520	夏休みわくわくスクール親子で本格イタリアン	プロのシェフに簡単でおいしいイタリア料理を学ぶ。	イタリア料理店シェフ	8月	1	公民館地域在住の小学生と保護者	15	1		○			○	○		○					○	○
緑	大古里	1000	【親の学習事業】親子でクッキーを作ろう	バレンタインデーに合わせてチョコレートを使ったクッキーをつくる。	美術指導者	2月	1	公民館地域在住の小学生と保護者	16	1		○						○						
緑	大古里	5000	本格イタリアンの挑戦！	プロのシェフに簡単でおいしいイタリア料理を学ぶ。	イタリア料理店シェフ	2月	1	成人	15	1		○				○					○			
緑	三室	2520	夏休み子ども公民館 手作りパン教室	夏休みを利用した小学生が対象の体験活動として、イースト菌などを使って、パン作りを体験します。	三室公民館パン教室講師	7月	1	三室地区在住の小学生	12	1		○				○								○
緑	三室	2520	夏休み子ども公民館 料理教室	夏休みを利用した小学生が対象の体験活動として、料理作り(主食、主菜など)を体験します。	三室ヘルスマイト	8月	1	三室地区在住の小学生	18	1	○	○				○		○						○
緑	三室	5000	SDGs展示	Saitama Sunday Soup(サイタマ サンデー スープ)について展示を行う。	三室公民館職員	11月	1	どなたでも	200	1					○							○	○	○
緑	三室	5000	手作り味噌講座	手作りのおいしい味噌の作り方を学ぶ。	日本デコuzzi協会認定デコ巻きずしマイスター	1月	1	成人	12	1					○							○		
緑	尾間木	1000	親の学習事業① 「親子でアイシングクッキー作り」	クッキー作りを通して親子の交流を図る。また、おやつと栄養の観点から食育について学ぶ	アイシングクッキー作り指導者	7月	1	小学生と保護者	16	1		○		○	○			○				○	○	
緑	尾間木	1010	介護予防事業生きがい健康づくり教室／和菓子作り教室	季節の和菓子作りを学ぶ	和菓子作り指導者	7月	1	65歳以上	12	1		○			○								○	
緑	尾間木	1100	珈琲の淹れ方講座	美味しい珈琲の淹れ方のコツを学ぶ	珈琲豆販売店店主	1月	1	成人	12	1		○	○			○						○	○	○



令和5年度 公民館事業計画書

件数total		総回数		総見込延数		食育総回数		食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)																
190		402		9710		198		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					継続						
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	見込延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期		学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	
緑	尾間木	1100	男性料理教室	食育について学びながら、料理を楽しむ男性対象の料理教室	料理指導者(仮)	11月(仮)	1	成人男性	12	1	○	○		○							○	○	○	○
緑	尾間木	1100	行事食を作ろう～ひなまつり～	ひな祭りにあわせて、美味しい料理を作る	尾間木ヘルスマイト	2月	1	成人	12	1		○	○	○	○	○					○	○	○	
緑	尾間木	2520	夏休み子ども公民館「楽しいクッキング」	異学年で交流しながら、料理作りを体験する	尾間木ヘルスマイト	8月	1	小学生	12	1	○	○		○		○								
緑	原山	1010	原山はつらつ大学	講話・講演等の学習を通して、生きがいづくりや仲間づくりを図る。	歴史研究家 講師等	9月～2月	9	65歳以上	180	1					○									○
緑	美園	5000	畑であそぼ！①春のたけのこ掘り	地元農家と連携し、親子で農作業を体験し、季節の収穫物を味わうことで、農と食への感謝と関	農家	6月	1	幼児・小学生と保護者	40	1		○		○	○	○	○	○						○
緑	美園	5000	畑であそぼ！②夏のじゃがいも掘り	地元農家と連携し、親子で農作業を体験し、季節の収穫物を味わうことで、農と食への感謝と関	農家	6月	1	幼児・小学生と保護者	50	1		○		○	○	○	○	○						○
緑	美園	5000	畑であそぼ！③秋のさといも掘り	地元農家と連携し、親子で農作業を体験し、季節の収穫物を味わうことで、農と食への感謝と関	農家	11月	1	幼児・小学生と保護者	50	1		○		○	○	○	○	○						○
緑	美園	5000	畑であそぼ！④冬のもちつき	地元農家と連携し、親子で農作業を体験し、季節の収穫物を味わうことで、農と食への感謝と関	農家	12月	1	幼児・小学生と保護者	50	1		○		○	○	○	○	○						○
緑	美園	2520	夏休み子ども公民館料理講座	簡単パン作りを体験する	おうちパンマスター	8月	1	小学3～6年生	12	1		○						○						
岩槻	岩槻本丸	1000	親の学習事業Ⅰ 親子で恵方巻をつくろう	親子で恵方巻づくりを体験し、家族間の交流を図る。	料理研究家	2月	1	小学生と保護者	8	1		○		○	○			○						
岩槻	岩槻本丸	1100	美味しい味噌づくり講座	手作りの美味しいみそを作る。	公民館職員	2月	1	成人	10	1		○		○	○									
岩槻	岩槻本町	1100	季節の料理教室①(仮)	食育のため旬の食材を使った料理を学ぶ。	料理研究家	5月	1	成人	12	1	○	○	○	○	○						○	○	○	○
岩槻	岩槻本町	1100	季節の料理教室②(仮)	食育のため旬の食材を使った料理を学ぶ。	料理研究家	12月	1	成人	12	1	○	○	○	○	○						○	○	○	○
岩槻	岩槻本町	1300	初心者向け手打ちそば教室	伝統的に伝わる手打ちそばの作り方を学ぶ。	手打ちそば講師	12月	1	成人	5	1		○	○		○									



令和5年度 公民館事業計画書

件数total		総回数		見込延数		食育総回数		食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)															
190		402		9710		198		←1つ以上に「○」→							←1つ以上に「○」→							継続	
区	公民館名	事業種別コード	事業名	内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	見込延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期
岩槻	岩槻本町	2500	親子洋菓子教室	親子でバレンタインのお菓子作りを楽しむ。	製菓研究家	2月	1	小学生と保護者	16	1		○	○					○		○			
岩槻	岩槻南部	1000	親の学習事業②「親子クッキング」	親子で料理を楽しみ、親の学習では子育てについての意見交換を行う。	管理栄養士	12月	1	2歳～未就園児とその保護者	20	1	○	○					○						○
岩槻	岩槻北部	1300	郷土料理教室	太巻き飾り寿司(干支(龍))を学ぶ	料理研究家、助手	1月	1	成人の方	8	1		○								○	○	○	
岩槻	岩槻北部	1100	そば打ち教室	そば打ちの基礎を学ぶ。	そば打ち講師、助手	2月	1	成人の方	8	1		○								○	○	○	
岩槻	岩槻北部	1100	料理教室	味噌作りを学ぶ。	料理研究家	2月	1	成人の方	8	1		○			○					○	○	○	
岩槻	岩槻北部	1100	お菓子工房	ロールケーキ作りを学ぶ	料理研究家	3月	1	成人の方	8	1		○	○		○					○	○	○	
岩槻	岩槻北部	1100	薬膳料理教室	薬膳の知識と薬膳料理を学ぶ	料理研究家、助手	11月	1	成人の方	8	1													
岩槻	岩槻城址	1010	生きがい健康づくり教室「白鶴学級Ⅰ」	介護予防を目的とした様々な学習講座を実施します。	ピラティス指導者 食育指導者 等	6月～7月	8	65歳以上の方	140	1	○		○	○	○								○
岩槻	岩槻城址	1010	生きがい健康づくり教室「白鶴学級Ⅱ」	介護予防を目的とした様々な学習講座を実施します。【連携 明治安田生命】	健康体操指導者 企業CSR講師 等	9月～11月	8	65歳以上の方	140	1	○		○	○	○								○
岩槻	岩槻城址	1010	生きがい健康づくり教室「キムチづくり教室(仮)」	介護予防を目的として食育について理解を深めます。	料理研究家	2月	2	65歳以上の方	20	1	○		○	○	○								○
岩槻	岩槻城址	2520	夏休み子ども公民館「親子和菓子教室」	和菓子づくり体験を通じて、製菓の楽しさを学びます。	地域和菓子店	7月	1	小学生とその保護者	12	1		○	○	○	○	○		○					

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など							
		目標					5つの「食べる」						実績 (令和4年度)		成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
指扇小学校	給食週間に おける食育 の取り組み	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 870人	実施日:令和5年1月 場所:学校 内容:給食週間にあわせて ①「給食ができるまで」のビデオ放送 ②給食委員会による給食マナー等の劇、クイズ発表 ③給食集会を開き、調理員さんへの感謝の手紙贈呈	給食委員会を中心に全校で 取り組みを行うことで、給食 や食に関する理解を深め、 給食にかかわる方々への感謝 の気持ちを育むことができた。	全てテレビ放送を通しての取 組だった。児童と調理員さん との交流の場を増やしてい きたい。	
協働 —	(継続)	—	—	—	○	○	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
植水小学校	どうもこしの 皮むき	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:2年生 59人	実施日:7月8日(金) 場所:2年生教室 内容:どうもこしの皮むきを通して食の安全や食材に ついて学ぶ。	食材を触るときには手をきれ いに洗うことや、どうもこし のつくりについて学ぶことが できた。剥いたどうもこしは その日の給食として実際に 食べることで、食に関わ ることを学ぶことができた。		
協働 —	(新規)	—	—	—	○	○	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
植水小学校	給食週間	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:全学年 379人	実施日:1月23日(月)～28日(金) 場所:給食室、各学級 内容:給食委員会を主体に、残さず食べようキャンペー ン、給食クイズ、給食づくりの様子の動画の視聴、調理 員さんへの感謝の手紙を書く活動などを行った。事前に 給食朝会で給食を残さないことの大切さ、バランスよく 食べるよさなどについて講話を行った。	バランスよく食べることや残 さないことの大切さを世界の 食糧事情や食品ロスなどの 問題とからめて伝えることが できた。給食委員も自ら食の 問題について考え、伝えるこ とができて深い学びになっ た。	時期が感染症の多い時期で あるため、その対策などを考 えなくてはならなかった。	
協働 —	(新規)	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—			
泰平小学校	図書給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 677人	実施日:毎月1回 場所:各教室 内容:行事に関わる紙芝居を図書委員会が読み聞かせ をし、その行事食を食べる。	行事に関心を持ち日本の文 化を食から理解する。	テレビ放送を見ながらの食事 になってしまう。	なし
協働 —	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—			
つばさ小学 校	給食集会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:1～6年生 1回	実施日:令和5年1月26日(木) 場所:各教室 内容:給食集会	給食委員会が考えた給食ク イズや給食のマナーを取り 入れた劇を、テレビ放送し た。感染予防をしながらの給 食の食べ方について、改め て意識付けするきっかけと なった。	給食委員会の日々の活動が 制限されているなか、委員 会の活動が5年6年のクラス だけに留まってしまった。	
協働 —	(継続)	—	—	○	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
大宮北小学 校	6年生リクエ スト給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:全児童 全教職員 330人	実施日:2023年1,2月 場所:本校 内容:6年生が家庭科「くふうしよう おいしい食事」の授 業で考えた献立を提供する。	6年生が家庭科の学習を通して、1全 児童が食べることを考慮し、テーマ、 栄養バランス、彩り、盛り付け等を 考えることで、食に対する意識が高 まった。また、6年生がたてた献立と いうこともあり、食品ロスについて も意識していた。数多く献立を実施 したことで、より一層の曲に対する意 識の高まりが感じられた。	盛り付け表に表記するだけ でなく、6年生が提案した献 立ということ、さらに浸透さ せてもよかった。	
協働 —	(新規)	—	○	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など										
		目標					5つの「食べる」					実績 (令和4年度)		成果	課題											
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容																	
芝川小学校	こんだてを工夫して(家庭科)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: 6年生児童120人	実施日:11月15日、11月17日、12月2日 場所:6年生教室 内容:栄養バランスのよい献立の立て方を学ぶ。	給食の献立の立て方を栄養教諭が説明し、栄養バランスのよい食事の大切さを知ることができた。	栄養教諭とTTで授業をしたため、単発の学習となっていました。			
協働—	(継続)	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
芝川小学校	すききらいしないで、なんでもたべよう(特別活動)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: 1年生児童127人	実施日:1月16日、1月19日、2月6日、2月7日 場所:1年生教室 内容:すききらいしないでなんでも食べる態度を育成する。	給食をすききらいしないでなんでも食べられるようになった子どもが増えた。	すききらいしないでなんでも食べられるように自身で目標を決めたが、給食での実施のみだったので、家庭へつなげられるような取り組みができると良い。			
協働—	(新規)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
上小小学校	絵本読み聞かせコラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全児童・職員 590人×6回	実施日:2022年10月~2023年3月まで各月1回 場所:上小小学校 各教室・職員室 内容:絵本に登場する食材を給食に取り入れ、当日は読み聞かせをTeamsで各クラスで流す。	・絵本に出てくる料理を、実際に目で見て食べることで、児童の食と読書への関心が高まった。 ・行事食や給食に関する絵本も取り入れ、様々なことへの興味、関心が高まった。 ・コロナ禍で会食中話すことができない中、楽しく食べられた。	読み聞かせに集中しすぎて給食を食べきれない児童がみられたが、慣れてくるとペース配分もでき、しっかり食べることが出来ていた。	・楽しみにする児童が見られ、いつもより残菜も少なくなったように感じた。		
協働—	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	—						
大砂土東小学校	野菜の皮むき体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: ①1年生 特学 ②2年生 特学 定員: ①195人 ②194人	日程:①2022年4月 ②2022年7月 場所:大砂土東小学校 各教室 内容: ①グリーンピースのさやむき ②とうもろこしの皮むき					
協働—	(継続)	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—						
大砂土東小学校	図書コラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全児童 1260人	実施日:2022年10月 場所:各教室 内容:読書週間に合わせて、物語に出てくる料理を給食で再現する。図書委員の児童が集会でPRする。	給食と図書のコラボにより、喫食率と本の貸し出し率の増加につながった。	アレルギーで食べられない児童がいないメニューを選ぶことが大変である。			
協働—	(継続)	—	—	—	○	○	—	—	—	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—						
見沼小学校	世界の給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童 418人	実施日:毎月1回 場所:各教室 内容:世界各地の料理を給食で提供し、食文化理解や国際理解・関心を深める。	給食をきっかけに、その国について興味を持つ児童が増えた。 また、色々な国のことを教えるきっかけとなった。	・食べ慣れない味付けの物が多いため、子どもたちの食べやすいようにアレンジするのが難しい。 ・1食分としての組み合わせが難しい。			
協働—	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—						

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan												Do		Check		取組の様子など						
		目標 5つの「食べる」												実績 (令和4年度)		成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ							対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容									
片柳小	なかよし給食	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全児童 540人	実施日:年2回(6月、11月)※本年度は中止 場所:教室 内容:給食を異学年と食べ、一緒に楽しく食べることに より交流を図る。	異学年との交流で、それぞ れの立場で協力して活動す る態度を養うことができた。  コロナのため中止 ゆめの給食実施			
協働—	(新規)	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—						
蓮沼小学校	給食週間	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	参加人数:790名	実施日:令和4年度1月23日~27日 場所:蓮沼小学校 内容:給食委員会の発表 給食に関するビデオ視聴 給食朝会	子供和食の歴史や地域に よっての特色などを給食委 員会の児童が調べて発表し たことで、本校児童の給食に 対する興味・関心が高まっ た。 給食室の様子のビデオを視 聴することで、給食ができる までの様子や給食に携わる 人の思いや苦労を知ること ができた。	調理員への感謝の心や、給 食への興味・関心が高まった が、それが残菜率の低下に は繋がらなかったため、もっ と違う方向から残菜率につい てアプローチしていきたい。		
協働—	(新規)	—	○	○	○	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—						
大谷小学校	給食集会・ 屋のテレビ 放送	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:1~6年生 1225人	実施日:2023年1月18日(水)・23日(月)・26日(木) 場所:各教室 内容:給食クイズ、栄養士へのインタビュー、調理員へ のお礼の手紙贈呈、標語入賞者発表、リクエスト献立 の入選者発表、給食調理の様子	給食について興味、関心を もち、少しでも食べようとい う意欲を高めることができた。 食べ残しが多い料理と少な い料理を伝えることで、児童 と教職員へ嗜好状況を周知 し、指導の強化につなげる ことができた。	食事中の姿勢やはしの持ち 方、食事マナーなどに課題 が見られる。家庭とも連携 し、今後も継続して指導し ていきたい。		
協働—	(継続)	—	○	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—						
東宮下小学 校	ドリームラン チ	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: 全児童148人	実施日:1月6日(応募用紙提出〆切) 1月7日~12日(投票期間) 1月17日(結果発表) 3月16日(給食提供) 場所:各教室 内容:各児童が考えた給食を「ドリームランチ」として提 出する。各学年の代表を掲示し、投票する。選出され たものが実際の給食として提供される。	受動的に提供された給食を食 べている児童にとって、栄養バ ランスや彩り、好みの味など献 立を考える楽しさや大変さを知る良 い機会となった。高学年は家庭 科での学習と連携することで、栄 養バランスの良い食事について の理解が深まった。選出された 給食が提供されるのを楽しみに している児童の様子が見られ た。	献立を冬休みの課題として 考えてくる児童も多く、最終 的に選ばれたメニューを給食 週間中に行われる給食朝会 で発表するため、応募用紙 の提出から投票、結果発表 のスケジュールが立て込ん でいた。見直しをもって、でき る準備を先に進めておくよう にした。	・赤・黄・緑の食品をバランスよく取り入れたメ ニューにするためには、どうしたらよいかと悩 みながらメニューを考える様子が見られた。 ・自分の考えた献立が、学年の代表として掲 示されることを楽しみにしている様子が見ら れた。 ・掲示された代表作品を興味深そうに眺め、 どれを選ぶか見比べる児童の様子が見ら れた。	
協働—	(継続)	—	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—						
東宮下小学 校	給食週間	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: 全児童148人	実施日:1月16日~20日 場所:各教室 内容:昔の給食、世界の給食、セレクト給食の実施 調理員さんへの感謝状と手紙の贈呈 給食朝会(給食室探検の様子、感謝状と手紙の 贈呈、調理員さんからのメッセージ、 給食標語・ドリームランチの結果発 表)	・昔の給食や世界の給食など幅 広い食文化に触れるよい機会と なった。 ・日頃の感謝を伝え、調理員さん と交流する機会となった。 ・給食室の様子を臨場感をも って感じたり、調理員さんへの感 謝を伝えたりすることで給食へ の興味・関心を高める機会とな った。	コロナ感染症対策のため、テ レビ放送での朝会となったの で、各学級の児童の反応を 把握しづらかった。	・昔の給食や世界の給食を楽しみに献立表 を見ている児童の様子が見られた。 ・学年ごとに「好きな給食」や「食べてみたい 都道府県や国の料理」、「1~6年生の間で 食べられるようになったもの」などのテーマと 日頃の感謝を伝える手紙を丁寧に書くこと する様子が見られた。 ・健康委員会の児童が、準備から撮影本番 まで協力して取り組んでいた。	
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—						
上落合小学 校	児童の考えた給食の実 施	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:上落合小6 年生、全校児 童、教職員 875人	実施日:3月 場所:上落合小学校 内容:6年生が家庭科で学習した献立の立て方を生か し、各クラスで夢の給食献立を作成したものを、実際に 給食で提供する。	6年生が考えた献立を提供す ることにより、食に対する理 解が深まる。1~5年の児童 は、家庭科の学習に対する 期待が高まった。			
協働—	(新規)	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—						

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など							
		目標					5つの「食べる」						実績 (令和4年度)		成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
下落合小学校	図書館コラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:本校児童 約810人	実施日:2022年11月16日(水) 場所:下落合小学校 内容:牛乳と大豆を題材にして、給食でそれらの食材を提供するとともに、関係する本の紹介をした。 提供料理:彩の国納豆、豆腐と油揚げのみそ汁、牛乳	図書館に本を探しに来る児童がいた。牛乳の残食が減った。	児童が興味を持てるテーマを見つけ、献立に取り入れることは、施設設備の問題もあるのなかなか難しい。	
協働—	(継続)	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—					
土合小学校	給食週間～我が家の美味しい自慢～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全校児童 全教職員 850人	実施日:令和5年1月23日(月)～26日(金) 場所:各教室 内容:4年生～6年生の児童が冬休みに中に家庭で調理した中からおすすめの一品を紹介する。その中から選ばれた献立を3月の給食で提供する。	各家庭のおすすめレシピを実際に給食に提供することで、食に対する興味・関心を高めることができた。	各家庭のおすすめレシピを価格や調理作業などを考慮してどこまで忠実に実施できるかが難しい。	
協働—	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○	—	—	—	—					
土合小学校	行事・郷土食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全校児童 全教職員 850人	実施日:毎月1回以上 場所:各教室 内容:主な行事に合った食事や、都道府県の郷土料理を給食を通して知る。	給食と献立の紹介を記載した食メモを通して、郷土の特色や伝統的な食事を知ることができた。	郷土食については食材の調達に難しい事が多かった。	
協働—	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	○	○	—					
土合小学校	給食集会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全校児童 全教職員 850人	実施日:令和5年1月23日(月)～26日(金) 場所:土合小学校 内容:調理員さん、給食室の紹介、クイズ、調理員さんへのお手紙作成	残さず給食を食べようと心がける児童が増えた。 調理員さんに感謝の気持ちを伝える児童が増えた。	委員会の回数がかぎられているため、計画的に準備する必要がある。	
協働—	(継続)	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	○	○	—					
土合小学校	幻のキャロットケーキ～給食委員会考案～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全校児童 全教職員 850人	実施日:令和4年10月 場所:土合小学校 内容:野菜の残食が多いことから、野菜の苦手意識克服のために給食委員の皆でレシピを考案し10月の給食に提供する。	児童、職員の給食への興味関心を高めることができた。 苦手だったにんじんを食べられるようになった！という感想を多く聞くことができた。	給食室で試作してから実施したので調理員さんとの連携、試作の準備等に時間を要する。	
協働—	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○	—	—	—	—					
大久保小学校	栽培収穫体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:1年生、特別支援学級、6年生 (全校児童) 71人 (210人)	実施日:令和4年 場所:学校ファーム、教室 内容:さつまいも、五関菜の生産体験 収穫物の給食使用	食材について興味・関心が高まった。 地元の野菜への理解が深った。	さつまいもは苗の事情により、栽培することができなかった。収穫時期が天候や成長状態に左右されるため、使用可能な食材の安定供給が困難。	
協働—	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—					

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など														
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和4年度)			成果	課題															
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容																		
大久保小学校	児童が考えた献立を給食として提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:6年生(全児童) 29人(210人)	実施日:令和5年1～2月 場所:6年生教室 内容:家庭科の授業で考えた献立を給食として提供する。	児童が学習を生かして献立を考えることにより、食への興味・関心が高まった。	今年度は、実際に給食にして提供することができなかった。児童の思いを給食としてどう取り入れるか、作業工程、価格、アレルギー等を考慮することが課題である。								
協働—	(新規)	—	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
栄和小学校	給食週間	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全児童 880人	実施日:11月中旬～1月上旬 場所:学校 内容:1年生:好きな食べ物を絵で描く。 2年生:好きな給食を絵で描く。 3年生:給食調理員さんへ感謝の手紙を書く。 4年生:埼玉県の野菜調べ 5年生:給食標語 6年生:オリジナル献立作り	それぞれの学年で学習した内容を生かしながら、取り組むことができた。	全校児童に取り組んだ内容が伝わるような発表(掲示)の方法を検討する必要がある。								
協働—	(継続)	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
栄和小学校	栄和小お箸の日	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全児童 880人	実施日:毎月1回 場所:学校 内容:お箸のマナーを学習しながら、給食を食べる。毎月、橋のマナーについての手紙を学級に配付する。	毎月、意識してお箸を使うことで、少しずつマナーを知ることができた。一部の児童は、正しい箸の使い方を身につけることができた。	1度では、身につかない内容も多いので、繰り返し取り組んでいく必要がある。1年間実施しても、正しく箸を使えない児童がいるので、より身につく方法を考える必要がある。								
協働—	(新規)	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
神田小学校	夏休み親子料理コンテスト	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全児童	実施日:8月 場所:各家庭 内容:夏休みの宿題として各家庭で1食分の献立を考え、親子で料理をする。2学期以降の給食の献立としていきょうする。	1食分の献立を考えることで、食事への興味・関心が高まり、栄養のバランスや旬の食材について考える機会になった。また、実際に給食として提供することで、全体の食への関心が高まった。									
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	—	○	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中島小学校	おはなし給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 全校児童および 全教職員 520人	実施日:毎月末1回 場所:図書室またはテレビ放送 内容:図書司書が紹介する本に登場する料理や食材を使った献立を給食で提供する。	図書室では給食の話題が増え、給食時には図書の話が増えるなど、食と図書両方の関心の高まりがみられた。	加工品に頼る料理もあり、単価が高くなる傾向にある。料理名でどんな料理か想像できないものはアレルギー児童が献立名でアレルギーが入っている料理かどうか判別しにくい。								
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中島小学校	1食分の献立を考えよう!(家庭科)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:6年生 実施回数:13回 参加人数:81名	実施日:令和4年10月下旬～11月下旬(時数:13) 場所:6年生教室、家庭科室 内容:1食分の献立を考え、主菜のみ家庭科室で個別調理を実施した。考えた献立1食分は各家庭で調理し、学校へレポートを提出した。	・家庭で実習を行うことで、計画に工夫を加えて調理する様子が見られた。 ・実際に生活している場で調理を行うことで実践力が身についた。 ・ICTを活用することで、自分の調理を客観的に振り返ることができた。	・コロナに配慮した調理実習であったため、1つの調理台での人数制限や調理器具の共有ができないなど設備の課題があり実習時間を圧迫した。								
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—





さいたま市の食育取組状況 令和4年度

		Plan										Do		Check		取組の様子など								
担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ		実績 (令和4年度)										
		三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果		課題							
高砂小学校	絵本とのコラボ給食(ブックスランチ)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童 1065人 3回実施	実施日:令和4年11月、12月(全3回) 場所:高砂小学校 内容:学校図書館にある絵本に出てくる料理や、食材を使った料理を給食に取り入れて実施した。 ①11月「ぎょうざのひ(揚げぎょうざ)」 ②11月「ばばあちゃんのやさいもたいかい(やさいも)」 ③12月「サラダでげんき(絵本のサラダ)」	今年度は「食を通じて絵本の世界を楽しむ」ことをテーマに献立を選んだ。 普段とは違った角度から食に親しむきっかけになった。 児童は絵本への興味を高めるとともに、食への意欲を高めている様子だった。	・喫食中にテレビ放送に集中するため、限られた給食の時間の中で適した絵本の選定が必要である。 ・よりよい給食指導につながるよう、日報等を活用して事前に担任に詳しい情報提供しておく、より効果的である。	読書月間の取組として、給食の時間に教員や図書委員会の児童が読み聞かせを行った。(事前にビデオ録画し、テレビ放送にて実施)
高砂小学校	児童考案の献立の実施(わたしの考えた献立)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童 1065人 7回実施	実施日:令和5年2月、3月(全7回) 場所:高砂小学校 内容:給食週間の取組として、5・6年生が献立作成に取り組んだ。いくつかの献立を選び、3学期の給食で実施した。 ①2月「和であたたまろう給食」 ②2月「昭和レトロ給食」 ③2月「赤黄緑 栄養満点給食」 ④2月「世界へヨーロッパ給食」 ⑤3月「高砂小開校お祝い給食」 ⑥3月「頑張れ待ジャパン スタミナ給食」 ⑦3月「高砂小の思い出給食」	今年度も「食を楽しむ」ことをテーマに献立を選んだ。 児童発信の献立のため、周りの児童や下級生の興味・関心が非常に高かった。	・食材の確保、価格の設定、アレルギー対応などの条件があるため、選ばれた児童との打合せ時間が必要である。	給食週間の取組みの一つとして、1月のテレビ放送で選ばれた献立を発表した。その後、2・3月の給食で提供し、給食日より家庭にも情報提供を行った。
北浦和小学校	図書とのコラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童 800人	実施日:令和4年5月9日(月) 令和4年10月17日(月) 場所:各教室 内容:絵本「きつねうどん たぬきうどん」、「にぎやかなおでん」に出てくる料理を再現して提供した。	さわやか読書(朝)で読み聞かせしてもらった絵本に出てくる料理を実際に目で見て食べるにより、食と読書への関心が高まった。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会食中に児童同士が感想を言い合ったり、絵本の内容を話して思い出したりすることができなかった。	
北浦和小学校	児童が考えた給食の提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童 800人	実施日:令和4年3月6日(月)～8日(水) 場所:各教室 内容:6年生が家庭科の授業で考えた献立を、再現して給食として提供した。	6年生が工夫して考えた献立を実際に提供することで、給食や家庭科の学習に対する興味・関心が高まった。	作業面、価格面、アレルギーなどを考慮すると、栄養バランスのよい献立でも、実際の給食では再現が難しいものが多くあった。	
仲町小学校	1食分の献立を考えよう	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:6年生 200人	実施日:令和4年11月～令和5年3月 場所:各教室 内容:家庭科の授業の一環として、1食分の献立を作成し、給食の献立として提供する。	1食分の献立を協働で作成することで、主食・主菜・副菜など料理や栄養バランスの大切さ、全国の郷土料理などの理解が深まった。 また、地場産物への関心や給食に関係する人々への感謝の心などを育むことができた。	・児童が考えた1食分の献立を実際に給食に取り入れる過程で、給食として提供するには困難なこともあった。 ・すべての献立を給食として取り入れることは難しかった。	児童が考えた献立の給食写真 
仲町小学校	栄養バランスよい食べ方を考えよう	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:4年生 210人	実施日:令和5年2月～3月 場所:各教室 内容:特別活動の授業にて、栄養バランスの良い食事について考える。	給食が栄養バランスを考えて作られていることを知り、食への関心が高まった。また、食べ物にはそれぞれの働きがあり、バランスよく食べる必要性を理解し、取り組みへのつなげることができた。	・アレルギーがある児童などの配慮しつつ、苦手なものでも食べるという意識づけができたが、無理強ひさせることはできず、全体的な配慮が難しかった。	・給食がバランス良く作られていることが分かった。 ・栄養バランスよく食べることの大切さを理解した。 ・これからは、苦手なものでも食べるようになる。などの感想が多くみられた。

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和4年度)		成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
仲町小学校	朝食を食べる大切さ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象:3年生 220人	実施日:令和5年1月~2月 場所:各教室 内容:特別活動の授業にて、朝食を食べる大切さを知る。	朝食を食べることで授業に集中することができたり、1日の生活リズムが整うことを理解し、朝食への関心が高まった。また、バランスよく食べることの大切さを知り、食への関心を育むことができた。	・塾などで寝るのが遅くなる児童もおり、生活リズムは個々で異なることを伝えることが難しかった。 ・家庭での協力も必要であり、保護者への理解を伝えることが必要である。	・朝食をバランス良く食べることを知った。 ・朝食も主食・主菜・副菜などバランスよく食べる必要があることが分かった。 などの感想が多くみられた。
協働—	(新規)	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—		
仲町小学校	食事のマナーについて考えよう	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象2年生 210人	実施日:令和5年2月~3月 場所:各教室 内容:特別活動の授業にて、食事のマナーを守ることの大切さを知る。	食事のマナーがたくさんあり、守ることでみんなで協力し、楽しく食べることの大切さを理解することができた。また、食への関心も育むことが出来た。	・食への関心、マナーを伝える際、コロナ禍での対応と日常では異なることなどを説明するのが難しかった。 ・食事のマナーは国や文化によって違うことを配慮する必要がある。	・食事のマナーをなぜ、守らなければいけないのかを知ることができた。 ・食事のマナーを守ることで自分も相手も気持ちよくなれることが分かった。 ・食事のマナーは、健康な体を作るためにも必要であることが分かった。 などの感想が多くみられた。
協働—	(継続)	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—		
常盤北小学校	給食週間	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象: 全校児童	実施日:令和5年1月 場所:校内 内容:各学年の給食や食に関する作品づくり、掲示(標語、カルタ、絵など) ・給食委員会の児童による給食朝会や動画の視聴 ・給食調理員の教室訪問	・全校児童が給食や食に関する作品づくりに取り組み、食への関心を高められた。 ・給食委員会児童や調理員による動画を通して、学校給食への理解を深めた。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、給食調理員との会食を教室訪問に変更した。	全校児童が給食週間の食に関する作品づくりに参加し、作品を掲示した。
協働—	(継続)	—	—	○	○	○	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—		
大谷場東小学校	野菜の下処理体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象:1~3年・ 特別支援学級 309人	実施日:①5月18日②7月4日③12月15日 場所:学校 内容:①グリンピースのサヤむきとさやえんどうのすじとり②とうもろこしの皮むき③くわいの観察を実施。給食で提供をした。食育メモを通して、体験の様子を給食の時間に全生徒へと発信した。	給食で実際に使用する食材に触れ、下処理を経験することで、旬の食材や地元の農産物に対する理解が深まった。また調理を体験することで食材や食に関わる人に対する感謝の心の育成へとつながった。	天候不良により、体験の食材量が減ってしまったり、感染症の流行により、芽取りの体験が観察のみになってしまった。 ①については体験の様子を映像資料で全校に給食時間で見ることができたが、映像資料を作るには負担が大きい。	
協働—	(継続)	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—		
大谷場東小学校	給食週間にのける食育の取り組み	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象:全校児童 580人	実施日:12月・1月 場所:学校 内容:給食委員による給食室内の紹介映像や食育クイズを実施した。また、1年食育ポスター、2年調理員さんへの感謝の手紙、3年給食かるた、4年給食標語、5・6年リクエスト給食と各学年ごとの取り組みを行った。5・6年は家庭科の授業と連動し、主食・主菜・副菜をそろえたバランスの良い献立を考え、給食週間にリクエスト給食として提供した。	給食委員や各学年で取り組みを行うことで、給食や食に関する理解が深まった。5・6年生がテーマを持って考えた献立を全校生徒が食べる事で5・6年生の献立作りに対する意欲が高まり、1~4年生は感謝の気持ちを持って給食を食べることができ、残食が少なくなった。	1~4年生についても自由参加でリクエスト給食を実施したが、給食施設設備の都合で、調理できる献立には限界があった。	
協働—	(継続)	—	○	○	○	○	—	—	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—		
沼影小学校	おはなし給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳以上	対象:本校児童 実施回数:6回 参加者: 1170人(職員含)	実施日:2022年10、11月中の5日間 場所:沼影小学校 内容:学校図書館にある本に出てくる料理や食材を使った献立を実施した。	・実施日の平均残食率:4.5% ・10月の図書貸出数:3131冊 ・11月の図書貸出数:2553冊 ・おはなし給食の題材にした本を読みに来る児童が増加した。	・全員が食べられるようにアレルギー等に配慮した料理やレシピを考えることが難しい。	・図書集会では、図書委員会によるおはなし給食の題材にした絵本の児童による読み聞かせや、おはなし給食の宣伝、紹介などを行った。 ・当日の給食の関心を高めるため、献立表、盛り付け表、放送資料でおはなし給食の紹介をした。
協働—	(新規)	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—		

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和4年度)					成果	課題					
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
善前小学校	ヨーロッパ野菜の栽培	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校児童 620人	実施日:令和4年7月～令和5年1月 場所:学校ファーム 内容:ヨーロッパ野菜の栽培、収穫、給食の提供	さいたま市の特産品であるヨーロッパ野菜の栽培、収穫、給食の提供を通して、様々な食材について知り、関心をもたせることができた。	栽培、収穫をより児童が関わられるようにしていきたい。	
協働 ○	(新規)	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—					
善前小学校	給食週間	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校児童 620人	実施日:令和4年1月 場所:善前小学校 内容:学年ごとに給食標語や給食かるたの作成 栄養技師、調理員さんへ感謝の手紙の贈呈 給食委員によるヨーロッパ野菜の紹介	・給食標語や給食かるたを作成したことで、地元の食材を知ったり、栄養について考えたりすることができた。 ・給食を作ってくれる方々に日頃の感謝の気持ちを伝えることができた。 ・劇やクイズなどを通して、楽しくヨーロッパ野菜について知ることができた。	ヨーロッパ野菜への関心をさらに高めていきたい。	
協働 —	(継続)	—	○	○	—	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
向小学校	児童の考えた給食の提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 528人	実施日:2023年1月 場所:各教室 内容:6年生の家庭科の学習をいかし、給食週間の取り組みとして、大切な人に食べさせたい給食を考える。各クラスより献立を選び給食で提供する。選ばれた児童は、給食放送で自分が考えた献立の説明を行う。	食べる人のことを考えて献立作成に取り組むことができた。給食の放送にも取り組み、自分が考えた献立のおすすめしたいポイントについて説明することができた。	献立を選ぶときのポイントについて、事前に説明をする必要がある。	
協働 —	(新規)	—	○	○	○	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
辻南小学校	世界の料理	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校児童 474人	実施日:毎月1回 場所:学校 内容:世界各地の料理を給食で提供する。	色々な国の食文化を理解することにつながった。	日本では購入できない食材もあるので、本物の味ではない場合もある。	
協働 —	(新規)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—					
尾間木小学校	絵本とのコラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 全児童 1050人	実施日:令和4年10月20日 場所:各教室 内容:絵本に出てくるメニューの給食での提供と併せて、テレビ放送で図書館司書が読み聞かせを行い、児童の読書への意欲関心を高める。「ポテトむらのコロケまつり」から、ポテトコロケを給食で提供した。	絵本に出てくるメニューに直接触れることで物語をより身近に感じる事が出来た。また、読書への関心が高まった。	食物アレルギー対応	
協働 —	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—					
野田小学校	物語給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:本校児童 137人	実施日:毎月1回 場所:各教室 内容:毎月23日(さいたま市子ども読書の日)を物語給食の日とし、絵本に出てくるメニューの給食での提供と併せて、図書館司書による絵本の読み聞かせ動画をテレビ放送した。	本に出てくる料理を実際に味わうことで、食と読書への関心が高まった。		
協働 —	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—					

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan															Do			Check		取組の様子など		
		目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績（令和4年度）							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題				
中尾小学校	防災給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：中尾小学校児童 765人	実施日：令和5年3月10日 場所：中尾小学校 内容：備蓄用食料及び非常食についての学習	給食の中で、さいたま市の備蓄用食料で災害時に実際に提供される「アルファ米五目ごはん」と常温で長期間保存可能なコーヒー牛乳を献立として提供した。給食を食べながら、児童一人ひとりが非常食について学び、考えることができた。	「アルファ米五目ごはん」については、さいたま市役所防災課からの提供物であり、持続可能な取組にできるかが課題である。	
協働—	(新規)	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—				
美園北小学校	郷土料理	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：全児童 1043人	実施日：毎月1～2回 場所：美園北小学校 内容：日本各地の郷土料理を提供する。	全国各地の郷土料理を食べ、その地域について知ることができる。	献立すべてをその地域の郷土料理にすることが難しい。	
協働—	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—				
美園北小学校	児童の考えた給食の実施	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：全児童 1043人	実施日：2023. 3. 2(木)、7(火)、14(火) 場所：美園北小学校 内容：家庭科の授業で児童が考えた献立を給食で提供する。	6年生が考えた献立を提供することにより、食に対する理解が深まる。1～5年生の児童は、家庭科の学習に対する期待が高まった。	児童が考えた献立を価格や調理作業などを考慮して、どこまで忠実に実施できるかが難しい。	
協働—	(新規)	—	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—				
太田小学校	郷土料理	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：全校児童 全教職員 615人	実施日：毎月1回以上7 場所：学校 内容：日本各地の郷土料理を給食で提供する	各地の郷土料理を知り、給食を生きた教材として活用できた。	主食、主菜、副菜全てをその地域の料理で揃える事が難しい。	
協働—	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—				
太田小学校	6年生の考えた給食の提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：全校児童 全教職員 615人	実施日：令和5年度3学期 場所：学校 内容：6年生が、家庭科「くふうしようおいしい食事」で考えた献立を給食で提供する。	家庭科で学んだ5大栄養素を活用し栄養バランスの整った献立を考える事ができた。また、作る側・食べる側共に感謝の気持ちを育む事ができた。		
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—				
川通小学校	図書館コラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象：全校児童 126人	実施日：10月 場所：各教室 内容：司書の先生がお勧めする絵本の中に出てくる美味しそうなメニューの再現	絵本の中に登場するピッツアと同じ形での再現だったため、興味を持って食べてくれた。また、絵本の貸出数も増えた。	再現可能な献立か、具体的なレシピがあるかなど、司書・調理員などで協議が必要である。	図書委員会による読み聞かせ (今年は「ピッツアぼうや」の絵本です)
協働—	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—				



さいたま市の食育取組状況 令和4年度

		Plan													Do		Check		取組の様子など				
担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	目標 5つの「食べる」											実績 (令和4年度)		成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容									
		朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象: 全校児童 190人	実施日: 11月中旬～ 献立作成(6年生) 1月 給食提供 場所: 各教室 内容: 6年生が家庭科「くふうしよう おいしい食事」の授業で考えた献立の提供	授業で献立を作成することで、栄養バランスや地産地消、旬を考慮した献立作成を行うことができた。また、選ばれたグループに各クラスに配付する食育レターを書いてもらうことで、全校児童の興味関心を高めることができた。	食材の品数や食器の数等、家庭と給食での献立作成のポイントが変わってくるため、苦戦している様子が見られた。そのため、要点をしぼり、献立作成を行っていく必要があると考える。
新和小学校	児童が考えた給食の提供 (新規)	朝	食	バ	共	行	食	食	食	感	資	農	行	乳	学	青	成	壮	高	対象: 全校児童 190人	実施日: 11月中旬～ 献立作成(6年生) 1月 給食提供 場所: 各教室 内容: 6年生が家庭科「くふうしよう おいしい食事」の授業で考えた献立の提供	授業で献立を作成することで、栄養バランスや地産地消、旬を考慮した献立作成を行うことができた。また、選ばれたグループに各クラスに配付する食育レターを書いてもらうことで、全校児童の興味関心を高めることができた。	食材の品数や食器の数等、家庭と給食での献立作成のポイントが変わってくるため、苦戦している様子が見られた。そのため、要点をしぼり、献立作成を行っていく必要があると考える。
新和小学校	感謝の会、招待給食の実施 (継続)	朝	食	バ	共	行	食	食	食	感	資	農	行	乳	学	青	成	壮	高	対象: 全校児童 地域の方々 245人	実施日: 11月25日 場所: 体育館・各教室 内容: 地域の方との触れ合いを通し、感謝の気持ちを伝える。また、地域の食材を使用した給食を食べてもらう。	直接地域の方と触れ合うことで、感謝の気持ちを伝えることができた。また、野菜はすべて、地域の食材を使用し、食育レターを活用した情報発信を行った。地域の方に給食を食べていただく機会は少ないため、貴重な場となった。	直前に給食で使用する食材の変更があった。給食室の状況や食数から、柔軟に対応することはできたが、ミスにつながるため、打ち合わせをしっかりと行い、来年度に生かしていく。
河合小学校	野菜の皮むき等の体験 (新規)	朝	食	バ	共	行	食	食	食	感	資	農	行	乳	学	青	成	壮	高	対象: 0人	実施日: 場所: 内容:		
河合小学校	家庭科「1食分の献立を考えよう」 (新規)	朝	食	バ	共	行	食	食	食	感	資	農	行	乳	学	青	成	壮	高	対象: 献立・6年生26名 喫食・全校児童166名	給食提供日: 3月10日、14日、16日 場所: 河合小学校 内容: 6年生が家庭科の授業で考えた給食の献立を、給食として提供する。	給食の献立をたてることで、栄養のバランス・旬の食材・行事食・色どりなどを考え、献立作成の理解を深めることができた。また、6年生が考えた給食がでることで、他の学年の児童の給食への興味・関心が高まった。	食に係る体験をより豊かにしていくための家庭との連携。

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など								
		目標					5つの「食べる」						実績 (令和4年度)		成果	課題									
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容											
大宮西中学校	家庭科の授業と連携した食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:第2学年全生徒 152人	実施日:2学期 場所:大宮西中学校 内容:2年生の家庭科の授業の中で中学生の1日に食事の内容について学ぶ中で、給食1食分の献立を作成する。生徒が作成した献立の中から栄養士が選んだ献立を実際の給食で提供する。	献立を実際の給食に取り入れることで、生徒の給食に対する興味関心が高まり、残食減少につながった。			
協働	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
泰平中学校	つぼみの日給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校生徒・教職員 469人	実施日:2022年10月27日 場所:各教室 内容:小中一貫教育つぼみの日に、学区内2校の小学校と共通の献立を実施した。	小中学校で共通の献立を食べることで、新入生を歓迎する気持ちを高めることができた。	配布物や給食時の放送で献立の意図や生徒への思いを伝えたいが、より効果的な方法を検討したい。		
協働	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—						
土呂中学校	給食の献立を考えよう	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:中学1年生 140人	実施日:9月 場所:被服室 内容:1年生の家庭科の授業の中でゲストティーチャーとして給食を作るうえでの留意点を伝え、生徒が考えた献立から各クラス1点実際の給食に取り入れて実施した。	成長期に必要な栄養だけでなく、季節の食材、行事食、また、大量調理における安全・衛生面など多方面へ配慮して給食が作られていることを知ることができた。また、実際に自分たちの考えた献立が給食として出されることで関心が高まった。	一部の生徒は、留意点を理解しておらず、給食には不適切な料理や組み合わせを作成していた。わかりやすい留意点の示し方についての工夫が必要である。		
協働	(継続)	—	○	○	○	○	○	○	—	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—						
大宮東中学校	給食試食会及び説明会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:保護者 50人	実施日:令和4年7月 場所:教室 内容: ・子供たちに必要な栄養や、献立作成上の留意点(栄養面、衛生面、食育)を説明した。 ・実際に給食ができるまでの動画を視聴していただいた。	・給食への理解や、関心が高まった。 ・成長期に必要な栄養を満たすように食生活を見直したいという意識が高まった。			
協働	(継続)	—	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	○	—	—	—	○	○	—						
大宮東中学校	給食朝礼	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校生徒・教職員 480人	実施日:令和4年1月19日 場所:体育館 内容: ・+ひとくちキャンペーン(残菜調査)を行い、結果発表を行い、表彰をした。 ・給食室探検をし、給食室を実際に見たり、調理員さんへのインタビューをもとに、発表を行った。 ・給食ができるまでの動画を視聴した。	・給食の残菜に対する生徒の課題意識が高まった。 ・毎日残さず食べようという意欲を高めることができた。 ・食材の命や、調理員さんへの感謝の心を育むことができた。	・残さず食べようという意識を継続させること。 ・キャンペーンの取り組み日を増やすこと。 ・調理員さんへ感謝を伝える場を設定すること。		
協働	(新規)	—	—	—	○	○	○	—	—	○	—	—	○	○	○	○	○	○	—						
大宮北中学校	1年生家庭科栄養バランスの良い1日の献立作り	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:1年生 117人	実施日:2学期 場所:教室 内容:小学校で学んできた栄養について振り返り、さらに深く食品や栄養について学習し、中学生の1日に必要な栄養を賄えるような献立作成を実施した。	成長期に必要な栄養について考えることができ、好き嫌いだけでなくバランスを考えた食生活について関心を持つようになった。	意識は持つようになったが、給食を見ると、野菜や海藻などの残食率が高かった。給食と連携をとるなど、より効果的な学習方法を取り入れたい。		
協働	(継続)	○	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—						



さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ										実績 (令和4年度)		
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳		高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題			
大宮北中学校	生徒会朝礼「かぜをひかない体を食事から作るう」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校生徒 353人	実施日:1月19日 場所:教室(放送及び給食委員による指導) 内容:給食委員会主催の朝礼で、風邪予防のための食材や食生活等を紹介した。また、給食委員が考えた給食献立(栄養職員監修)を発表し2月の給食に取り入れるようにした。	冬が旬の野菜などの食材を知ることができ、風邪やインフルエンザ対策にも役立つことが理解できた。さらに、SDGsの目標と関連させ、飢餓や残菜と給食に関する考えをもたせた。	給食週間に合わせての発表なので、より給食についてのアピールをしたい。	
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
大成中学校	感謝の会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:①生徒 393人 ②中学2年生 129人	①清涼飲料水の糖度実験 実施日:6月上旬~下旬 場所:調理室 内容:家庭科の授業で全学年を対象に清涼飲料水の糖度実験を実施 ②味覚の授業 実施日:11月29日(火) 場所:2学年各教室(リモート) 内容:シェフによる四味とうまみについての講義	①清涼飲料水に含まれる砂糖の量を数字で確認し、飲み物の取り方や健康について考えるきっかけとなった。 ②砂糖や塩、だしなどを味見をして味覚と食事との関係を理解することができた。また、食生活に対する意識が高まった。	①清涼飲料水だけでなく、間食のとりかたまで内容を深めることで、生徒の実生活への改善につながっていくと感じられた。 ②次年度は、シェフ給食を同時に実施する予定	
協働—	(継続)	○	○	○	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
七里中学校	防災備蓄米体験学習	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校生徒 職員保護者 295人	実施日:2022年6月29日(水)、2023年1月16日(月) 場所:七里中学校 内容:さいたま市の防災備蓄米(アルファ化米)の作り方を知らずとも、食品の衛生的な扱いを学ぶ。試食会時に、保護者を対象に栄養士が作成のデモンストレーションを行った。	作り方を学ぶことができた。2、3年生は1年前の復習ができた。避難訓練同様、定期的に行うと思いつけるようになった。	1昨年の記憶は薄れるようである、定期的には実施することは大切。	
協働—	(新規)	—	—	—	○	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
七里中学校	給食委員会によるキャンペーン活動	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校生徒 職員 1回 約275人	実施日:2022年5月30日(月)~6月3日(金) 場所:七里中学校 内容:1日1メニュー、調べるものを決めて調査。どの料理かは当日食べた後に発表。	日ごろからあまり食べないワラスが、頑張っって食べようとする努力が見られ、残食が減った。	キャンペーンが終わった後、残食が増えてしまう。	給食委員の生徒が、呼びかけをしよく活動した。
協働—	(新規)	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—				
七里中学校	図書コラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校生徒 職員 約275人	実施日:2023年1月24日~2023年1月30日 場所:七里中学校 内容:図書委員が本からメニューを選択、その中から給食委員が選択し給食に取り入れ実施。	生徒の好みの料理が選択されるため、人気の行事となった。	興味を持ってもらえることはとても良いが、献立に偏りができることと、予算的に厳しい。	
協働—	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
春野中学校	絵本とのコラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校生徒 560人	実施日:令和5年1月 場所:春野中学校 内容:生徒の給食委員会、図書委員会、放送委員会がコラボ企画をし、実施した。学校図書館にある絵本に出てくる料理や、食材を使った料理を給食に取り入れて実施した。また、放送委員が、給食時に読み聞かせを行った。 メニュー『土佐日記』より、まがりメニュー『ぼんちカレーライス』より、カレーライス	本校生徒が興味関心のある絵本を活用して、給食の時間に放送委員会の生徒が読み聞かせを行った。普段とは違った角度から食に親しむきっかけになった。生徒も懐かしんで食べることができ、食への興味関心が高まった。	より多くの本や絵本から、献立を作成し、来年度へも繋げていきたい。	『土佐日記』からのメニュー「まがり」については、砂糖の使用量が少ないため、素朴な甘さの固めのお菓子であった。生徒にとっては新鮮だったようである。
協働—	(継続)	—	—	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など									
		目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ		実績 (令和4年度)											
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳		高齢期 65歳以上	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題				
春野中学校	食育新聞(郷土料理調べ)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校生徒 560人	実施日:令和4年6月 場所:春野中学校 内容:日本各地の郷土料理を給食で提供するため、調べ学習を行った。新聞を作成し、生徒昇降口に掲示し、その県の食文化の紹介や料理の説明をした。	各地の郷土料理を味だけでなく、写真やイラストを取り入れることで、視覚的に伝えることができた。	生徒が調べたことに対して、いかにアレンジして給食を提供することができるか検討が必要である。	まとめた資料を生徒昇降口に掲示し、多くの生徒の目にふれることができた。来校した保護者も楽しんで読んでくれた。	
協働	(継続)	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
与野西中学校	食育講演会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校生徒、 教職員 定員:650人	日程:2021年5月10日(月) 場所:本校アリーナ 内容:「あこがれのスポーツ選手に学ぶ食生活」 元JOCオリンピック強化スタッフ 川端 理香氏	成長期における食事のとり方や、スポーツ選手の食事のとり方などを通じて、運動部の生徒がたべ	短期的な改善がみられても、長期的に意識付けする必要があると感じた。給食の献立ももっと絡めていけると効果が出ると感じる。Zoomを使ったオンライン配信だったため、時間に限りがあった。	真剣にメモを取る生徒が多くみられ、運動部の生徒以外にも食生活を改善しようという意欲が見られた。	
協働	(継続)	○	○	○										○	○	○	○	○	○						
八王子中学校	家庭科の授業と連携した食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:中学1年生 139人	実施日:2学期 場所:家庭科調理室 内容:1年生の家庭科の授業において、中学生の1日分の食事内容について学ぶ中で、給食1食分の献立を作成する。生徒が作成した献立を、実際に給食で提供する。	中学生の1日分の食事内容について学んだ上で、各自テーマを決めて、献立を作成することができた。生徒が考えた献立を給食で提供することで、1年生だけでなく、他学年も学んだことを復習しながら、給食を食べることができた。	学ぶだけでなく、自己管理能力が高まるよう、家庭とも連携していきたい。	各自テーマを決め、給食の献立を作成することができた。実際に提供した給食は、新しいメニューが多かったが、バランスも良く、おいしかったため、定番化しそうな献立ばかりだった。普段食べている給食のメニューを考えるということで、生徒も積極的に考え、献立を作成している様子が見られた。	
協働	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—						
八王子中学校	つぼみの日給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校生徒・ 教職員 500人	実施日:令和4年10月27日(木) 場所:各教室 内容:つぼみの日に、共通の献立を考え、学区の小学校と共通の献立を提供し、小中一貫の食育を行った。	小中学校で共通の献立を食べることで、給食を通して新入生を歓迎する気持ちを高めることができた。	小中学校で連携し合い、つぼみの日の給食を実施することができた。今年度からの実施なので、継続していけるよう、連絡を密にとっていきたい。	つぼみの日に小中学校で共通の献立を食べることで、給食を楽しみにしている生徒も多く、給食を通して新入生を迎えようという意欲がさらに高まったように感じられた。	
協働	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—						
八王子中学校	おはなし給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校生徒・ 教職員 500人	実施日:令和4年10月～11月 場所:各教室 内容:本校の「読書まつり」に合わせて、図書委員より応募があった、本に出てくる料理を給食に取り入れ提供した。お便りや放送等で、本やおはなし給食について伝え、実施した。	本に出てくる料理を給食に取り入れることで、通常の給食とは違った角度から食に関わる機会となった。給食を通して、本や食への興味・関心を高めることができた。	図書委員や教職員と協力し合いながら、生徒の興味・関心が高まるような献立を作成し、より効果的なおはなし給食を実施したい。	本校の読書まつりに合わせて、おはなし給食を実施したことで、興味・関心をもち、楽しみにしている生徒が多かった。本の世界を給食を通して味わい、より本や食への興味・関心が高まる良い機会となった。	
協働	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—						
常盤中学校	家庭科の授業と連携した食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:第1学年全 生徒 320人	実施日:2学期、3学期 場所:常盤中学校 内容:家庭科の学習で、中学生の1日の食事を学び、そのうちの昼食1食分として学校給食の献立を作成した。生徒が作成した献立の中から、各クラス代表者1名の給食を3学期の給食で提供した。	自分達が作成した献立が給食に採用されるかもしれない期待から家庭科の学習意欲が高まり、さらに給食への興味関心も高まった。			
協働	(継続)	—	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	—	—	—						

さいたま市の食育取組状況 令和4年度


担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do			Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和4年度)						成果	課題					
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容											
常盤中学校	学校給食を通じた食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 全校生徒	実施日: 2学期、3学期 場所: 常盤中学校 内容: 給食の時間の全校放送を通して、当日の献立に使用した地場産物の紹介や季節の行事、給食室での調理の様子、栄養などについて伝えた。	給食を通して、食と健康や環境とのかわりを学ぶ機会になった。食材の生産者や給食の調理員さんへの感謝の気持ちが高まった。			
協働 —	(継続)	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—					
常盤中学校	郷土料理、世界の料理	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 全校生徒	実施日: 毎月19日(食育の日) 場所: 常盤中学校 内容: 食育の日に「世界の料理」または「郷土料理」を給食で提供し、その地域や料理の背景を紹介する。	郷土料理や世界の料理について、教科書や本で学ぶだけでなく、見た目や香りなどの点でも学ぶことができた。それが、2年生の家庭科で郷土料理の学習をする際に具体的に料理をイメージすることにつながり、学習への興味・関心が高まった。	食材や料理によって、給食では提供が難しいものがある。		
協働 —	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—					
浦和中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 3年生生徒 保護者 43人	実施日: 2022年12月12(火)・13日(水) 場所: 浦和中学校 内容: コロナ禍なので3年生の保護者のみを対象に給食試食会を行い、中学生の1日に必要な食事の内容について体験する。	給食の内容や栄養量への理解が深まった。地産地消への関心を高めた。薄味の良さに気がついた。	3年生保護者のみの対象で行ったので、次年度は全校生徒保護者を対象にした取り組みとしたい。		保護者の感想や試食会の様子を給食だよりで全校に配付した。
協働 ○	(継続)	—	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—					
浦和中学校	家庭科の授業と連携した食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 第1学年全 生徒 80人	実施日: 2022年7月・9月・1月 場所: 浦和中学校 内容: 1年生の家庭科の授業の中で中学生の1日に必要な食事の内容について学び、給食1食分の献立を作成する。生徒が作成した献立の中から学級で給食コンクールで選んだ献立を実際の給食で提供する。栄養教諭の意見も参考とする。	成長期に必要な栄養の特色を知ることで、給食の献立に多く取り入れられている食品の必要性について理解を深めることができた。また、作成した献立を実際の給食に取り入れることで、生徒の食に対する興味関心が高まった。	生徒がテーマに沿って考え作成した献立について、調理作業内容とのバランスを考えながら給食献立に反映させることができたが、主食の量については献立作成時と喫食時のつながりを深める必要がある。		1月の給食週間に実施し、給食だより、HPにて紹介した。(写真は1日分)
協働	(継続)	○	○	○	○	○	—	—	—	○	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—					
岸中学校	世界味めぐり	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 全校児童 全教職員 680人	実施日: 毎月1回 場所: 学校 内容: 世界各地の料理を給食で提供する。昼のテレビ放送では、給食委員会の生徒と栄養教諭がその国の食文化の紹介や料理の説明をする。	各国の文化について興味を持つようになり、毎月の実施する日を楽しみにするようになった。世界の料理を味だけでなく、見た目や香りなどからも知ることができた。	食べ慣れない味や、香辛料の臭いが苦手な生徒もいるので、本場の味に近づけることが難しい。		
協働	(継続)				○							○	○												
岸中学校	郷土料理	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 全校児童 全教職員 680人	実施日: 毎月1回 場所: 学校 内容: 日本各地の郷土料理を給食で提供する。昼のテレビ放送では、給食委員会の生徒と栄養教諭がその県の食文化の紹介や料理の説明をする。	各地の文化に興味を持つようになり、毎月の実施する日を楽しみにするようになった。郷土料理を味だけでなく、見た目や香りなどからも知ることができた。	手に入りにくい食材や作業的に無理な料理がある。		
協働	(継続)				○							○	○												

さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和4年度)				成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容												
岸中学校	生徒委員会とのコラボ給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 全校児童 全教職員 680人	実施日: ①4月 ②11月 場所: 各教室 内容: ①図書委員が選んで考えた本の中の料理を、給食で再現し、各クラスで読み聞かせをした。献立は「ぐりとぐら」からカステラを実施した。②図書委員と給食委員がTV放送で音読と献立説明をした。献立は「精霊の森」から「鶏飯」「山菜鍋」「トッコ」を実施した。	本に登場する料理を食べることにより、食と読書への関心が高まり、図書室の利用率も高くなった。残食も少なかった。	生徒中心に行うため、計画的に取り組まない献立や発注が間に合わない。		
協働 —	(新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
大谷場中学校	①シェフ給食 ②③授業や委員会と連携した食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 全校児童 全教職員 651人	実施日: ①10月18日(火) ②1月13日(金) ③献立紹介(給食時の放送) 場所: 各教室 内容: ①ホテルシェフが考えた本格的フランス料理を、給食で再現し、各クラスで食した。献立はフランス料理フルコースを想像させる肉料理とスープで実施した。②2年生の社会科授業で東北地方の特産物を生かした献立作りに取り組み生徒が作成した献立の中から選ばれたものを給食で作って、全校生徒で食した。献立は生徒の考えた「福島県の食卓・愛情給食」を実施した。③給食・放送委員会や栄養士による給食献立の紹介	①本格コース料理を食べることで、献立、味付けや料理方法への興味関心も高くなった。 ②社会科の学習からのアプローチによって地域の特産物への興味関心や理解を深めることができ、全校で残食が減った。 ③給食紹介で生徒の給食や食材への関心が高まった。	①生徒が本格的な料理や調理方法を知らず、食べ方や味付けに戸惑いが出て完食出来なかったものもいたため、生徒の年齢に合った献立を考えられれば良かった。 ②学習の時期を考え計画的に取り組まない献立の給食実施が困難となる。	R4年度 ①献立内容 主菜: ツイストパン 主菜: 鶏肉のトマト煮カスレ風汁物: 秋のキノコのポターージュ ②福島県の食卓・献立 主菜: わっぱめし風 主菜: みそかんぶら 副菜: いかにんじん汁物: こづゆ デザート 桃ゼリー ③給食時の放送委員会による献立説明と紹介	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
内谷中学校	TTによる食育授業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 2年生1回 3年生1回 特別支援学級1回	<2年生> 実施日: 11月～12月 場所: 内谷中学校 内容: 家庭科/フランスのとれた1日の食事作りの単元で、内谷中学校の給食メニューを作る。各クラス1～2名の献立を選び、2～3月の給食で提供した。 <3年生> 実施日: 12月 場所: 内谷中学校 内容: 総合的な学習の時間で「食育」を扱い、和食文化や食品ロスやSDGsについての授業を実施した。 <特別支援学級> 実施日: 12月15日(水) 場所: 内谷中学校 内容: 給食で提供する「くわいり」についての説明を行い、くわいの芽と里を実施した。	・自分が考えた献立が実際に提供されると、本人も含め学級学年も残さず食べることができる。 ・授業を行ったことで、SDGsへの関心意欲が高まった。 ・くわいの芽と里体験を行うことで、生徒の食への興味関心を高めることができた。	・内容の精査、評価を行いながら継続的に進めて行けるように教職員で連携していきたい。		
協働 —	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
内谷中学校	防災用備蓄品を使った給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 全校生徒、 教職員 1回 1003人	実施日: 令和4年8月29日(月) 場所: 内谷中学校 内容: 防災訓練に合わせて防災用備蓄品を使った給食を実施した。	・避難訓練当日にさいたま市からいただいた防災備蓄米を給食で提供することにより、防災対策について考える機会となった。	・年度によっていただける備蓄米が異なるので、事前に試作用をいただいて、献立の組み合わせを考えた方がよい。		
協働 —	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
原山中学校	家庭科の授業における食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 1学年生徒 276人	実施日: 令和5年2月 場所: 原山中学校 内容: 1年生の家庭科の授業の中で献立作成の方法について学び、栄養士から中学生に必要な栄養や献立作成のポイントを聞いた上で給食1食分の献立を作成する。生徒が作成した献立の中から、栄養士が選んだ献立を実際の給食で提供する予定。	成長期に必要な栄養の特色を知ること、給食の献立に多く取り入れられている食品の必要性について理解を深めることができた。また、栄養士が給食室での作業の様子を紹介しながら献立作成のポイントを説明することで、給食作りにかかわる人々への感謝の気持ちを深めるとともに、喫食率の向上につながった。	授業の実施時期が3学期だったため、年度内の給食で生徒が考えた献立を実施することができなかった。今年度は、進級後の1学期の給食で実施する予定。		
協働 —	(新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
美園中学校	読書献立	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象: 全校 400人	実施日: 2022年12月 場所: 美園中学校 内容: 図書委員が推薦する本に登場する料理を給食で再現。計6日間実施。あらずじと料理が出てくるシーン、料理のイラスト等を書いたおすずめポスターを作成した。(例)「たそがれ食堂」より『ナポリタン』『霧のむこうのふしぎな町』より『パバロア』『隼月市役所妖怪課河童コロッケ』より『男爵コロッケ』	・生徒の給食への関心を高めることができた。 ・給食の内容を充実させることができた。	・栄養士と図書委員会の取り組みのため、他の委員会(給食委員や放送委員)とも連携して取り組めば、さらによい食育活動になる。		
協働 —	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					



さいたま市の食育取組状況 令和4年度

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ						実績 (令和4年度)		成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青年 期 16-24歳	成人 期 25-39歳	壮年 期 40-64歳	高 齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
美園中学校	給食週間	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青年 期 16-24歳	成人 期 25-39歳	壮年 期 40-64歳	高 齢期 65歳+	対象:全校 400人	実施日:2022年1月17日(火)~20日(金) 場所:美園中学校 内容:給食委員会による朝礼の実施、掲示物作成。 全校生徒対象のリクエスト給食の実施。	・給食を作ってくれている生産者、調理員等への感謝の気持ちを持たせることができた。 ・生徒の食の嗜好を把握し、給食を提供することで、残菜が減った。	・生徒の嗜好に沿った献立作成により、給食献立の栄養価(鉄分、塩分)が通常よりも低下、過剰となってしまった。	
協働—	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—				
尾間木中学校	給食委員会による給食メニューグランプリ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青年 期 16-24歳	成人 期 25-39歳	壮年 期 40-64歳	高 齢期 65歳+	対象:全校生徒 及び教職員 757人	実施日:令和5年1月17日 場所:尾間木中学校 内容:パレスホテル大宮の金子シェフを招いて「シェフ給食」を実施した。	地元で活躍されているシェフが作ったプロの味を生徒に体験させること、及び食材に地場産物を多く取り入れることで、食への関心を一層高め、学校における食育を推進することができた。	給食費、給食設備等、限られた中でどこまでシェフの味を再現できるか。	
協働○	(新規)	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—				
さくら草特別支援学校	食育の日	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青年 期 16-24歳	成人 期 25-39歳	壮年 期 40-64歳	高 齢期 65歳+	対象:児童生徒40人、教職員、保護者 実施回数:毎月1回	日程:毎月19日前後 場所:学校 内容:日本各地の郷土料理を給食に取り入れ、家庭にも紹介する。	様々な地域の料理を体験することで、料理の経験をふやし味覚の幅を広げることができた。	レシピなど家庭向けの情報提供があまりできなかった。	
協働	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	○	○	—	—				
岩槻中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青年 期 16-24歳	成人 期 25-39歳	壮年 期 40-64歳	高 齢期 65歳+	対象:保護者 58人	実施日:令和4年6月27日(月) 場所:岩槻中学校 内容:給食の試食・調理の様子を動画で紹介・中学生の食生活について講話	給食室の衛生管理の厳しさを伝え、安心安全な給食をアピールできた。栄養バランスや味、温度、見た目、量について肯定的な意見を得た。	黙食での実施だったため、喫食中に会話や献立の説明をしながら実施したい	
協働—	(継続)	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—				
川通中学校	給食週間	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青年 期 16-24歳	成人 期 25-39歳	壮年 期 40-64歳	高 齢期 65歳+	対象:全校生徒	実施日:1月16日(月)~20日(金) 場所:川通中学校 内容:①日本全国食べ歩きの旅(北海道・宮城・京都・長崎の郷土料理) 献立体験と給食委員会による掲示と放送 ②川通中好きな給食ランキング(アンケートと献立の実施) ③給食標語(給食委員会の市の標語コンクールへの参加) ④3年生最後に食べたい給食募集と実施	給食週間は毎年テーマをもって取り組んでいる。R4年度のテーマは感染症対策のため、なかなか旅行に行けない中、給食で日本全国食べ歩きの旅やその他の取組をすることで、生徒の給食を楽しむ気持ちや郷土料理への興味関心を高めることができた。	感染症対策で放送での紹介になったが、できれば体育館で全校生徒が集まって給食集会を実施したい。	
協働○	(新規)	—	○	○	○	—	○	—	—	○	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—				
川通中学校	食育の日の思い出の給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青年 期 16-24歳	成人 期 25-39歳	壮年 期 40-64歳	高 齢期 65歳+	対象:全校生徒 実施回数:11回	実施日:毎月食育の日(19日前後) 場所:川通中学校 内容:先生が中学生だった時の思い出の献立を給食に出して、エピソードと共に紹介する。	生徒たちが、先生方の中学生時代の話や給食の献立にとっても興味をもっていた。	給食委員会の生徒に放送担当してもらおう等、もう少し生徒の活躍の場を増やしたい。	
協働	(新規)	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—				